

# A-dec 411歯科用椅子 (A-dec 332、333、336デリバリー システムおよびA-dec 572歯科ライト付き)

## サービスガイド

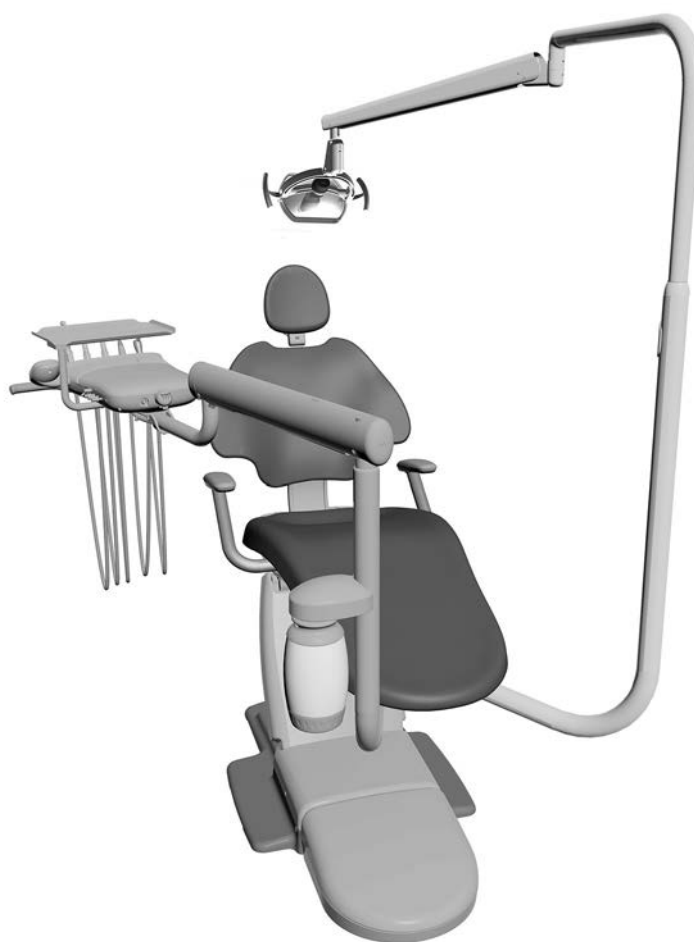
### 目次

チェアへの取り付け	3
歯科助手用器具の取り付け	9
サポートセンターの取り付け	9
固定アームの取り付け	10
デリバリーシステムの 取り付け	18
モニターマウントの取り付け	31
A-dec 572歯科ライトの 取り付け	32
フロアボックスの取り付け	35
ワイヤとデータ回線の接続	37
配管の接続	40
フロアボックス・ユーティリティの 接続	46
張地の取付け	48
システムの準備と調整	51
チェアのベース降下速度の 調整	69
タッチパッドの設定	70
システムのテスト	79
ユーティリティカバー およびサポートセンター カバーの取り付け	80
規制に関する情報	84



**注** 本書では、正しく安全に設置するために重要な情報は、この注のように背景色付きで示されています。

### 手引き



A-dec 411デンタルチェアおよび関連モジュールを設置するときは本文書を使用してください。  
個別の取り付けについてはこの文書に記載されているすべてのモジュールを必要としません。チェアを取り付けたら、システムに含まれるモジュールのセクションを参照してください。



**注** 各モジュールの梱包箱には、当該モジュールの取り付けに必要なすべての部品が梱包されています。

## 始める前に



**注** 本システムに取り付けられる機器に付属のマニュアルがある場合は、このガイドの指示ではなく、当該マニュアルの指示に従ってください。



**注意** カバーを取り外したり元の位置に戻したりする際に、配線や管を傷つけないように注意してください。交換したカバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

- すべての塵屑を一掃して、床面を完全に清掃してください。
- 手動空気遮断弁および水遮断弁の取り付けを確認します。
- 空気および水ラインからすべての残屑を一掃してください。
- お住まいの地域の建物/規格管理機関に設置要件を確認してください。設置要件は州ごとにまた国ごとに異なります。

### この設置に必要な工具類

六角レンチセット	ロータリーハンマー	ドリル
5/16インチ、9/16インチ、および3/4インチソケットおよびラチェット	標準的なプラスドライバー	ワイヤストリッパ
9.5 mm (3/8インチ) および 12.5 mm (1/2インチ) ドリルビット	斜ニッパー	スリーブブッシャー
3/8インチおよび 1/2インチ・コンビネーション・レンチ	巻尺	

## チェアーの取り付け

### チェアーのセット

#### 推奨する工具

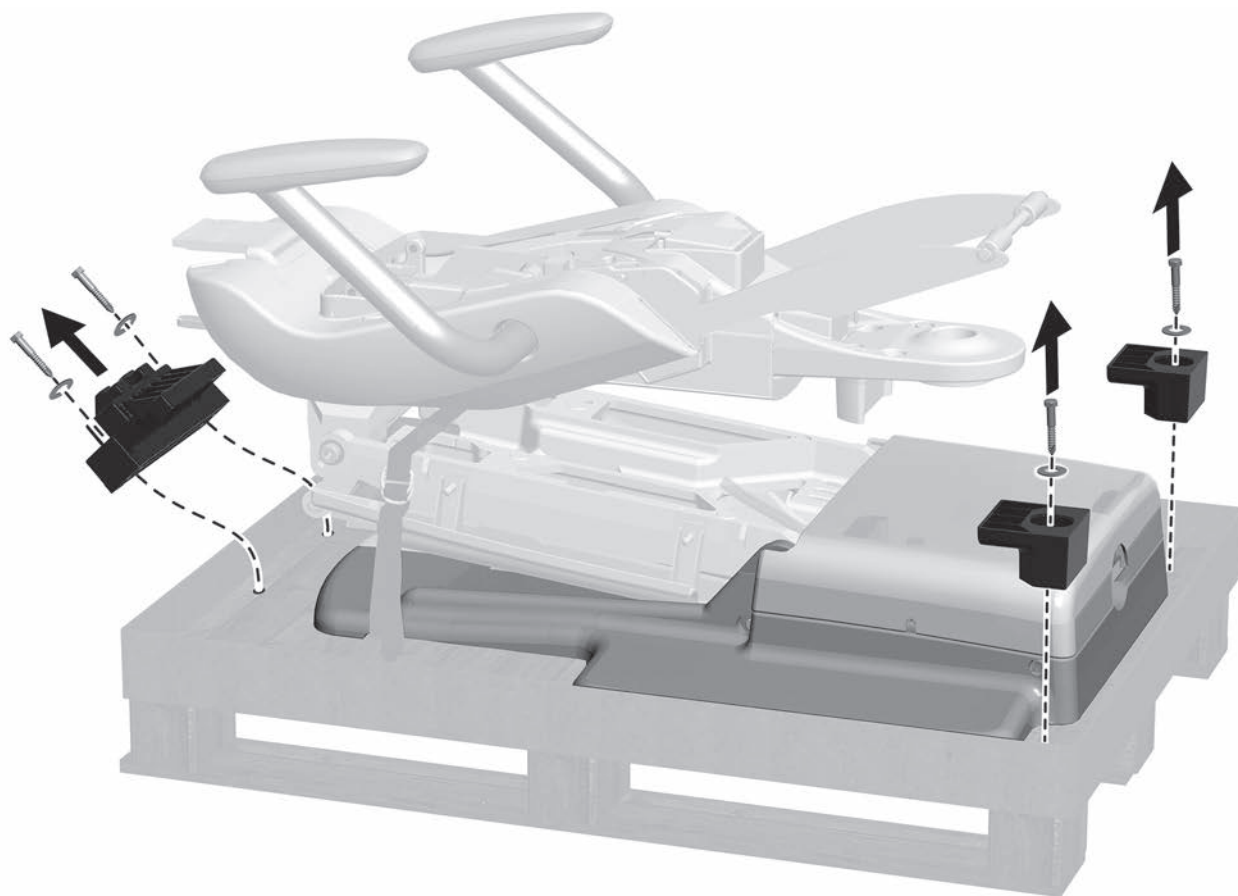
- 3/16インチ六角レンチ
- 9/16インチソケット、およびラチェット

**手順 1.** チェアー周りからすべての部品と段ボールを取り除いてください。



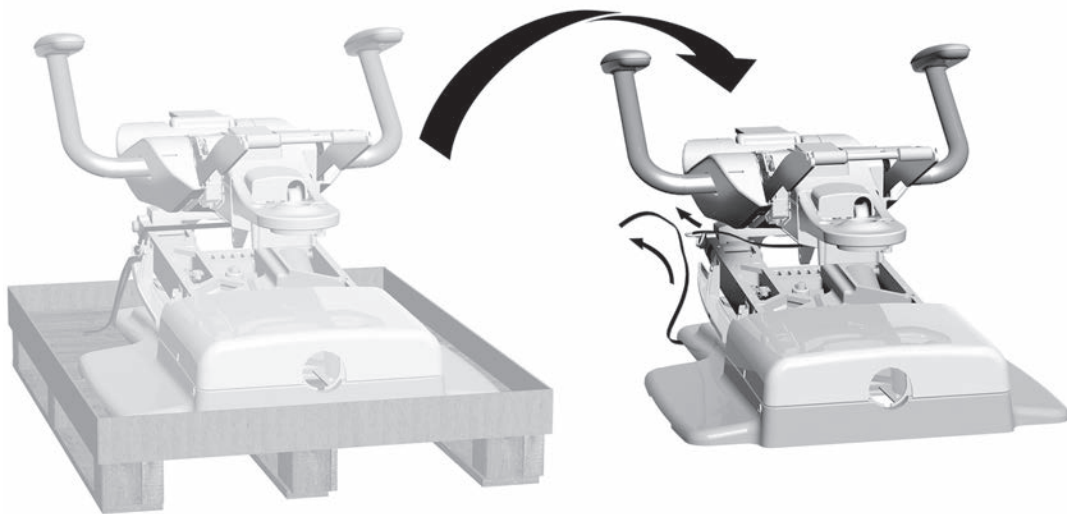
**注** 梱包材料からモジュールを取り出す場合、医師用に同梱されたキットとマニュアル(A-dec 311 および411デンタルチェアー使用方法など)を見逃さないよう注意してください。取り付け作業中はこれらのキットを傍らに取り除けておいてください。

**手順 2.**



**1** パレットにチェアーを固定しているボルトおよびブラケットを9/16インチ六角レンチとラチェットを使って取り外してください。

### 手順 3.



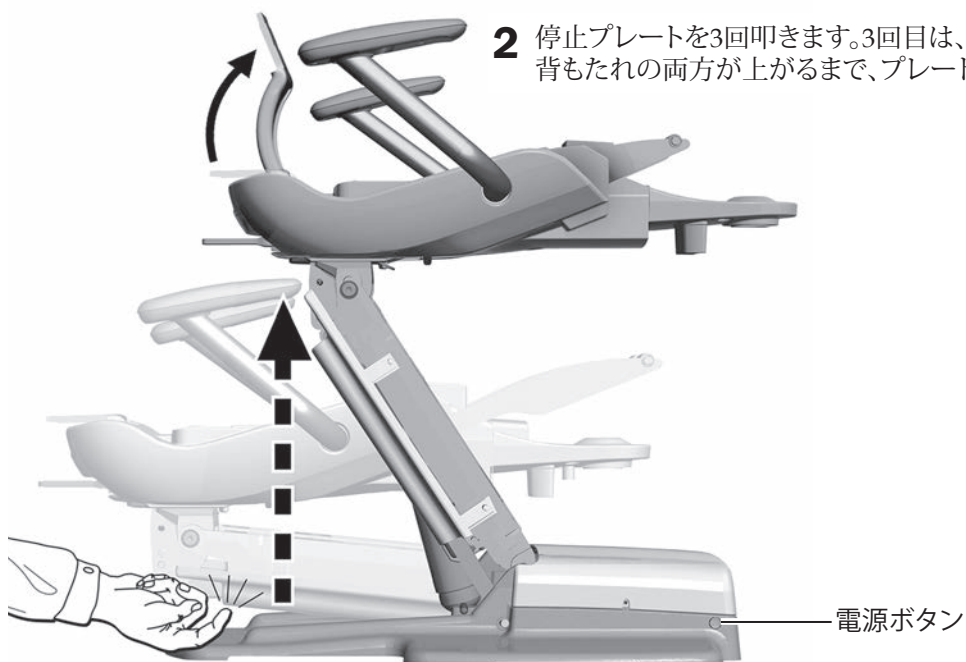
**注意** チェアを損傷しないように、チェアの背板を引っ張ってチェアをパレットから取り外さないようにしてください。

- 1 アームレストと正面取付部をつかみます。  
チェアを持ち上げ、処置室の所定の場所に設置してください。
- 2 梱包用ストラップを外します。

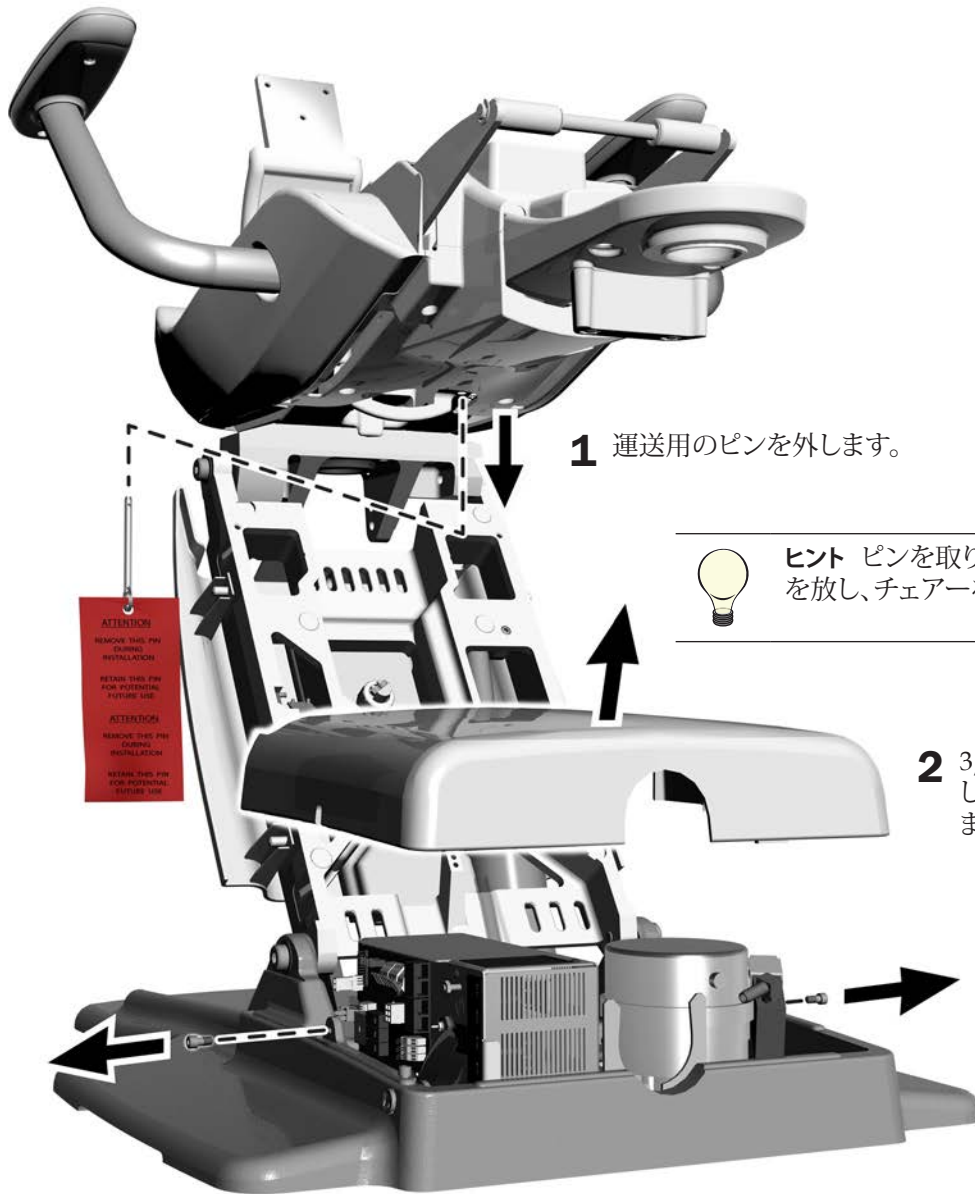
### 手順 4.

- 1 チェアを接続し、電源を入れます。

- 2 停止プレートを押します。3回目は、チェアのベースとチェアの背もたれの両方が上がるまで、プレートを保持します。



手順 5.



**1** 運送用のピンを外します。



**ヒント** ピンを取り外せるように、旋回ブレーキを放し、チェアを小刻みに動かします。

**2** 3/16インチ六角レンチを使用して、ポンプカバーを取り外します。

## チェアの固定



**警告** チェアを床にしっかり固定することは、機械力学的安定性を確保するため必須です。床への固定が適切でない場合は、器物の破損や、重傷を負ったり、死亡事故につながる危険があります。



**注意** チェアを固定するフローリングおよび、またはフレーミング材を確認してください。床材の厚さが82ミリ (3 1/4インチ) に満たないときは、床の補強について認可を受けている建築請負業者に連絡してください。

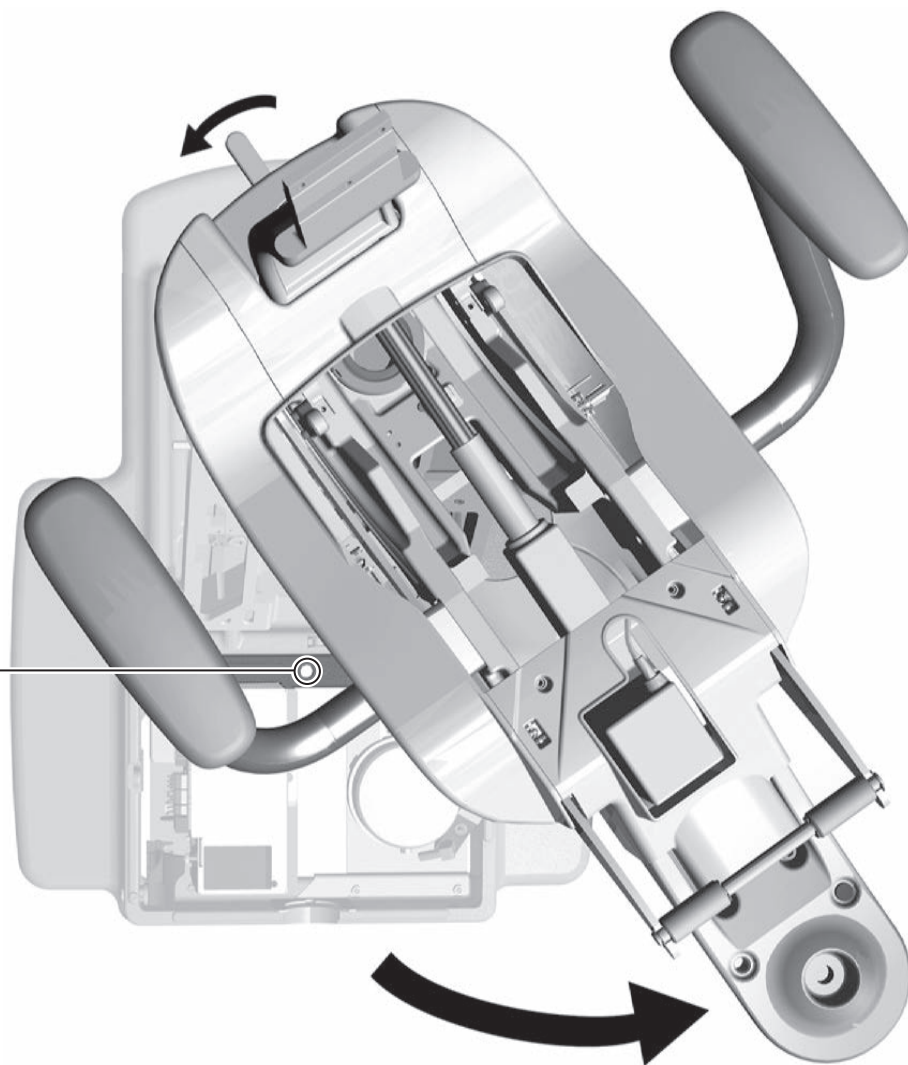
### 推奨する工具

- ドリル
- コンクリート床：12.5 mm (1/2インチ) ドリルビット、9/16インチソケット、およびラチェット
- 板張り床：9.5 mm (3/8インチ) ドリルビット、3/4インチソケット、およびラチェット

### 手順 1.

**1** 旋回ブレーキを緩めます。

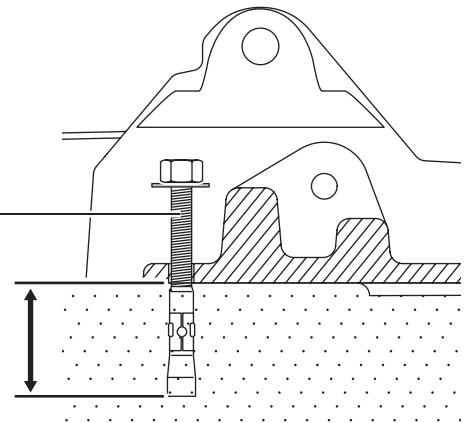
**2** チェアを回転して固定用穴を露出する。



**手順 2.** 治療室の床の種類に合わせた手順を完了してください。

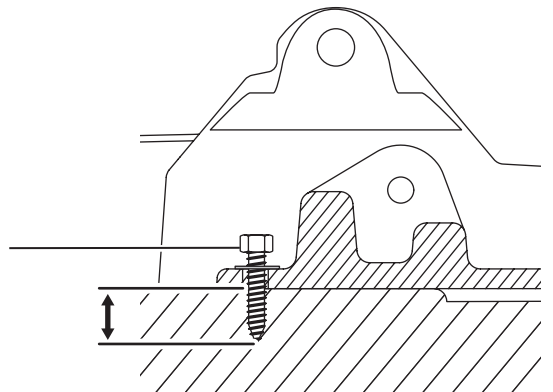
### チェアのコンクリート床への固定

- 1** 12.5 mm (1/2インチ) ビットの回転式ハンマーを使用して、ベースプレートの固定用穴を通る101 mm (4インチ) の深さの穴をあけます。
- 2** 残屑はすべて取り除いてください。
- 3** ボルトヘッドがチェア座部に完全に固定されるまで固定ボルトを穴にねじ込みます。
- 4** 9/16インチソケットとラチェットを使用して、ワッシャに対してきつく締まり、床にベースプレートがしっかり固定するまでボルトを締めてください。



### チェアの板張り床への固定

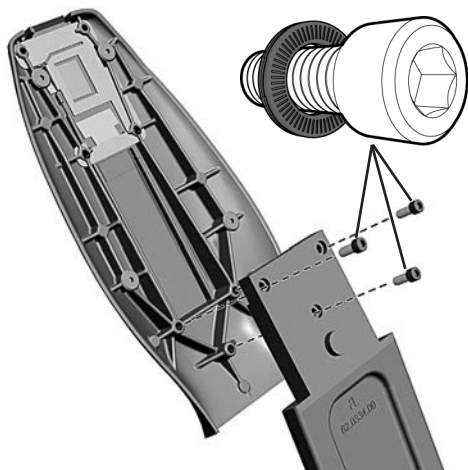
- 1** 9.5 mm (3/8インチ) ビットを使用して、ベースプレートの固定用穴を通る50 mm (2インチ) の深さの穴をあけます。
- 2** 残屑はすべて取り除いてください。
- 3** 3/4インチソケットとラチェットを使用して、ワッシャに対してきつく締まり、床にベースプレートがしっかり固定するまでボルトを締めてください。



## 背部サポートを取り付け

### 推奨する工具

- 3/16インチ六角レンチ



- 1** チェアの背もたれサポートから3本の取り付けネジを外します。



**注意** 使用中に背もたれに緩みを生じないようにネジはしっかりと締め込んでください。

- 2** チェアの背面に取付ネジで背部サポートを取り付けます。



**ヒント** 締め込む前にすべての3本のスクリューに着手します。

## フットスイッチ (オプション) の取り付け

### 推奨する工具

- 3/16インチ六角レンチ



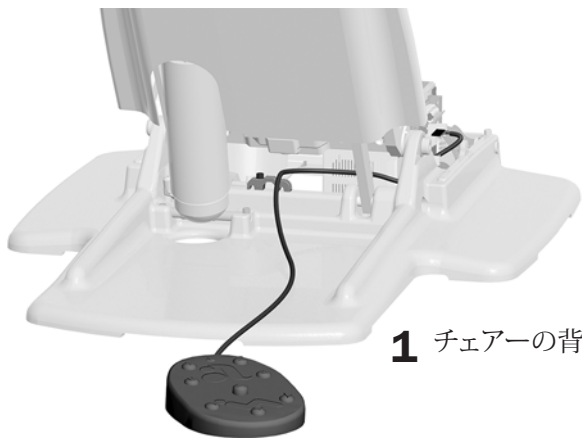
**警告** この手順を開始する前に電源をオフに、つまり遮断しないと、装置に損傷を与えたり、死亡を含む人身事故を起こす恐れがあります。



**注意** 回路基板は静電気による損傷を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電(ESD)対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず、電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

**手順 1.** システムの電源をオフにします。

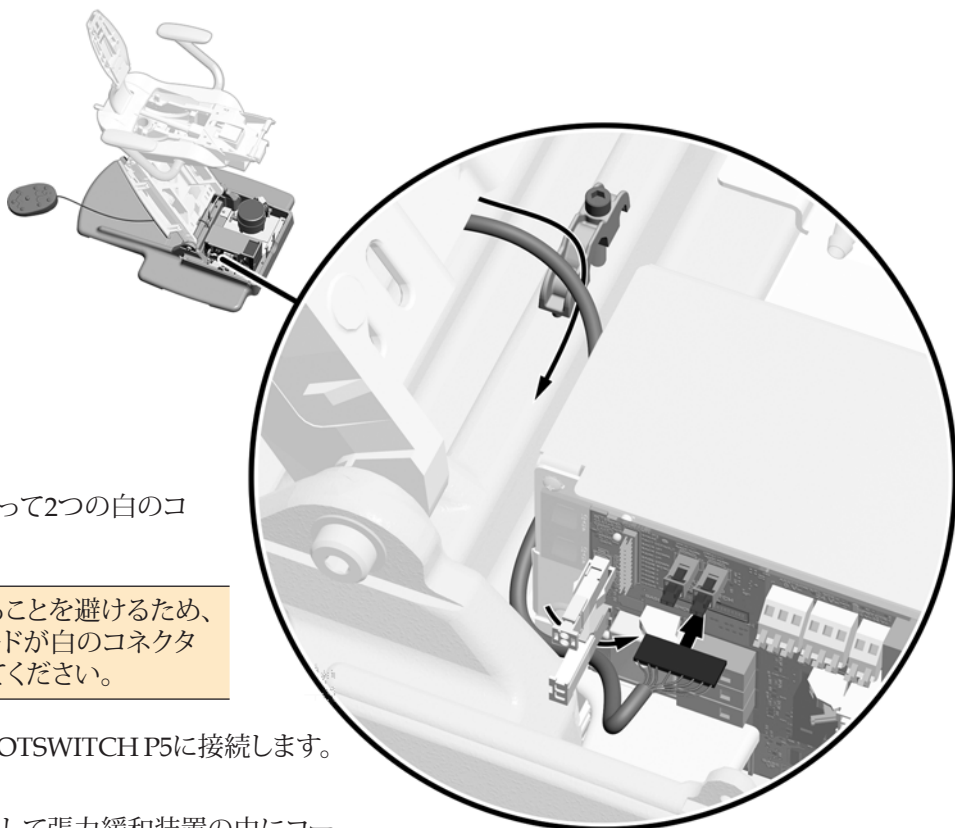
**手順 2.**



**1** チェアの背面側からコードを張力緩和装置の上に通します。



### 手順 3.



- 1 コードを電源装置の側面に沿って2つの白のコンネクタの下に通します。



**注意** 濡れて故障することを避けるため、フットスイッチのコードが白のコンネクタの下に来るようにしてください。

- 2 コードをTOUCHPAD OR FOOTSWITCH P5に接続します。
- 3 3/16インチ六角レンチを使用して張力緩和装置の中にコードを固定します。

## 歯科助手用器具の取り付け

チェアにA-dec 351またはA-dec 551の歯科助手用器具が含まれている場合は、歯科助手用器具に同梱されている指示書に従って取り付けます。歯科助手用器具の設置が完了したら本サービスガイドに戻り、10ページの「固定アームの取り付け」で取り付けを続行します。

## サポートセンターの取り付け

チェアにA-dec 362またはA-dec 461のサポートセンターが含まれている場合は、サポートセンターに同梱されている指示書に従って取り付けます。A-dec 632サポートセンターを取り付ける場合は、本サービスガイドに戻り、35ページの「フロアボックスの取り付け」に従って取り付けを続行してください。A-dec 461サポートセンターを取り付ける場合は、本サービスガイドに戻り、10ページの「固定アームの取り付け」に従って取り付けを続行してください。

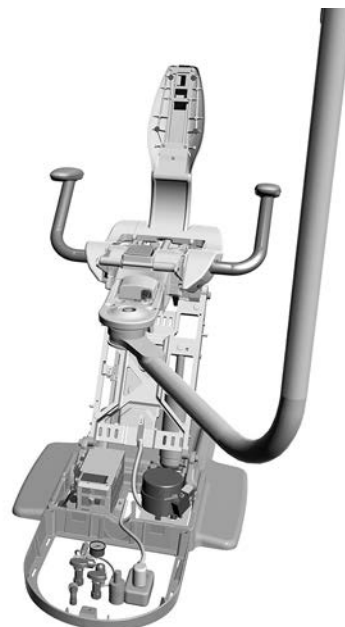
## 固定アームの取り付け

固定アームの設置方法には3種類あります。

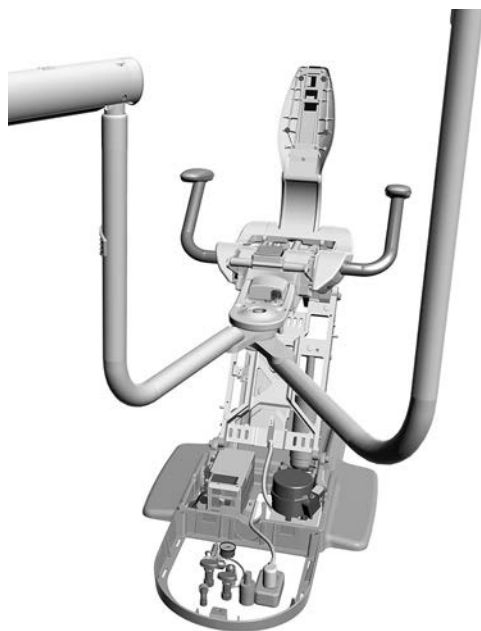
デリバリーシステム固定アームのみの取り付け .....	11
歯科ライトまたはモニターマウント固定アームのみの取り付け .....	13
デュアル固定アームの取り付け .....	15



デリバリーシステム固定アームのみ  
(11ページ)



歯科ライトまたはモニターマウント固定アームのみ  
(13ページ)



デュアル固定アーム  
(15ページ)

## デリバリーシステム固定アームのみの取り付け

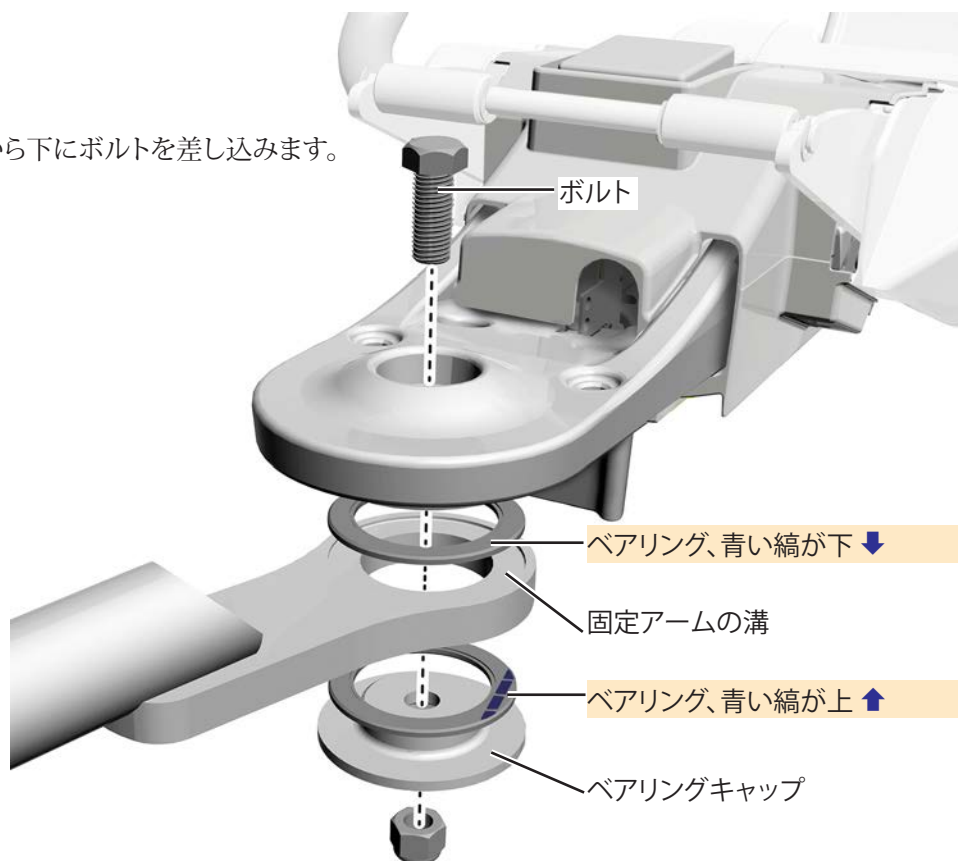
正面取付部にデリバリーシステムのみを設置する場合は、以下の手順に従います。

### 推奨する工具

- 15/16インチソケットとラチェット (各2)

### 手順 1.

- 1 正面取付部の上から下にボルトを差し込みます。



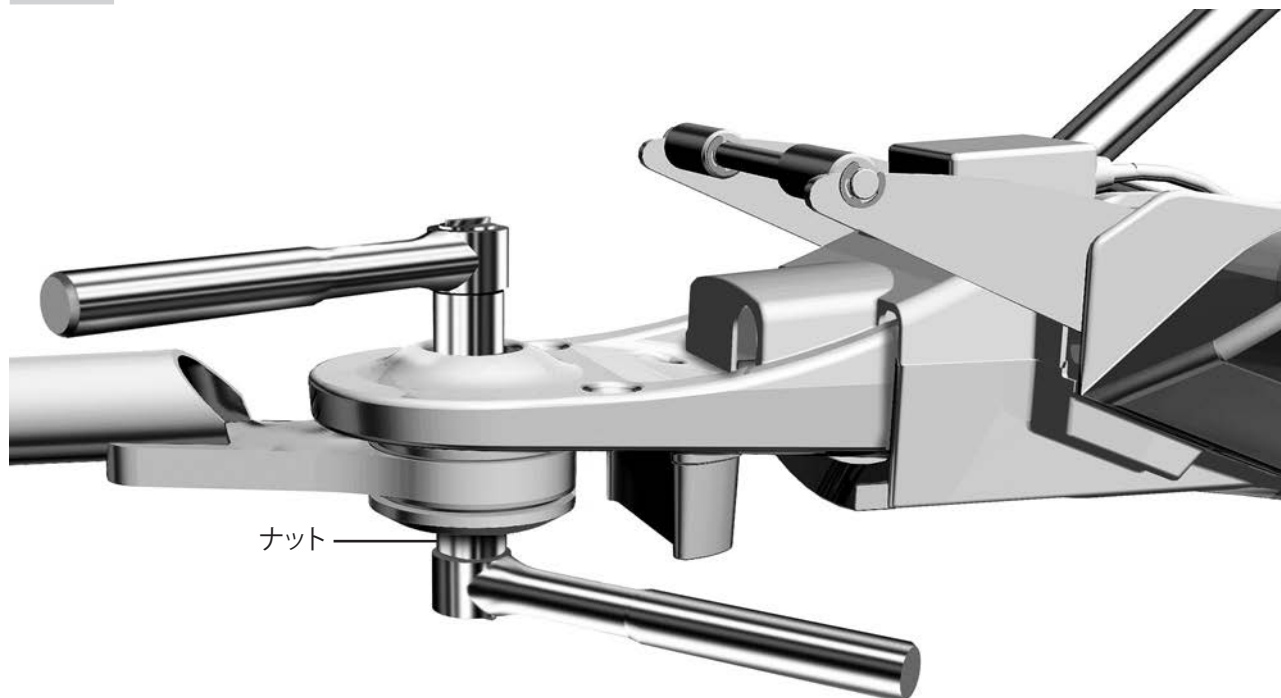
**注意** アームが適切に回転するように、ベアリングは、青い縞を正しい方に向けてアームの溝にしっかりと押し込む必要があります。締め付け時にベアリングが所定の位置から外れないように、注意して作業してください。

- 2 ボルトに、ベアリング、固定アーム、およびベアリングキャップを取り付けます。



ベアリングの青い縞

## 手順 2.



- 1 アームが滑らかに動き、緩んだりずれたりしない固さにナットを締めます。

**次の手順** 18ページの「デリバリーシステムの取り付け」に続きます。

## 歯科ライトまたはモニターマウント固定アームのみの取り付け

正面取付部に歯科ライトまたはモニターマウントのみを設置する場合は、以下の手順に従います。歯科ライトの固定アームとモニターマウントの固定アームは取り付け手順が同じです。



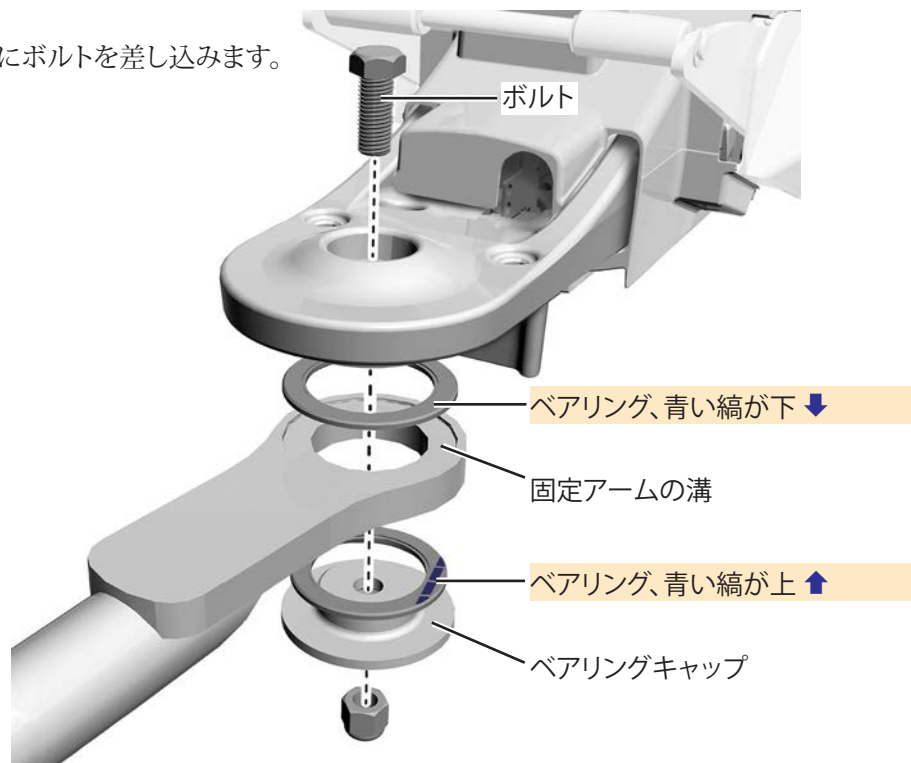
**確認** システムにサポートセンターが含まれる場合は、固定アームを取り付けるときにこのセクションの指示を使用しないでください。構成に関する適切な指示が含まれている特別なキット (部品番号 (P/N) 90.1422.00) が必要になります。

### 推奨する工具

- 15/16インチソケットとラチェット (各2)

### 手順 1.

- 1 正面取付部の上から下にボルトを差し込みます。



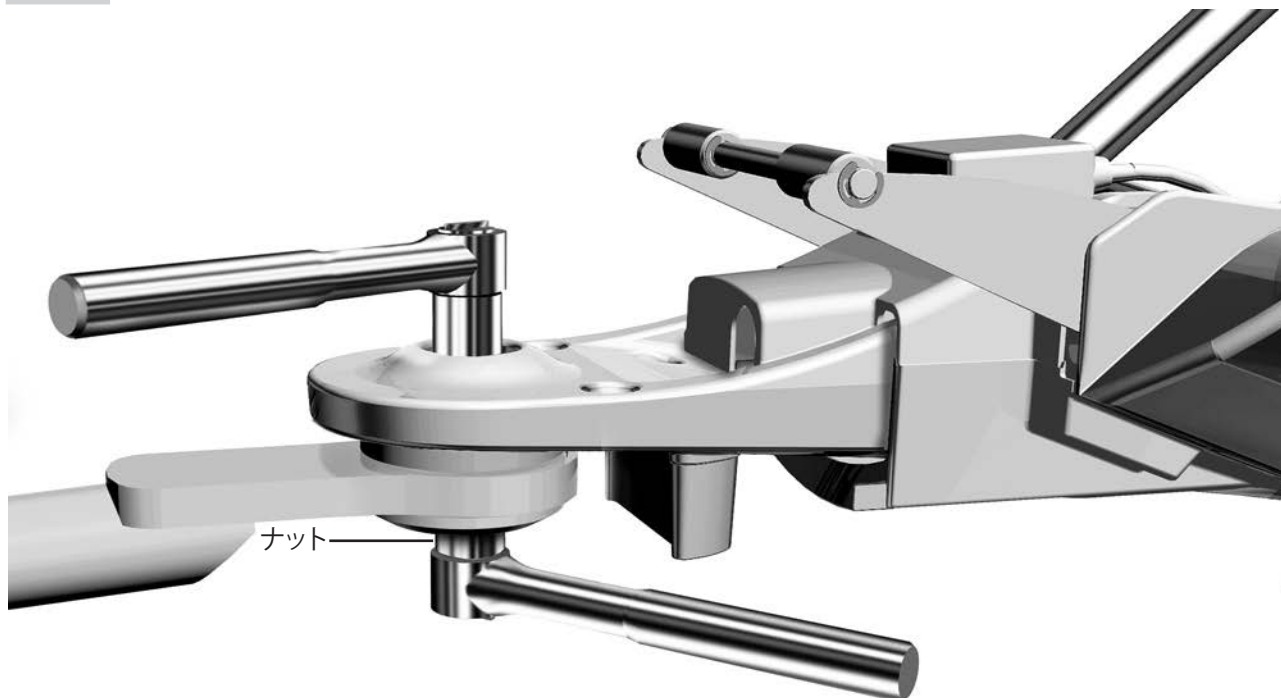
**警告** アームが適切に回転するように、ベアリングは、青い縞を正しい方に向けてアームの溝にしっかりと押し込む必要があります。締め付け時にベアリングが所定の位置から外れないように、注意して作業してください。

- 2 ボルトに、ベアリング、固定アーム、およびベアリングキャップを取り付けます。



ベアリングの青い縞

## 手順 2.



- 1 アームが滑らかに動き、緩んだりずれたりしない固さにナットを締めます。

**次の手順** 歯科ライトを取り付ける場合は、32ページの「A-dec 572 歯科ライトの取り付け」に続きます。  
モニターマウントを取り付ける場合は、31ページの「モニターマウントの取り付け」に続きます。

## デュアル固定アームの取り付け

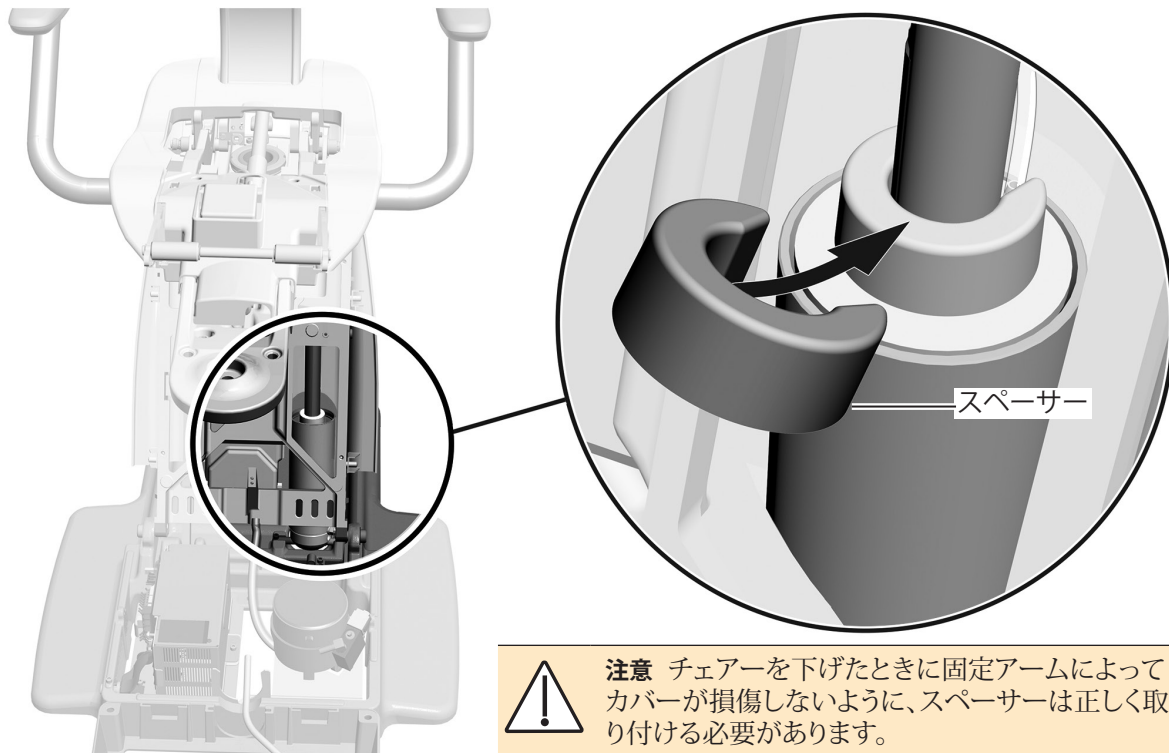
正面取付部にデリバリーシステムと歯科ライトまたはモニターマウントを設置する場合は、以下の手順に従います。どちらの構成でも取り付け手順は同じです。

### 推奨する工具

- 15/16インチ・ソケットとラチェット

### 手順 1.

- 1 チェアのベースを一番上まで上げます。



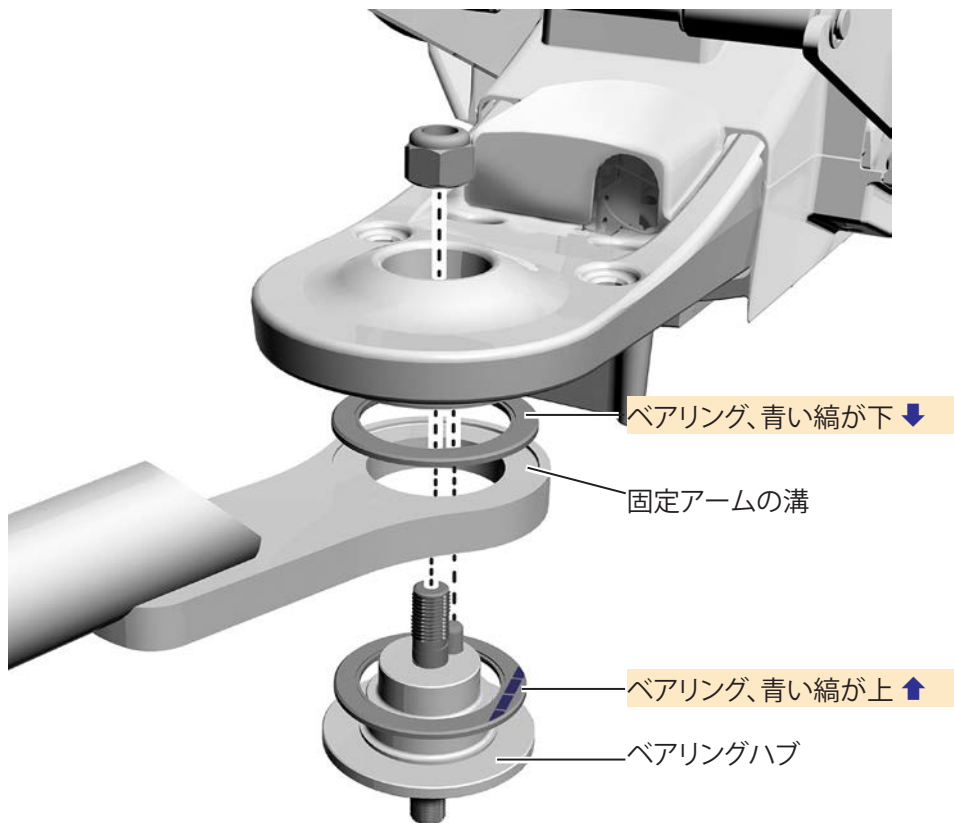
- 2 ライトとモニターマウントに付属しているスペーサーを配置します。スペーサーは閉じた側が上に、解放側が低圧チューブ側を向くようにします。

## 手順 2.

- 1 正面取付部に、デリバリーシステムの固定アーム、ベアリング、ベアリングハブをしっかりと取り付けます。



注 ベアリングハブはデリバリーシステムと一緒に梱包されています。



注意 アームが適切に回転するように、ベアリングは、青い縞を正しい方向に向けてアームの溝にしっかりと押し込む必要があります。締め付け時にベアリングが所定の位置から外れないように、注意して作業してください。

- 2 アームが滑らかに動き、緩んだりずれたりしない固さにナットを締めます。

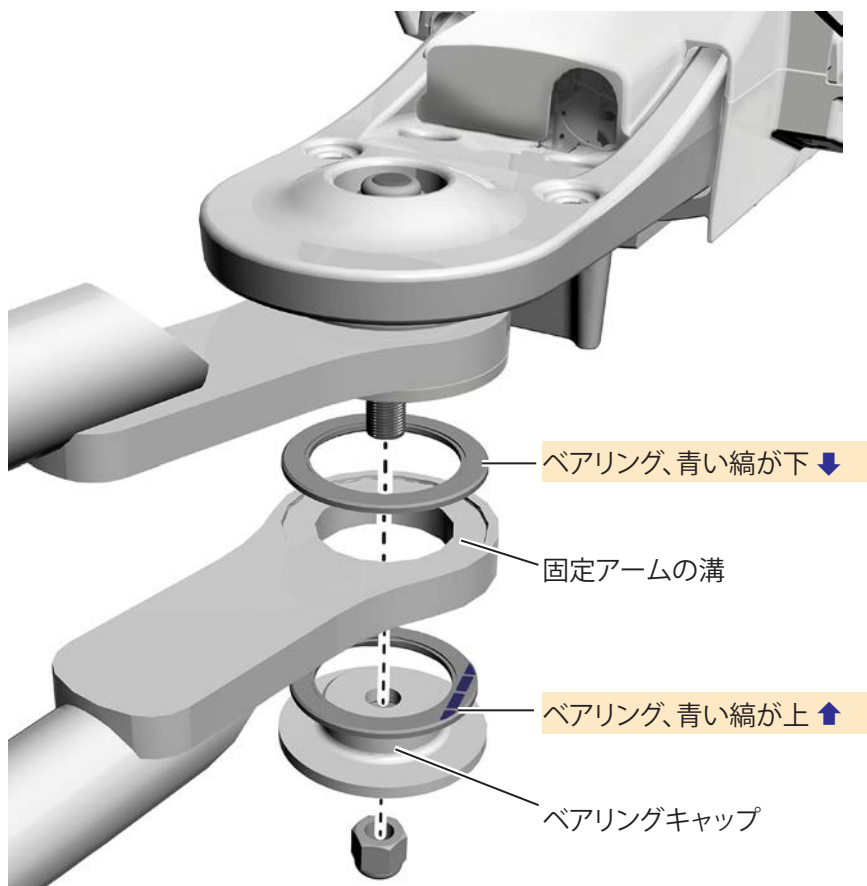


ベアリングの青い縞



### 手順 3.

- 1 ベアリングハブに、歯科ライト/モニターマウント固定アーム、ベアリング、およびベアリングキャップを取り付けます。



- 2 アームが滑らかに動き、緩んだりずれたりしない固さにナットを締めます。

## デリバリーシステムの取り付け

以下の手順を実行する前に、デリバリーシステムの固定アームを取り付ける必要があります。固定アームを取り付けていない場合は、以下のいずれかを参照してください。

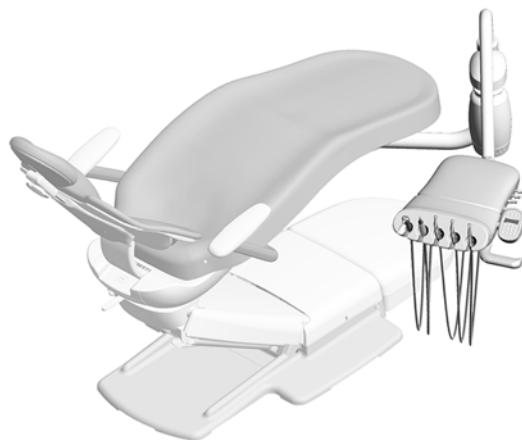
- 11ページの「デリバリーシステム固定アームのみの取り付け」
- 15ページの「デュアル固定アームの取り付け」



A-dec 411 デンタルチェアに取り付けられた  
A-dec 332 Radius 型 Traditional デリバリーシステム



A-dec 411 デンタルチェアに取り付けられた  
A-dec 333 Radius 型 Continental デリバリーシステム



A-dec 411 デンタルチェアに取り付けられた  
A-dec 336 Radius 型 Traditional デリバリーシステム

## A-dec 332または333の固定アームへの水筒の取り付け



**確認** 手動高さ調節機能付きのA-dec 336デリバリーシステムを設置する場合は、工場出荷時にウォーターボトルが取り付けられています。23ページの「A-dec 336デリバリーシステムの取り付け」に続きます。



**確認** リモートウォーターボトルまたはウォーターボトル付きサポートセンターを取り付けている場合は、この手順を完了しないでください。タスク1を実行してから、同梱のプラグを使用して固定アームの穴を覆います。

### 推奨する工具

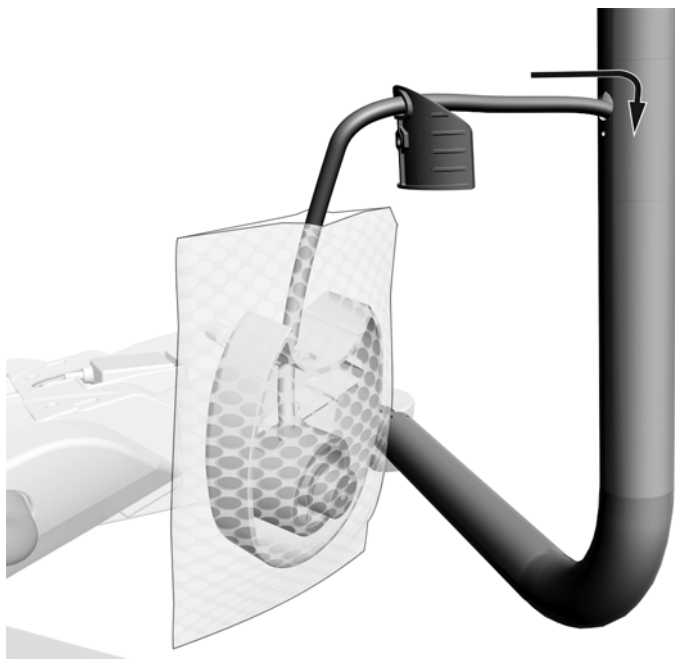
- 1/8インチ六角レンチ

### 手順 1.



- 1 1/8インチ六角レンチを使用して、取付ネジとプレートを固定アームから取り外します。

### 手順 2.

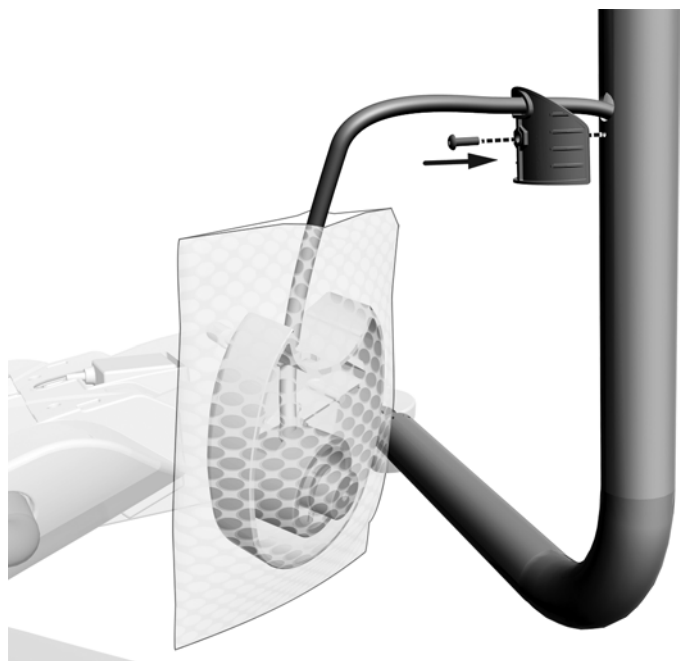


- 1 ウォーターボトルの配管をプレートから固定アームの孔を通り、アームの底部から出します。



**ヒント** 支柱を保護するために、ウォーターボトル収納部は気泡シートに入れたままにします。

**手順 3.**



- 1** プレートを取り付け直します。ネジは、ウォーターボトル収納部を差し込めるように先を少し出したままにします。

**手順 4.**



- 1** ウォーターボトル収納部を取付ネジに差し込み、アームに固定します。

## A-dec 332または333デリバリーシステムの取り付け



**確認** A-dec 336デリバリーシステムを設置する場合は、この手順を使用しないでください。23ページの「A-dec 336デリバリーシステムの取り付け」を参照してください。

### 推奨する工具

- 5/32インチ六角レンチ

### 手順 1.

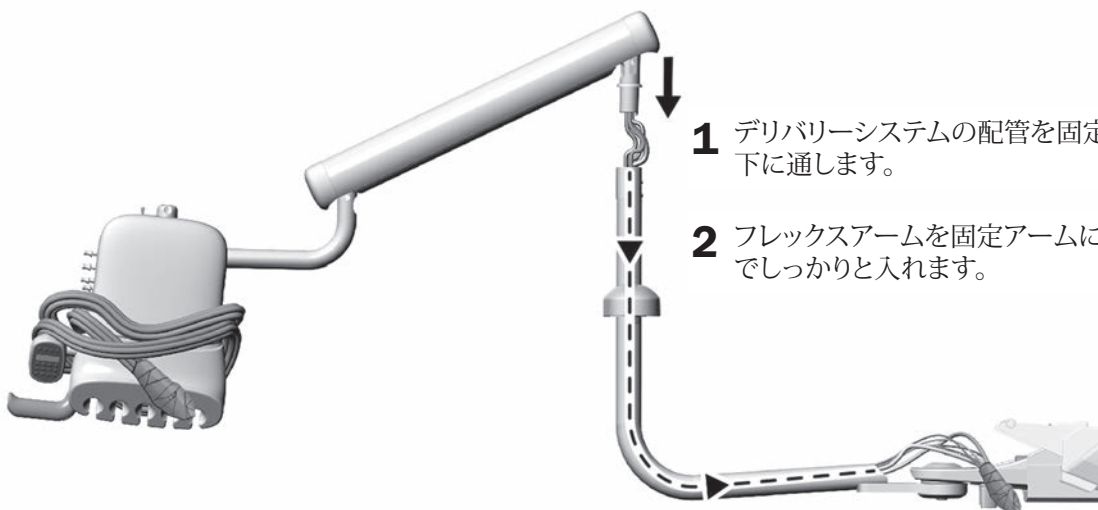


- 1** デリバリーシステムを取り出して、肩の上に載せて、片方の腕をチュービング束を配置するため空けてください。



**ヒント** Traditionalデリバリーシステムを取り出す前に、デリバリーシステムのハンドピース管をコントロールヘッドに巻き付けると扱いやすくなります。

### 手順 2.



- 1** デリバリーシステムの配管を固定アームの上から下に通します。
- 2** フレックスアームを固定アームに差し込んで、奥までしっかりと入れます。

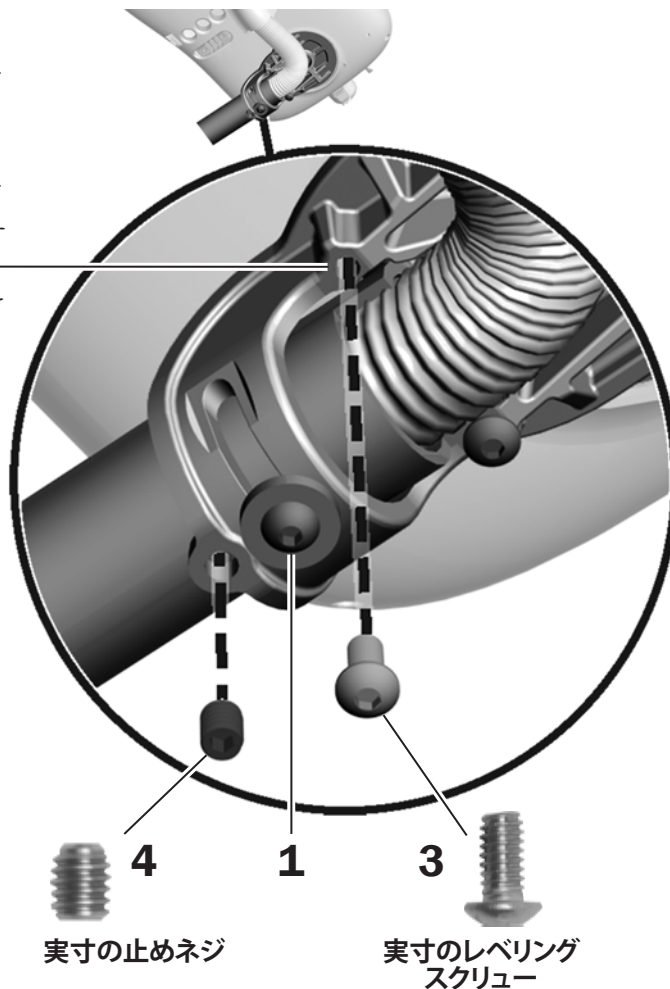
### 手順 3.

1. ボタンボルトを緩めます。



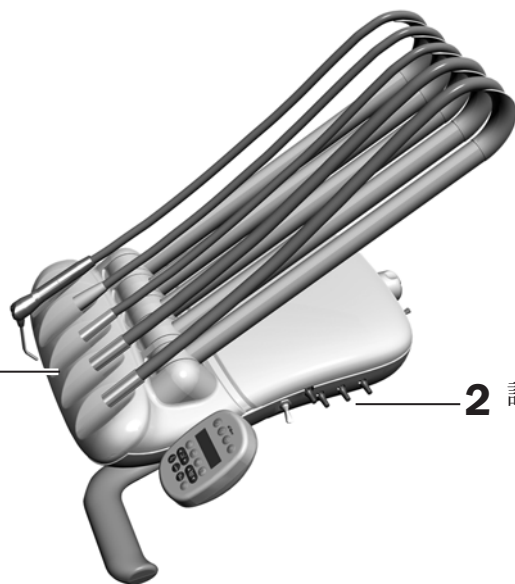
**注** ボタンボルトを最後まで緩め切らないでください。コントロールヘッドを動かせるくらいまでで十分です。

2. コントロールヘッドを回転させて、レベリングスクリューのない穴に位置を合わせます。
3. 1/4~20 x 1/2インチ・レベリングスクリューを取り付けて締めます。
4. 3/8インチ止めネジを取り付けます。



### 手順 4.

- 1 ハンドピース管を、使用に適した位置に設置します。
- 2 調整キーを差し込みます。



## A-dec 336デリバリーシステムの取り付け

### 推奨する工具

- 3/32インチ六角レンチ

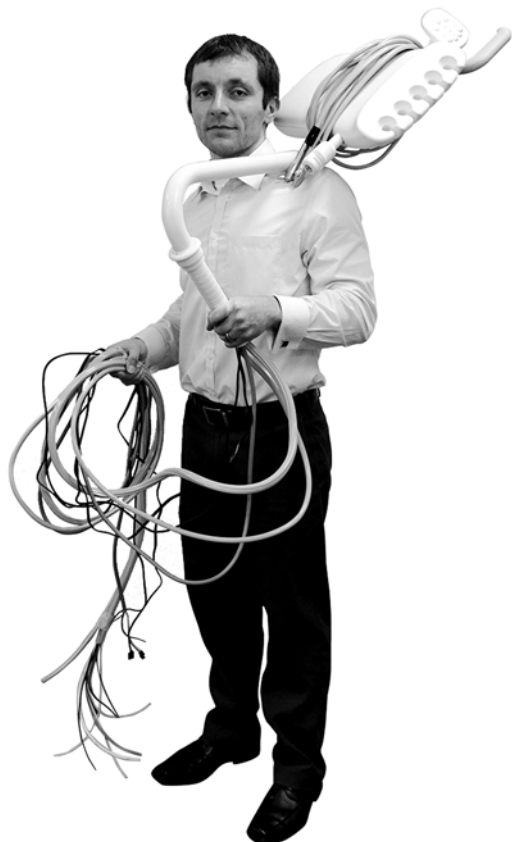


**注** 問題が起こらないように、この手順をすべて読んでからデリバリーシステムの取り付けに取りかかってください。

### 手順 1.

- 1** スペースに余裕があれば、デリバリーシステムが梱包されているボックスをチェアの横に置きます。チェアの横にボックスを置けない場合はタスク2に進みます。
- 2** 配管をできるかぎり下側の支柱に通します。

### 手順 2.



- 1** デリバリーシステムを取り出して、肩の上に載せて、片方の腕をチュービング束を配置するため空けてください。



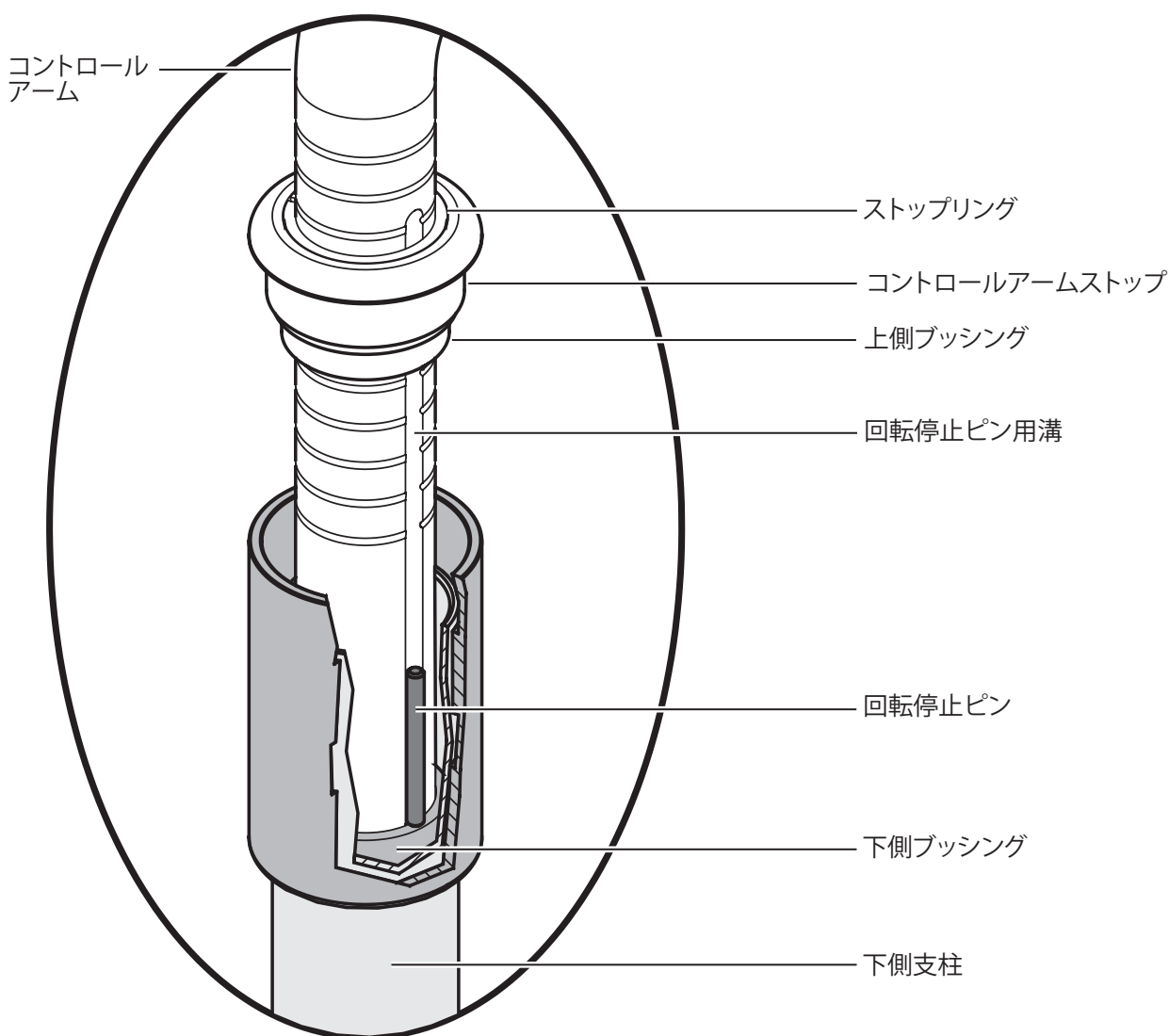
**ヒント** デリバリーシステムを取り出す前に、デリバリーシステムのハンドピース管をコントロールヘッドに巻き付けると扱いやすくなります。

### 手順 3.

- 1 回転停止ピン (制御アームにテープで貼られている) を制御アームから外します。
- 2 デリバリーシステムの配管を下側の支柱を通します。
- 3 制御アームの端が下側ブッシングの最上部を通過するまで、慎重に制御アームを下げて下側の支柱に入れます。



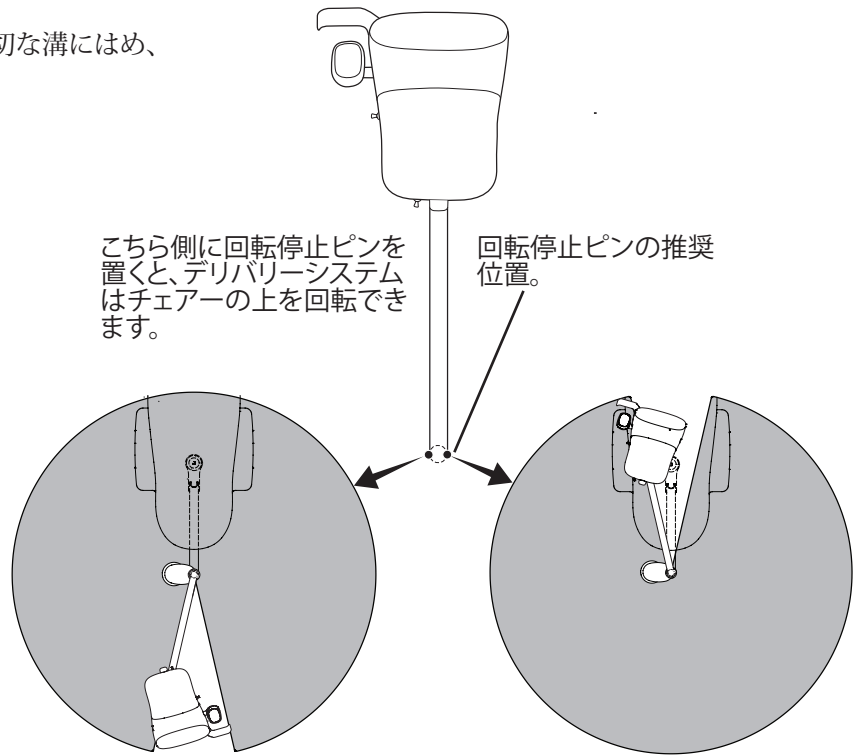
**注** 制御アームの端が下側のブッシュを通過して挿入されていない場合は、回転停止ピンが下側の支柱に落ちる恐れがあります。回転停止ピンは、デリバリーシステムが連続的に回転してねじれることを防止します。





**手順 4.**

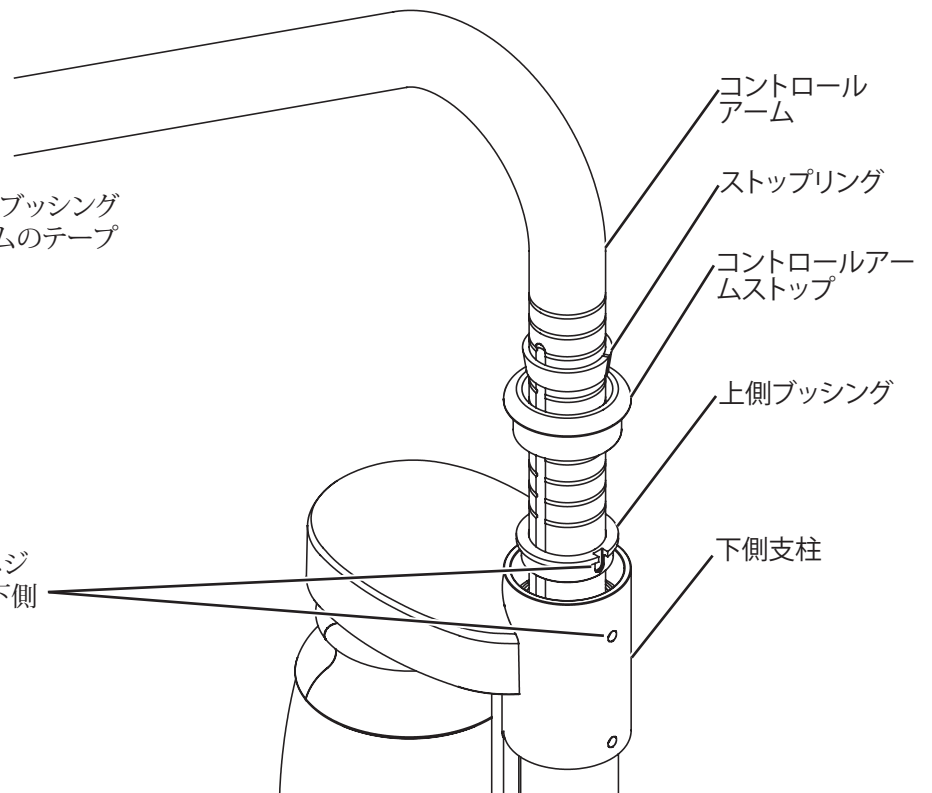
- 1 回転停止ピンを制御アームの適切な溝にはめ、ピンを落とします。



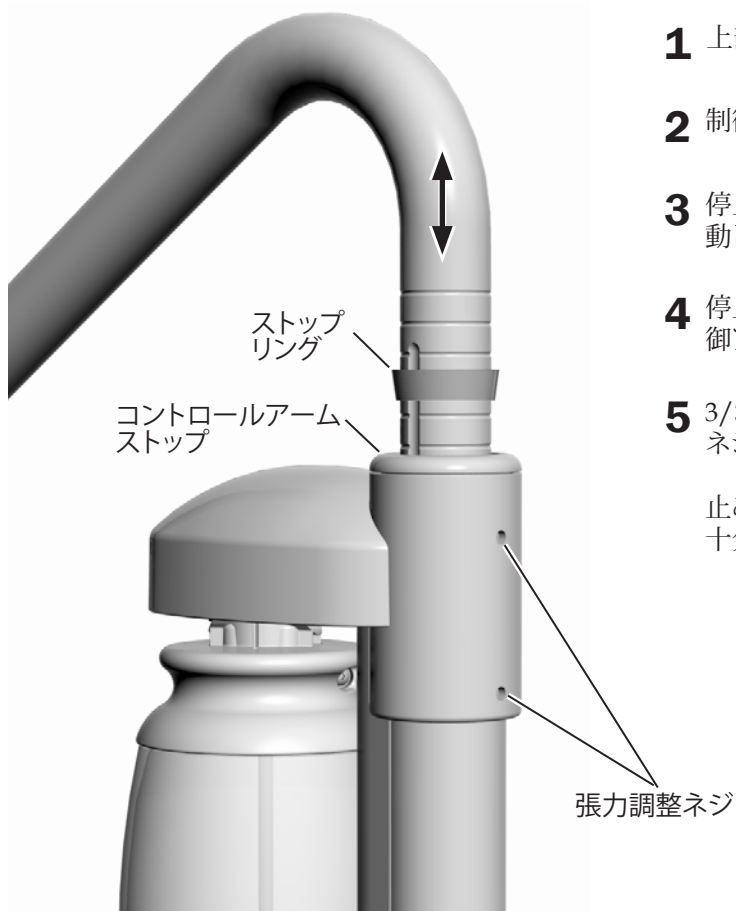
**手順 5.**

- 1 停止リング、制御アーム止め、上側ブッシングを一緒に保持しながら、制御アームのテープを取り除きます。

- 2 上側ブッシングの穴を張力調整ネジに合わせます。上側ブッシングを下側支柱まで下げます。



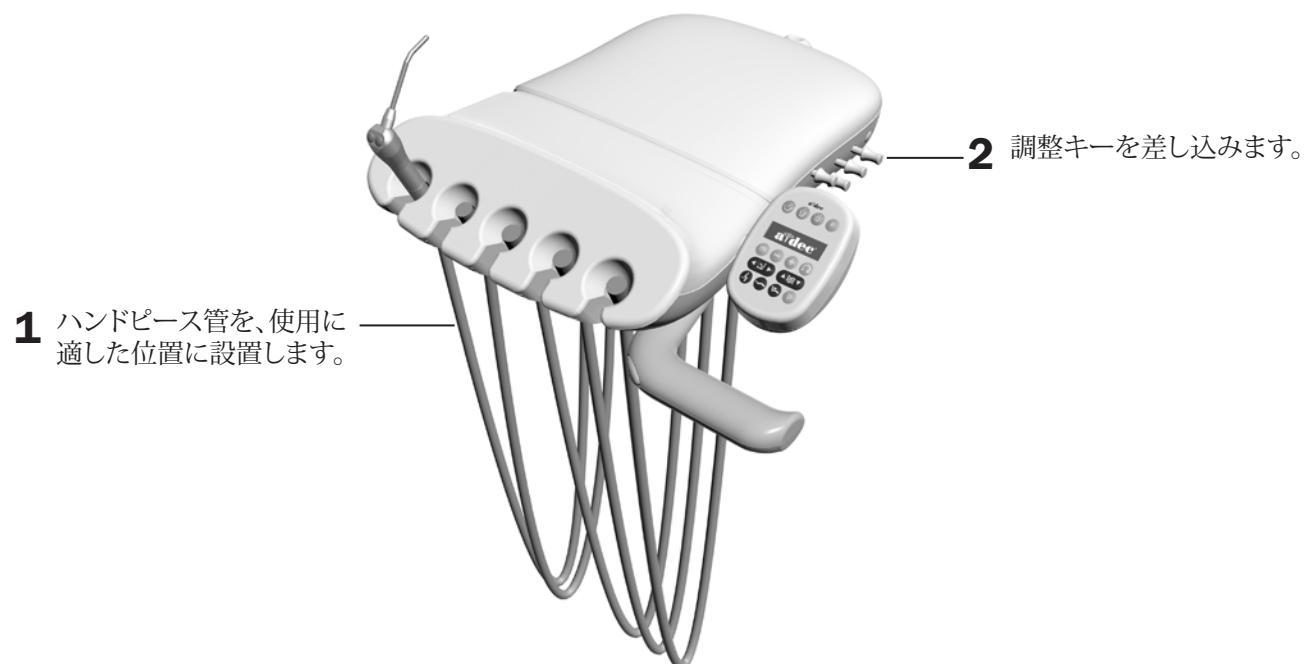
## 手順 6.



- 1 上部張力調整止めネジを締めます。
- 2 制御アーム止めを下側支柱に下ろします。
- 3 停止リングを制御アームに沿った目的の位置に移動し、デリバリーシステムの高さを設定します。
- 4 停止リングが制御アーム止めにはまるまで、上側制御アームを下げます。
- 5 3/32インチ六角レンチを使用して、上下の各張力ネジを締めます。

止めネジは、コントロールヘッドがずれないために十分なだけ締めます。

## 手順 7.



## 配管と配線

### 推奨する工具

- 3/16インチ六角レンチ
- 斜ニッパー

#### 手順 1.

- 1 チェアの背もたれとベースが完全に上がっていることを確認します。



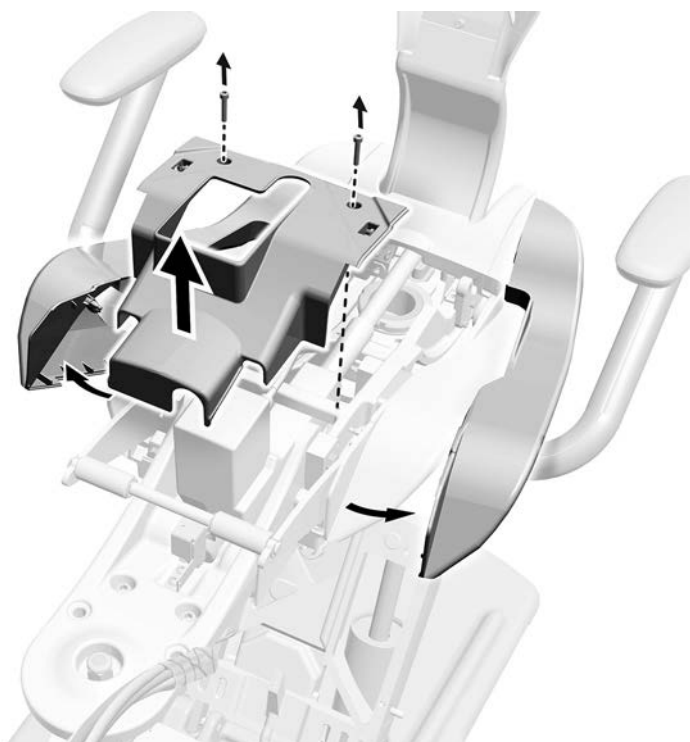
**警告** この手順を開始する前に電源をオフに、つまり遮断しないと、装置に損傷を与えたり、死亡を含む人身事故を起こす恐れがあります。



**注意** 回路基板は静電気による損傷を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電(ESD)対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

- 2 チェアの電源をオフにします。

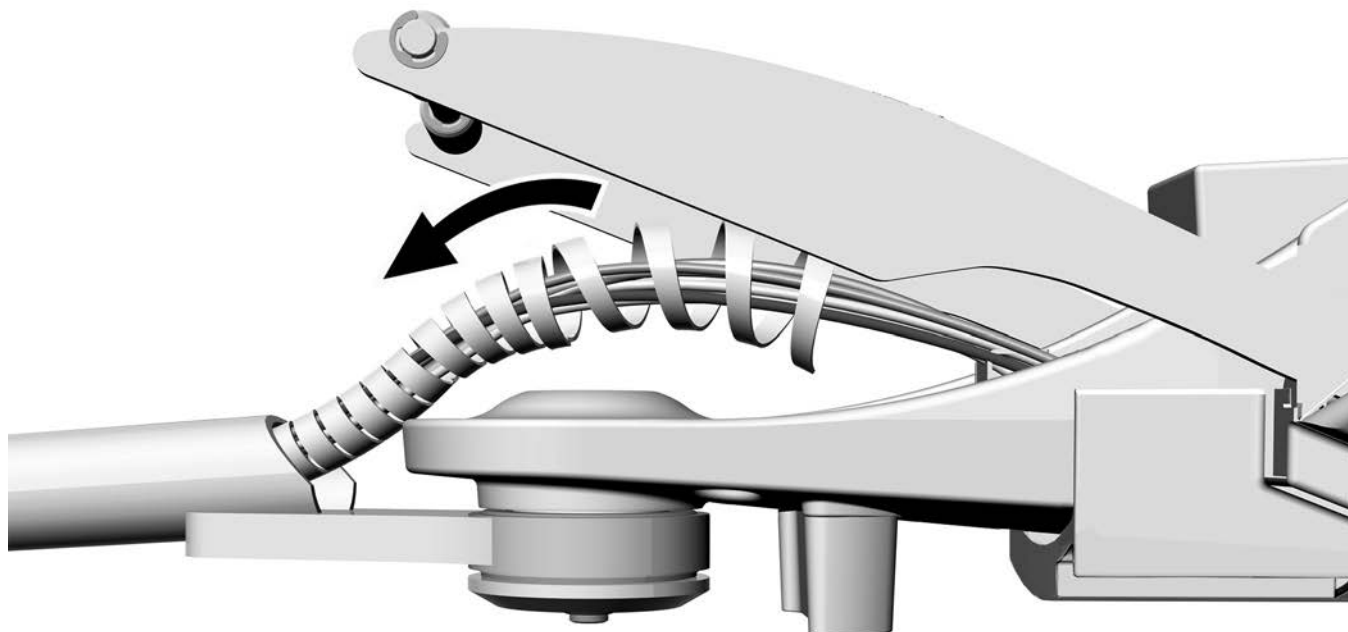
#### 手順 2.



- 1 ガードを固定している2つのネジを取り外します。
- 2 側面カバーを引き出します。
- 3 ガードを取り外します。

**手順 3.**

- 1** ウォーターボトルとデリバリーシステムの配管にスパイラルチューブを巻き付けます。
- 2** スパイラルチューブの先を少し固定アームの中に入れます。

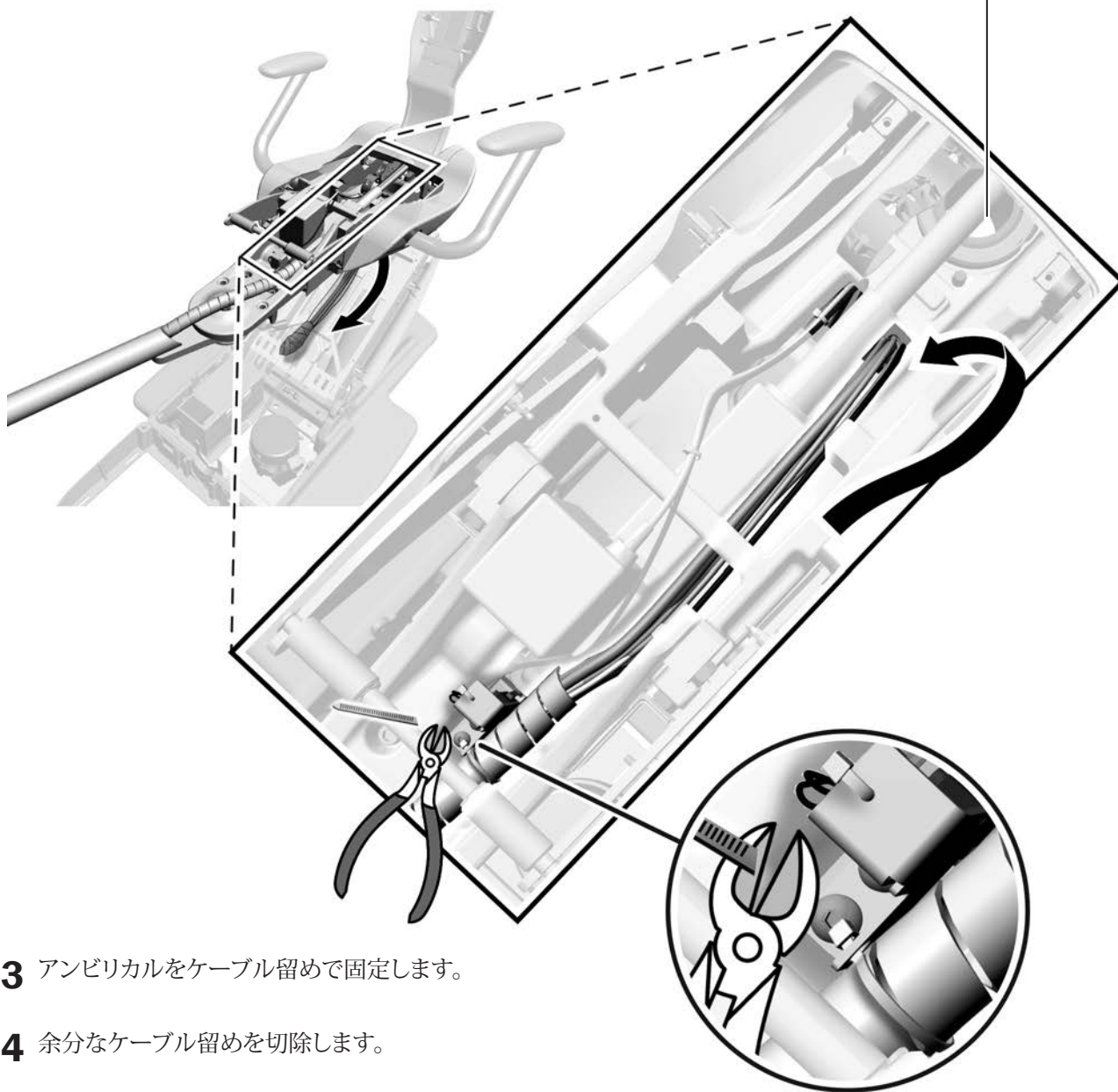


#### 手順 4.

- 1 アンビリカルをマウントの上からケーブル留めへ通し、リフトアームから下へ通します。
- 2 アンビリカルからテープを取り除きます。



**注意** アンビリカルをこの孔から下へ通さないでください。チェア-の背もたれの動きと干渉してしまいます。



- 3 アンビリカルをケーブル留めで固定します。
- 4 余分なケーブル留めを切除します。
- 5 ガードと側面カバーを取り付け直します (27ページで取り外しています)。



**注意** 側面カバーを正しく取り付けないと、機器が破損する恐れがあります。

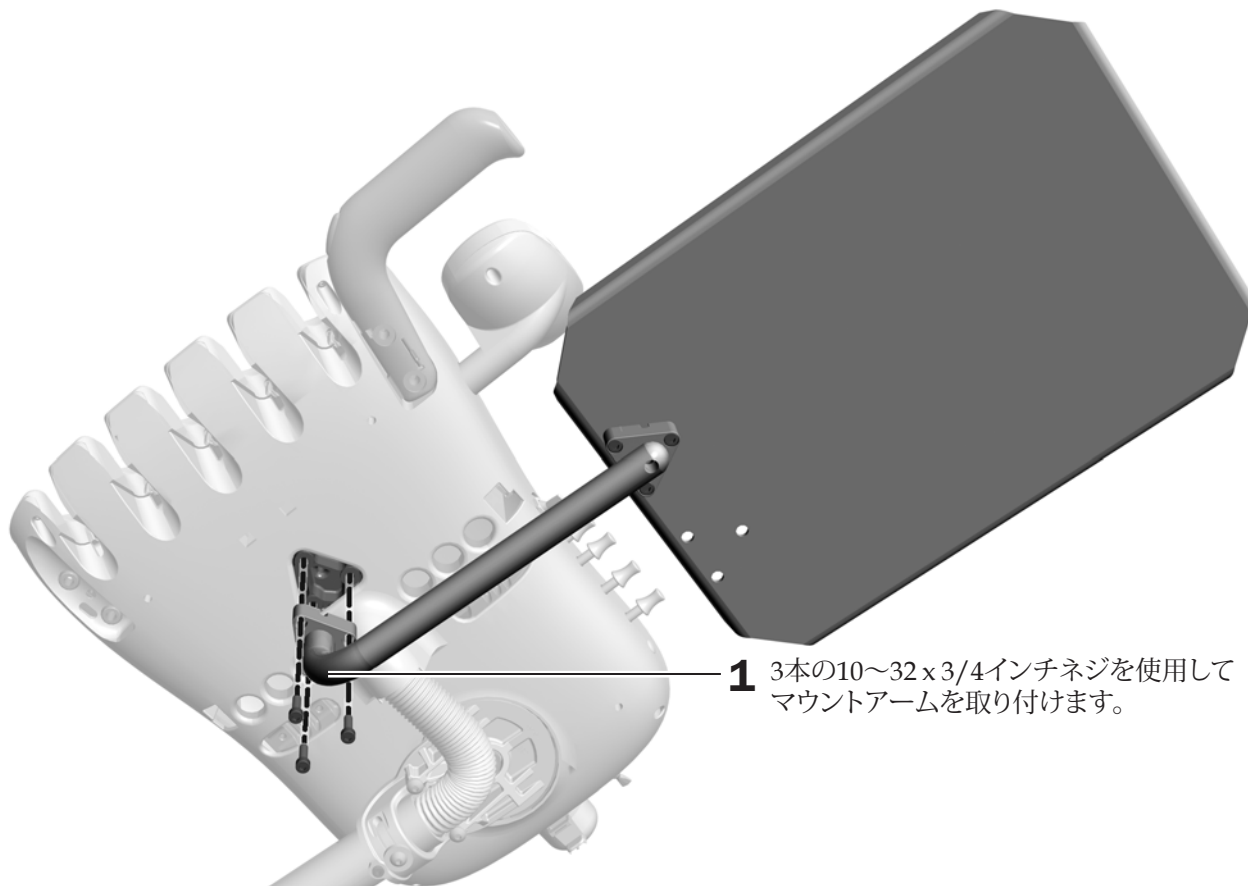
## トレイホルダー (オプション) の取り付け

システムに取り付けるコントロールヘッドの種類に応じて、適切な手順を実行します。

### Continental デリバリーシステム

#### 推奨する工具

- 5/32 インチ六角レンチ



## Traditionalデリバリーシステム

### 推奨する工具

- 1/8インチ六角レンチ



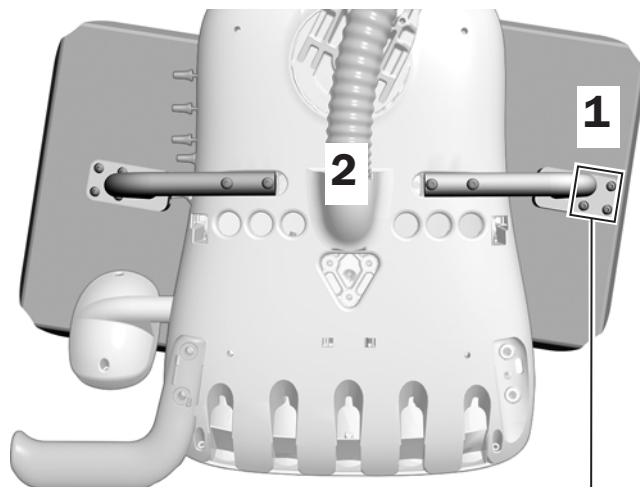
**ヒント** コントロールヘッドの調整キーがある側とは反対側にトレイホルダーを取り付けると、調整キーが操作しやすくなります。



**注意** ネジを締めすぎないようにしてください。締めすぎると、トレイの表面が損傷したり、マウントが壊れたりする恐れがあります。

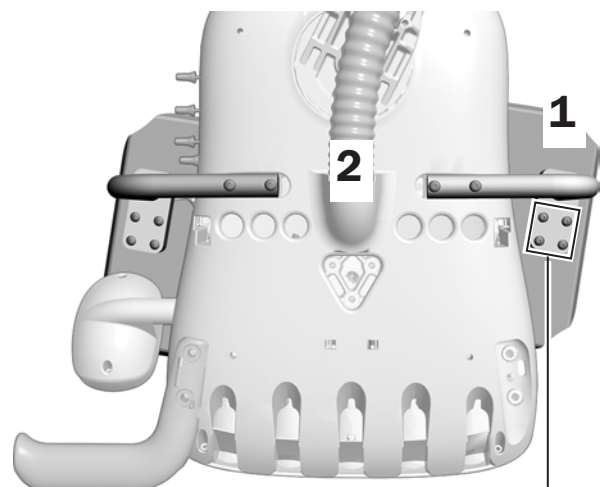
1. 10~32x1/2インチネジを使用して、トレイホルダーの底にマウントアームを取り付けます。適切な位置に取り付けるために、取り付けるトレイの大きさを下の図で確認してください。
2. 2本の10~32x1インチ・ボタンボルトを使用して、コントロールヘッドのいずれかの側にマウントアームを取り付けます。

大型トレイ・ホルダー



4つのネジ穴がコントロールヘッドとは反対の側に来るようにします。

小型トレイ・ホルダー



4つのネジ穴がコントロールヘッドの前側に来るようにします。

## モニターマウントの取り付け

チェアにモニターマウント (A-dec 381、382、482) が含まれている場合は、そのモニターマウントに同梱されている指示書に従って取り付けます。

## A-dec 572歯科ライトの取り付け



**確認** システムにLEDライトが含まれる場合は、以下のセクションではなく、LEDライトに付属の指示に従ってください。

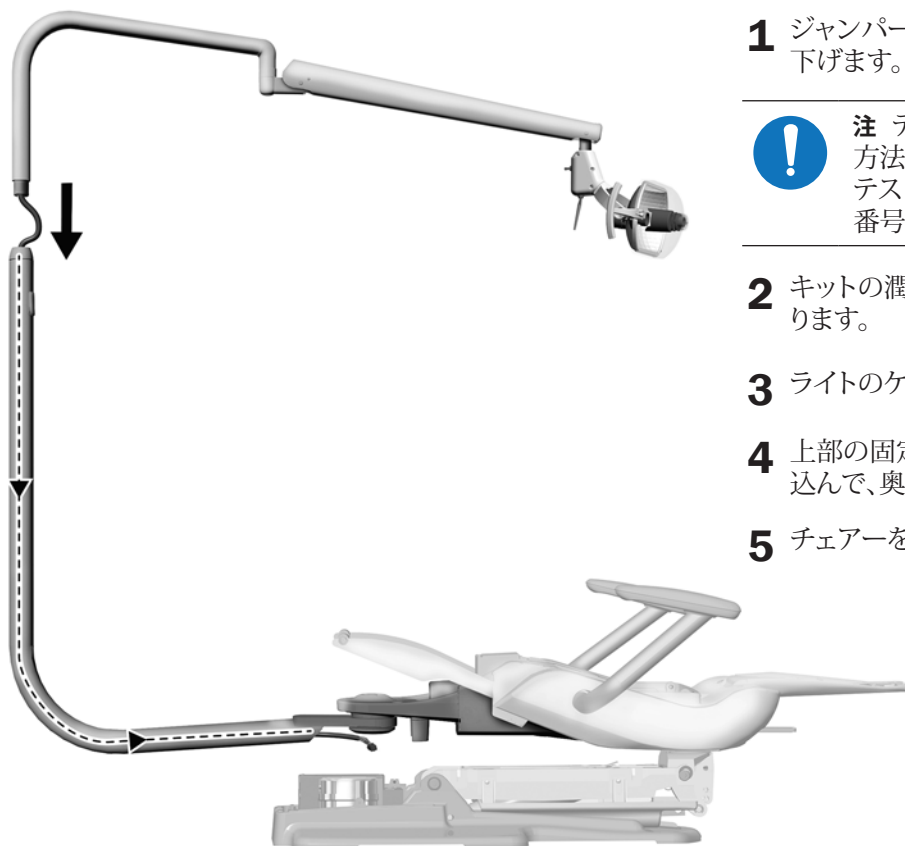
以下の手順を実行する前に、歯科ライトの固定アームを取り付ける必要があります。固定アームを取り付けていない場合は、以下のいずれかを参照してください。

- 13ページの「歯科ライトまたはモニターマウント固定アームのみの取り付け」
- 15ページの「デュアル固定アームの取り付け」

### 推奨する工具

- 斜ニッパー

### 手順 1.



A-dec 572歯科ライト

- 1 ジャンパーを使用してチェアのベースを完全に下げます。

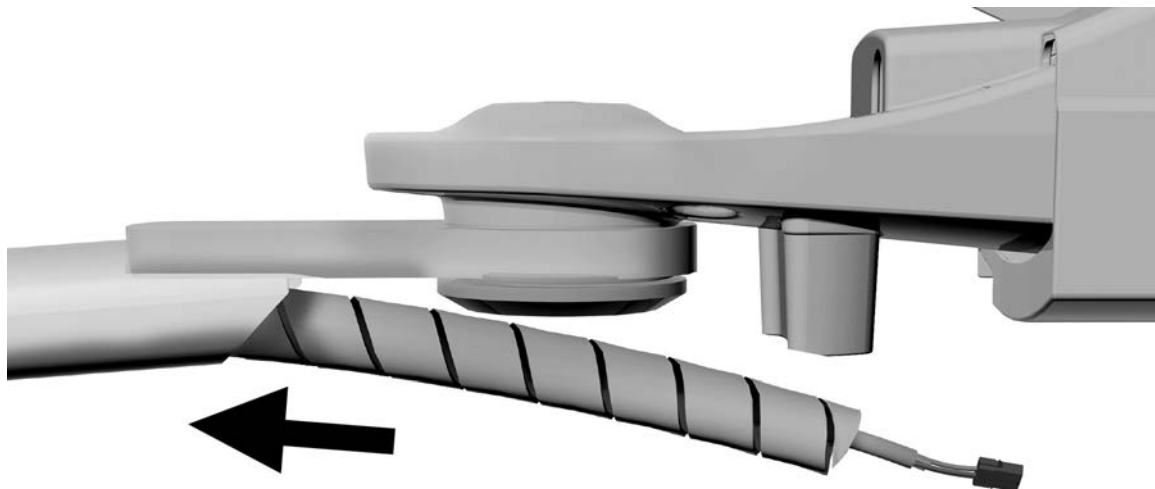


**注** テストポイントでジャンパーを使用する方法については、「チェア回路基板のテストポイントに関するリファレンス」(部品番号(P/N)86.0680.05)を参照してください。

- 2 キットの潤滑油を上部固定アームの先端周囲に塗ります。
- 3 ライトのケーブルを下部の固定アームに通します。
- 4 上部の固定アームを下部の固定アームに差し込んで、奥までしっかりと入れます。
- 5 チェアを上昇させます。

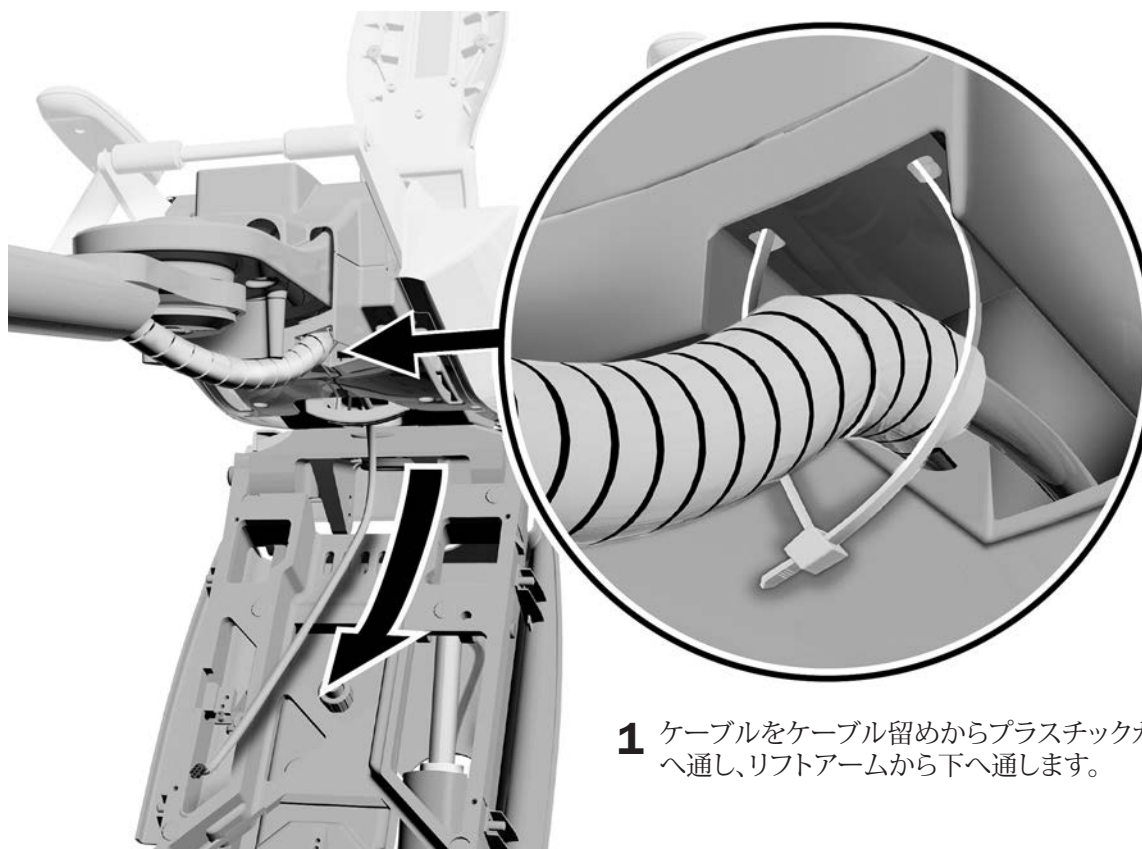


**手順 2.**



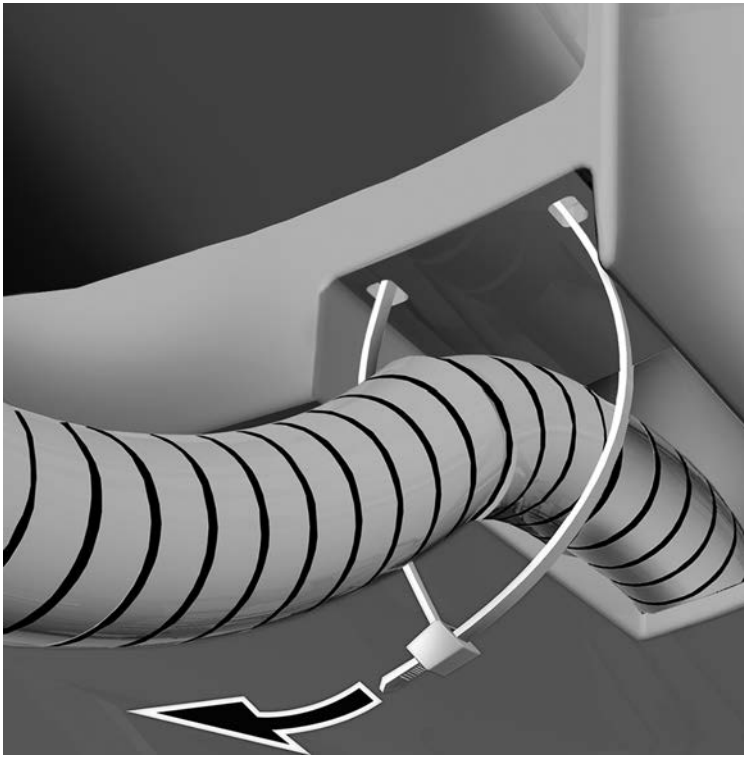
- 1** ケーブルにスパイラルチューブを巻き付けます。

**手順 3.**



- 1** ケーブルをケーブル留めからプラスチックカバーの孔へ通し、リフトアームから下へ通します。

#### 手順 4.



- 1 スパイラルチューブがプラスチックカバーの孔から1インチ飛び出すように位置を合わせます。
- 2 スパイラルチューブをケーブル留めで固定します。

#### 手順 5.



- 1 ケーブル留めコンネクタをチェアーの中央側に回します。
- 2 余分なケーブル留めを切除します。

## フロアボックスの取り付け

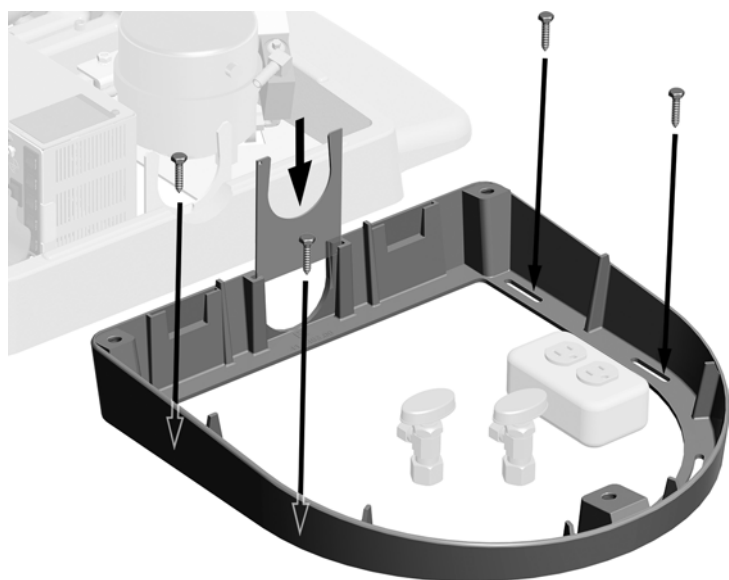


**注** この手順を実行する前に、システムのすべてのモジュールを取り付けます。

### 推奨する工具

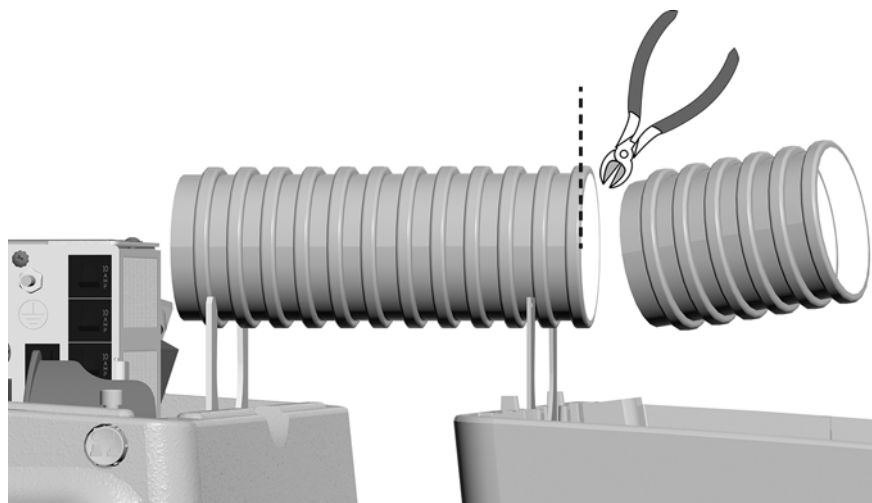
- プラスドライバー
- 斜ニッパー
- 巻尺

#### 手順 1.



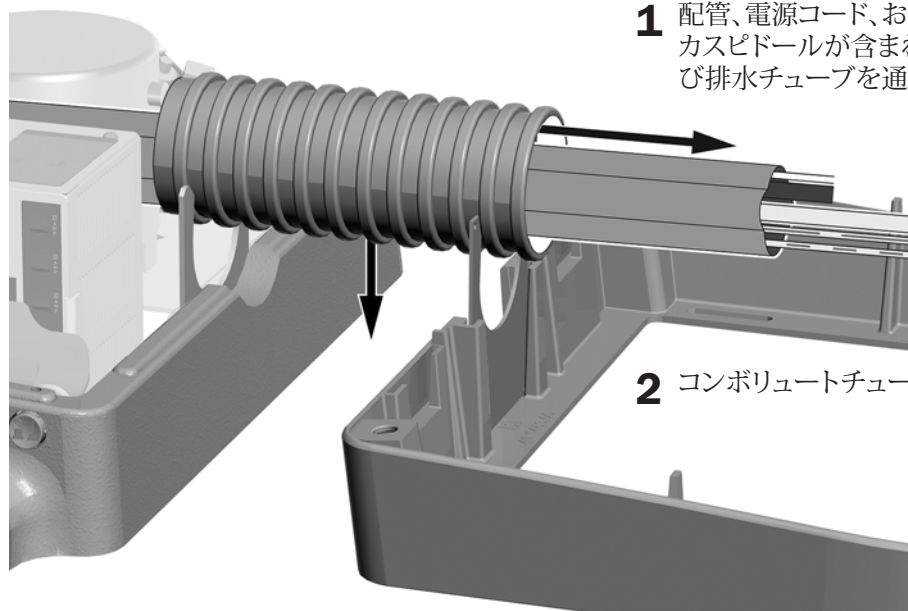
- 1** ユーティリティを囲むようにフロアボックスのフレームを配置します。
- 2** 以下のものを4つ使用して、フレームを床に固定します。
  - 板張り床:1~1/4インチネジ
  - コンクリート床:2インチアンカー
- 3** アンビリカルクリップをフレームのスロットに差し込みます。

#### 手順 2.



- 1** チェアとフロアボックスの間の距離を測定します。
- 2** コンポリュートチューブを切って長さを合わせます。

**手順 3.**



**1** 配管、電源コード、およびシステムに歯科助手用器具やカスビドールが含まれる場合はバキュームラインおよび排水チューブを通します。

**2** コンポリユートチューブをクリップに差し込みます。

## ワイヤとデータ回線の接続

1. システムの電源をオフにします。



**注意** 配線や配管が損傷したり外れたりするのを避けるため、すべてのシステムモジュールを取り付け終わってから接続作業を行ってください。



**警告** この手順を開始する前に電源をオフに、つまり遮断しないと、装置に損傷を与えたり、死亡を含む人身事故を起こす恐れがあります。



**注意** 回路基盤は静電気による損傷を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電(ESD)対策が必要です。回路基盤の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

### 歯科ライト電線の接続

#### 推奨する工具

- 斜ニッパー
- ワイヤストリッパ

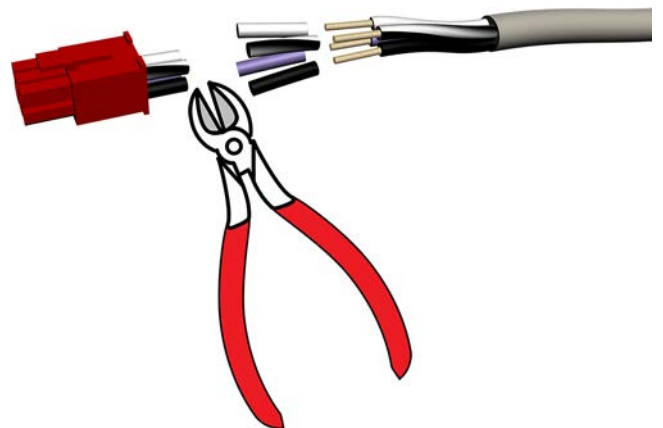
#### 手順 1.

- 1 歯科ライトケーブルの端の赤いコネクタを切断します。
- 2 ライトケーブルが長すぎる場合は、適切な長さにケーブルを切除します。

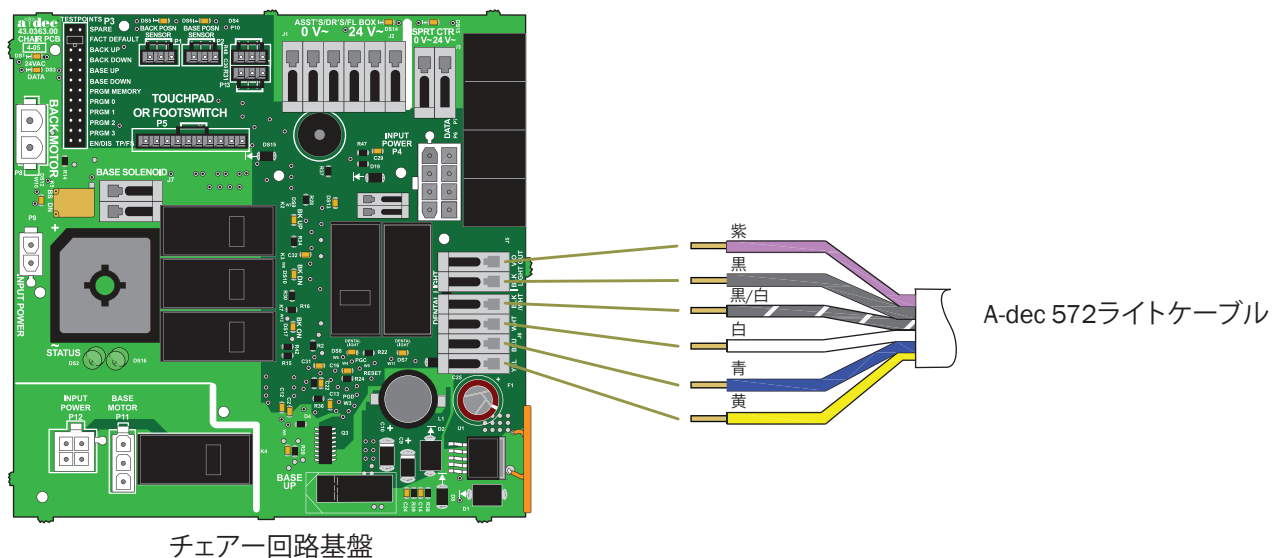


**注意** 外側の撚り線を意図せず外してしまい、芯の導線を傷めることがないように、撚り線の芯の導線に応じた適切なサイズのワイヤストリッパを使用してください。

- 3 ワイヤの被膜を10 mm(3/8インチ)はがします。ワイヤは1.31 mm<sup>2</sup>(16 AWG)です。



## 手順 2.



- 1 黒と紫のワイヤを端子板J5に取り付けます。
- 2 黒/白、白、青、黄色のワイヤを端子板J6に接続します。

## デリバリーシステム電線とデータ回線の接続



注 電源装置の最上部にチェアの回路基板のための電気接続図が表示されています。

### 推奨する工具

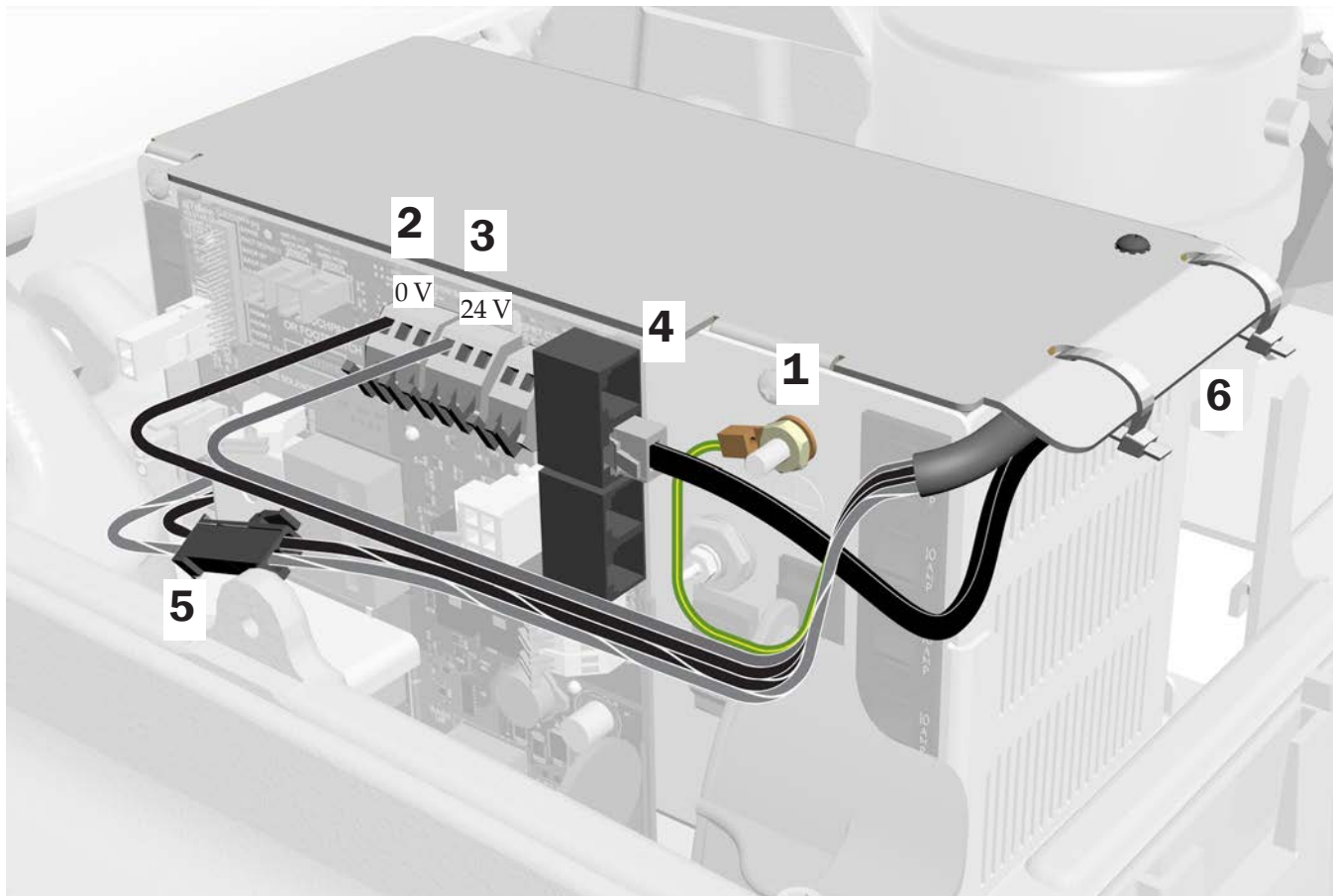
- 3/8インチ・コンビネーション・レンチ
- 斜ニッパー

1. デリバリーシステムのアース線を接続します。
2. デリバリーシステムのケーブルの黒いワイヤを0 V WAGO®コネクタに接続します。
3. デリバリーシステムのケーブルの灰色のワイヤを24 V WAGOコネクタに接続します。



注 必要に応じて、1つの端子に複数のワイヤを接続することができます。

4. データラインをデータポートのどれかにプラグインします。
5. 黒の二段階式コネクタを黒の24 VAC絶縁リードに接続します。
6. システムモジュールのすべての電気接続が完了したら、電源装置の縁の下側にワイヤを固定します。



## 配管の接続



**注意** ワイヤや配管の破損や切断を避けるため、システムのすべてのモジュールが取り付けられるまでは何も接続しないでください。

### フットコントロールチューブの配管

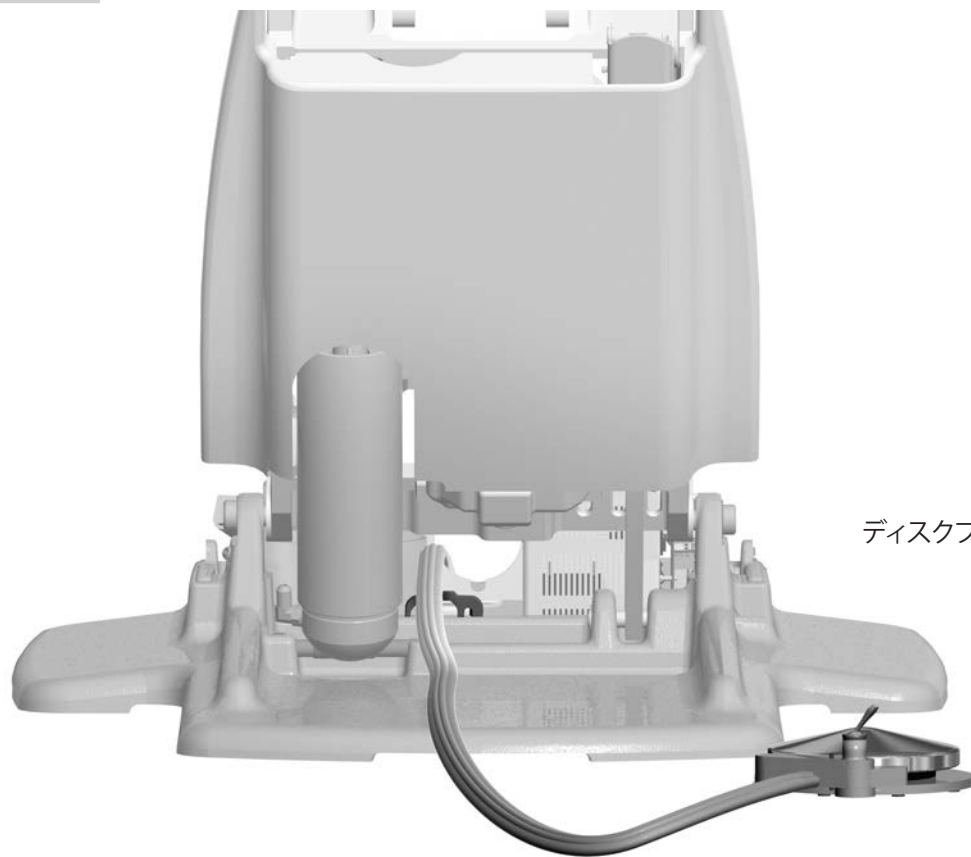


**注** ディスクフットコントロールの接続とレバーフットコントロールの接続は同じです。

#### 推奨する工具

- 3/16インチ六角レンチ

#### 手順 1.

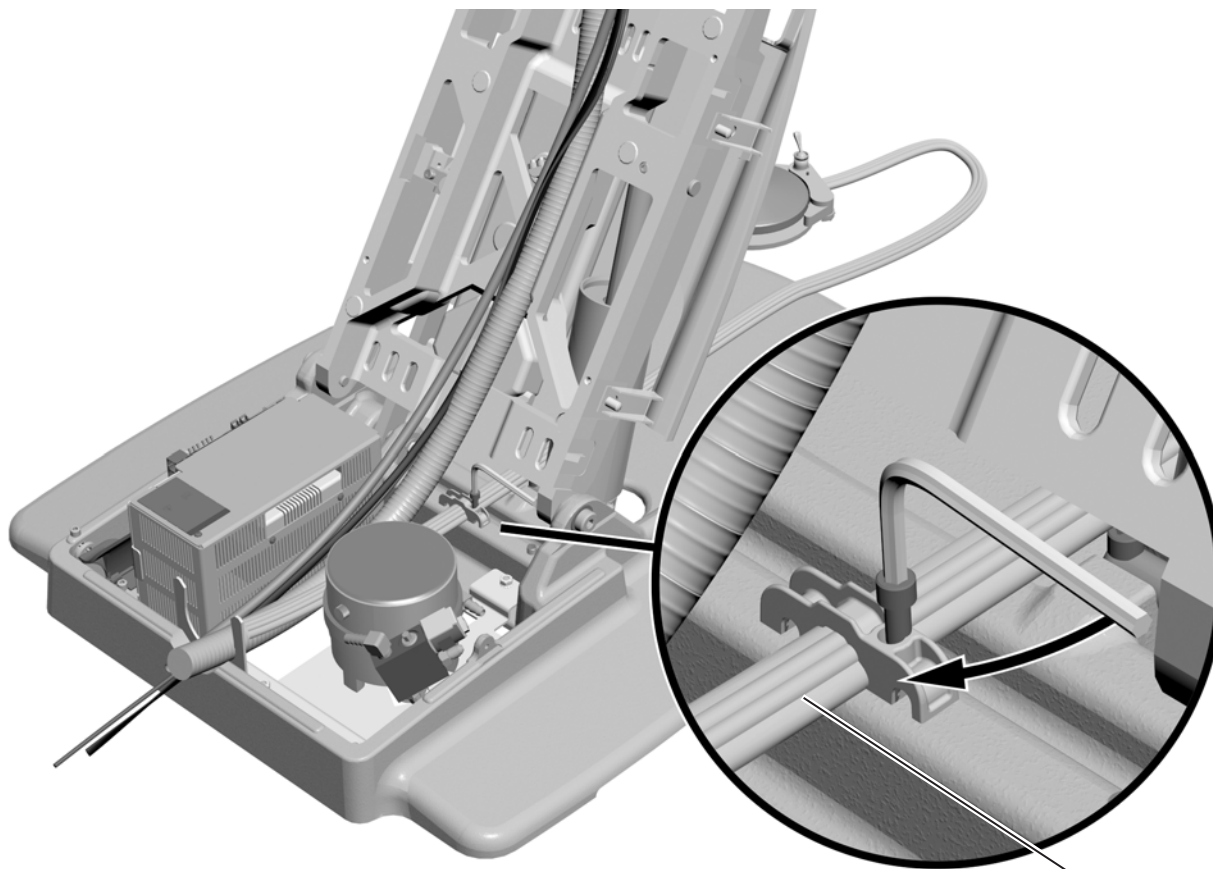


ディスクフットコントロールの図

- 1** チェアの背面側からフットコントロールチューブを張力緩和装置の上と電源装置の背後を通します。



**手順 2.**



- 1** 3/16インチの六角レンチを使って、チェアベースへのフットコントロールのチューブを張力緩和装置に固定します。



**注** 適切な位置出しのため、フットコントロールチューブの畝を張力緩和装置内の溝に合わせて仰向けにしてください。

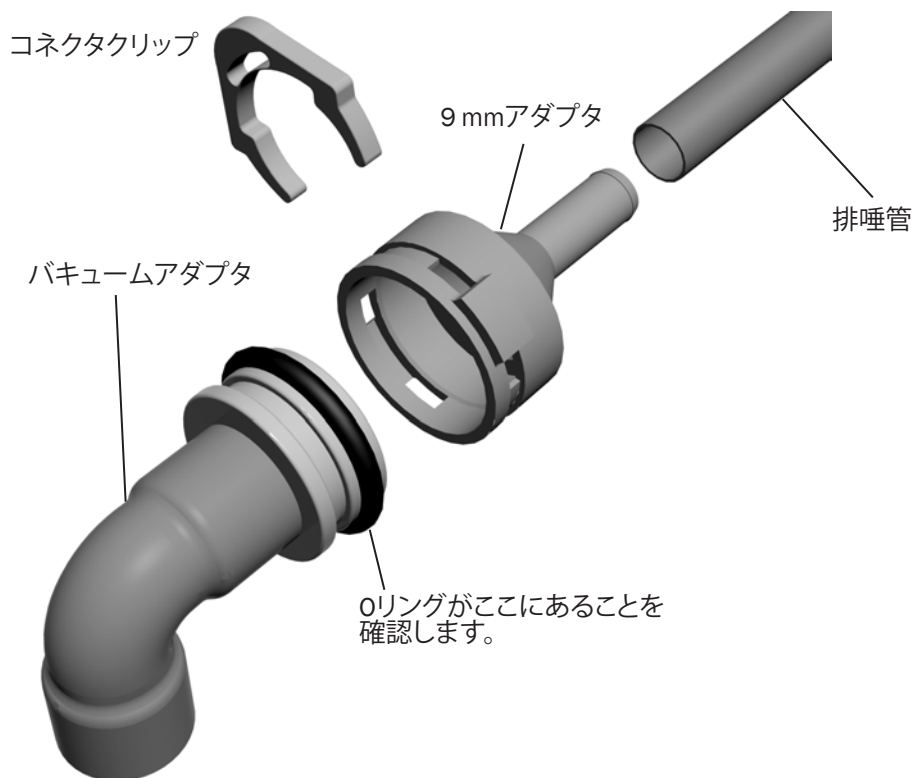
## A-dec 336排唾管 (オプション) チューブの接続

A-dec 336デリバリーシステムをオプションの排唾管とともに取り付ける場合は、次の手順に従ってそのバキュームラインを接続します。

### 歯科助手用器具のないチェアに排唾管チューブを接続

#### 手順 1.

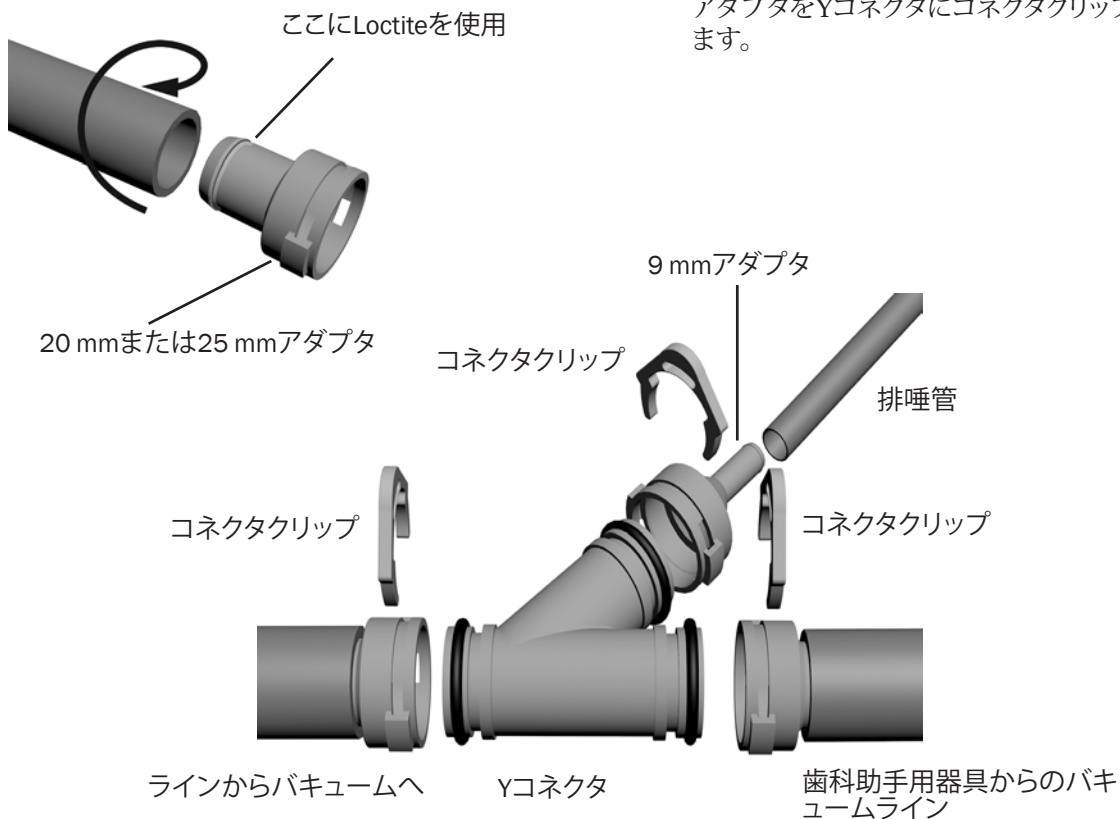
- 1 デリバリーシステムのチューブバンドル内の5/16インチ排唾管を見つけます。
- 2 排唾管を回旋状のチューブを通してフロアボックスに配管します。
- 3 バキュームアダプタ(真鍮のカラー付き銅管)をバキュームラインに接続します。
- 4 排唾管をバキュームアダプタに接続します。サービスループ用に十分な長さを残して余計なチューブを除去し、トリムします。
- 5 排唾管を9 mmアダプタに押しかぶせます。
- 6 Oリングがバキュームアダプタの上に取り付けられていることを確認します。取り付けられていない場合は、アダプタの最初の溝にOリングを取り付けます。
- 7 排唾管の9 mmアダプタをバキュームアダプタに取り付けます。チューブのコネクタをバキュームアダプタにコネクタクリップを使って固定します。



## A-dec 351または551歯科助手用器具付きチェアに排唾管チューブを接続

### 手順 1.

- 1 歯科助手用器具のバキュームラインを回旋状パイプを通してフロアボックスに配管します。
- 2 排唾管を回旋状のチューブを通してフロアボックスに配管します。
- 3 Yコネクタをフロアボックス内の歯科助手用器具のバキュームライン横に置きます。バキュームラインをYコネクタ先端の隣の点で切断します。
- 4 Loctite® 411をアダプタの1つのリップに塗布します。351が取り付けられている場合は、20 mmのアダプタを使用します。551が取り付けられている場合は、25 mmのアダプタを使用します。
- 5 回旋状のチューブから来ている方のバキュームラインをアダプタにねじ込みます。
- 6 アダプタをYコネクタの主トップ開口部に取り付けます。アダプタをYコネクタにコネクタクリップで固定します。
- 7 Loctite 411を残ったアダプタの1つのリップに塗布します。
- 8 バキュームラインの残りの部分をねじってアダプタに押し込みます。
- 9 バキュームラインをバキュームソースに接続します。
- 10 アダプタをYコネクタの下開口部に取り付けます。アダプタをYコネクタにコネクタクリップで固定します。
- 11 排唾管を9 mmアダプタに押しかぶせます。
- 12 排唾管をYコネクタの横開口部に取り付けます。アダプタをYコネクタにコネクタクリップで固定します。



## 配管の準備と接続

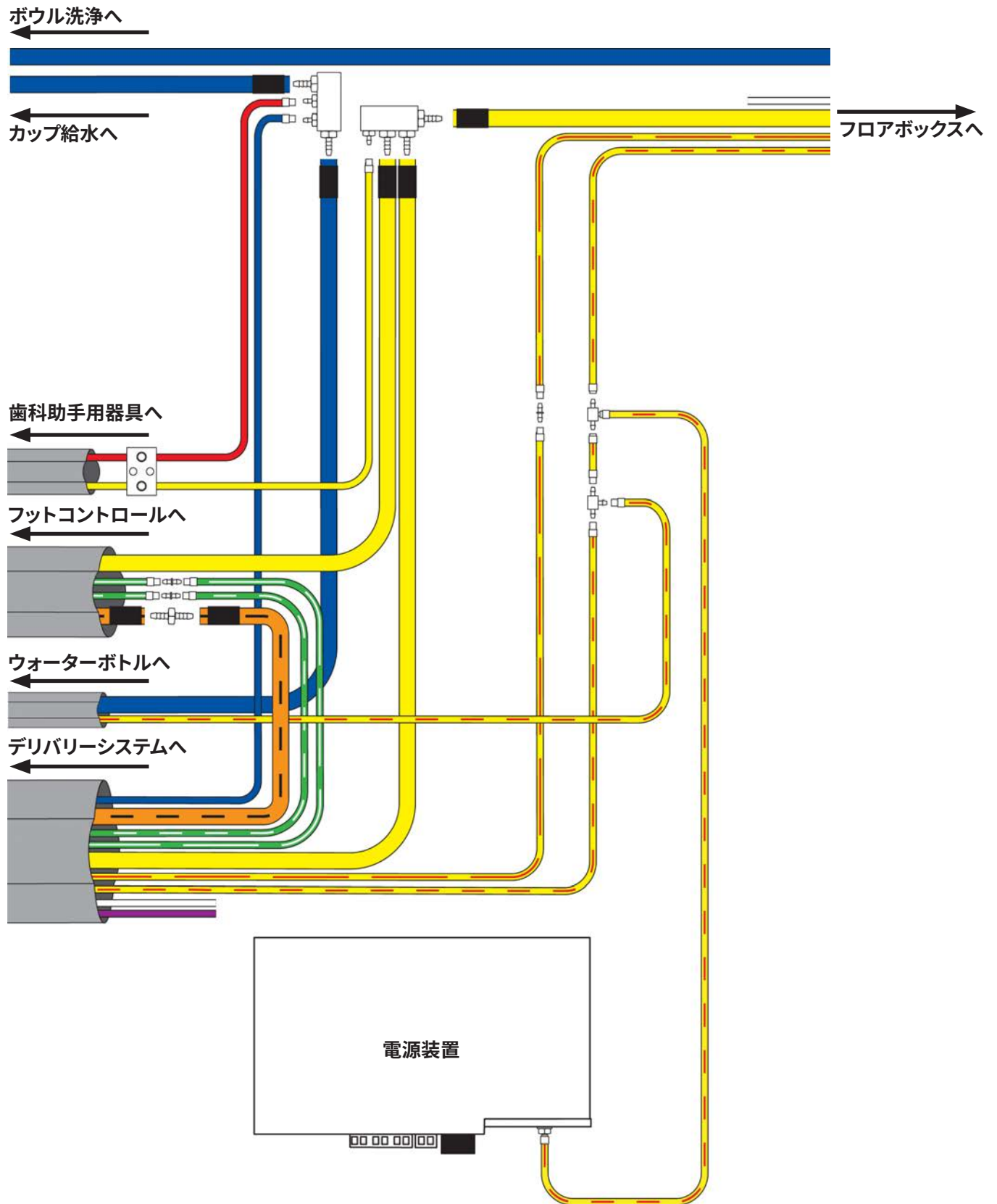
### 推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー

1. ウォーターボットの配管から外装を1メートルほど取り除きます。
2. 次のページのフローチャートに従って配管を接続します。



**注** 水マニホールドを取り付けるときは、必ず、マニホールド内で水が淀むのを避けるために、端にバンプ継手を取り付けてください。



## フロアボックス・ユーティリティの接続

システムの構成に応じた接続を完了します。

デリバリーシステムのための接続 .....	46
複数のモジュールが含まれるシステムの接続 .....	47

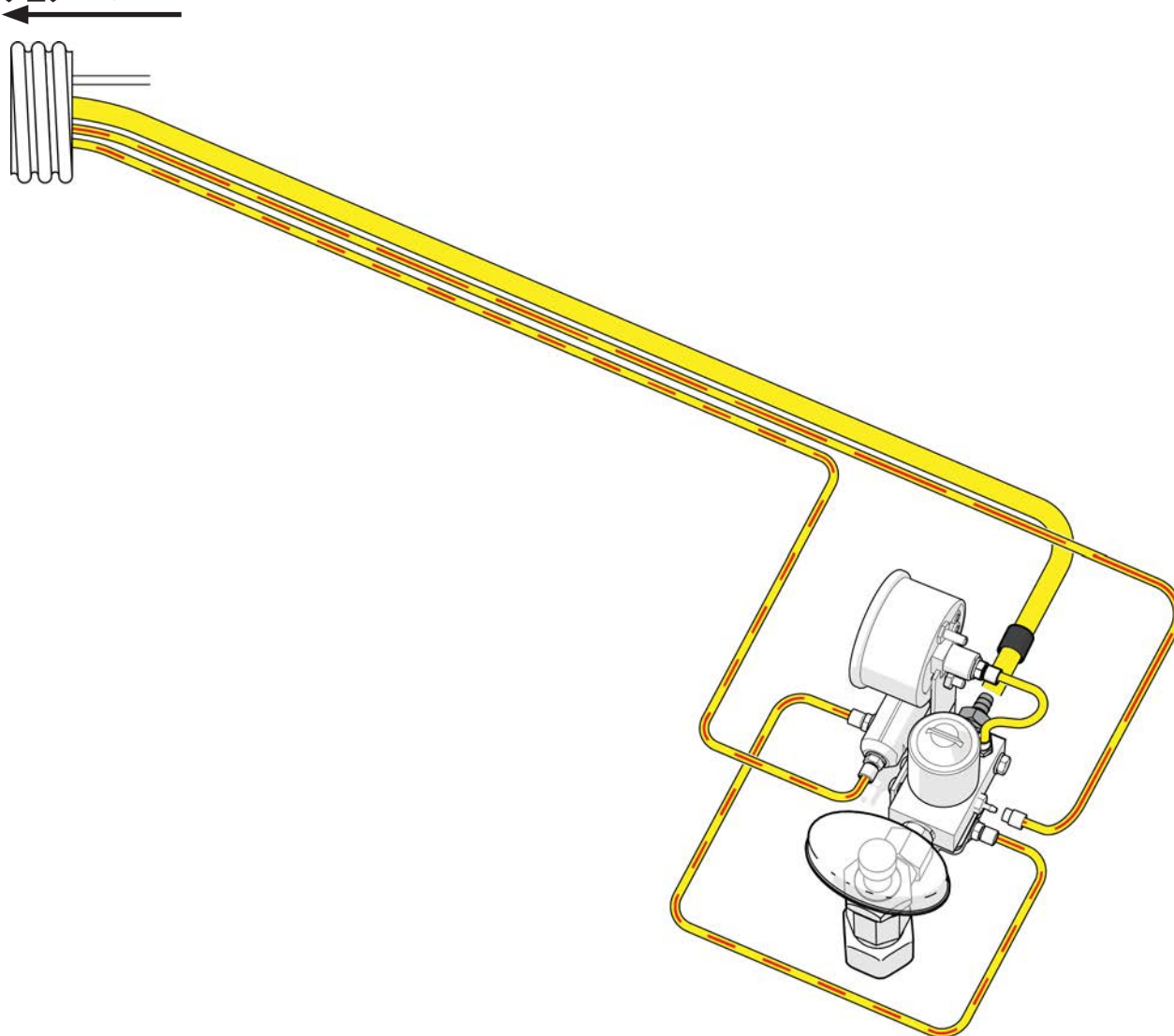
### デリバリーシステムのための接続

システムにデリバリーシステム以外のモジュールが含まれていない場合は、この図を使用します。

#### 推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー

チェアへ



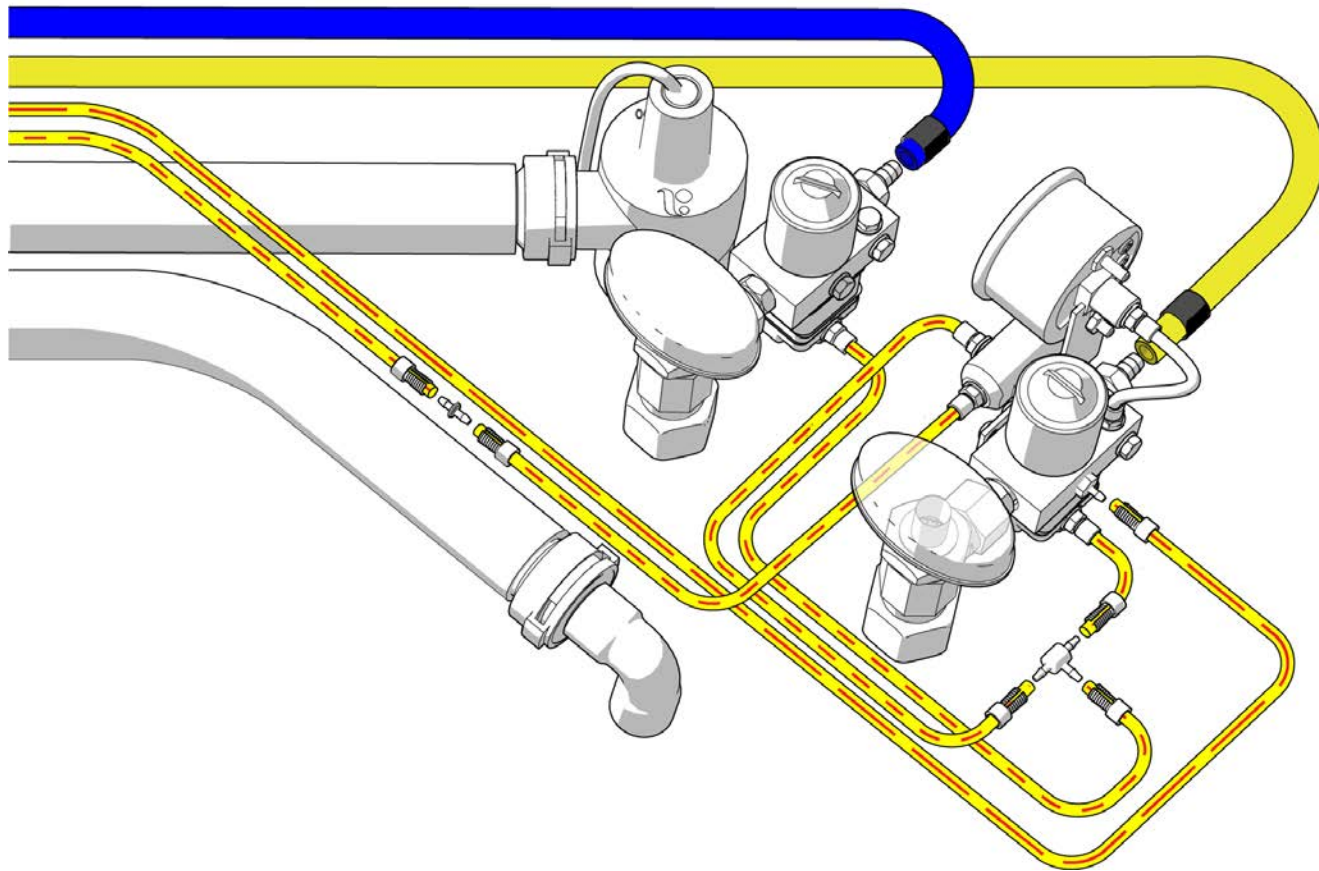
## 複数のモジュールが含まれるシステムの接続

システムにデリバリーシステムの他にもモジュールが含まれている場合は、この図を使用します。

### 推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー

チェアへ



## 湿分分離器の取り付け (オプション)

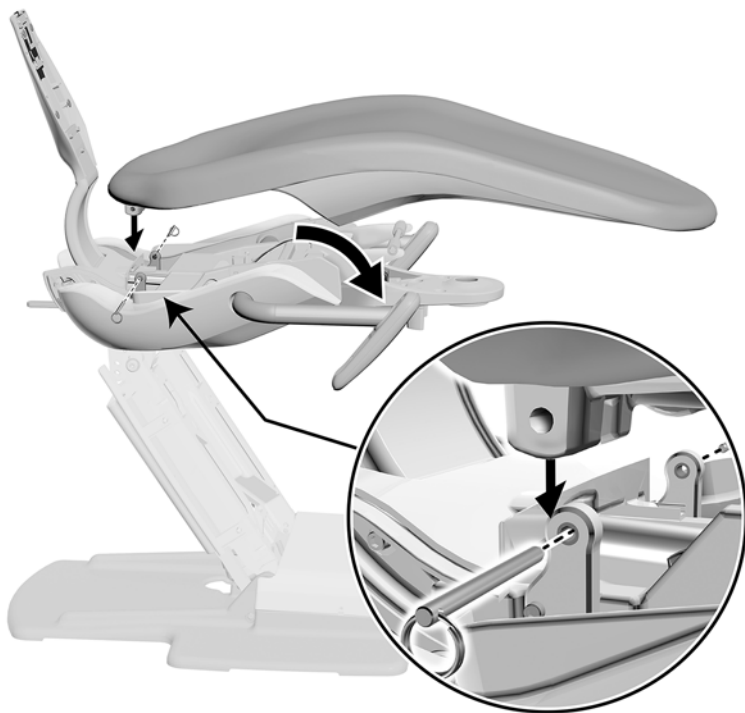
湿分分離器を取り付けるには、湿分分離器キットに同梱の説明書を参照してください。

## 張地の取付け

A-dec 411 デンタルチェアの張地には、シート、背もたれ、およびデュアル関節ヘッドレストがあります。



### シート張地の取り付け



- 1** チェアを上昇させます。
- 2** アームレストを前方へ動かします。
- 3** 側面カバーを引き出します。
- 4** シート張地の孔をチェアのフレームの孔に合わせます。
- 5** シート張地とチェアのフレームを貫いてピンのリングがシートに接するまでピンを押しします。
- 6** 側面カバーを取り付け直します。



## 背もたれ張地の取り付け



- 1** 背もたれを元に戻し、チェアを下げます。
- 2** 背もたれ張地のキーホールをチェアの背もたれ上の固定支柱の上に位置出します。
- 3** 背もたれ張地の上部がチェアの背もたれと位置が合うまで押し込みます。

## ヘッドレスト張地の取り付け

ロックノブ・ヘッドレストおよびレバーリリース・ヘッドレストは、A-dec 411で使用します。ヘッドセット張地は、どちらのスタイルでも同じ方法で取り付けます。

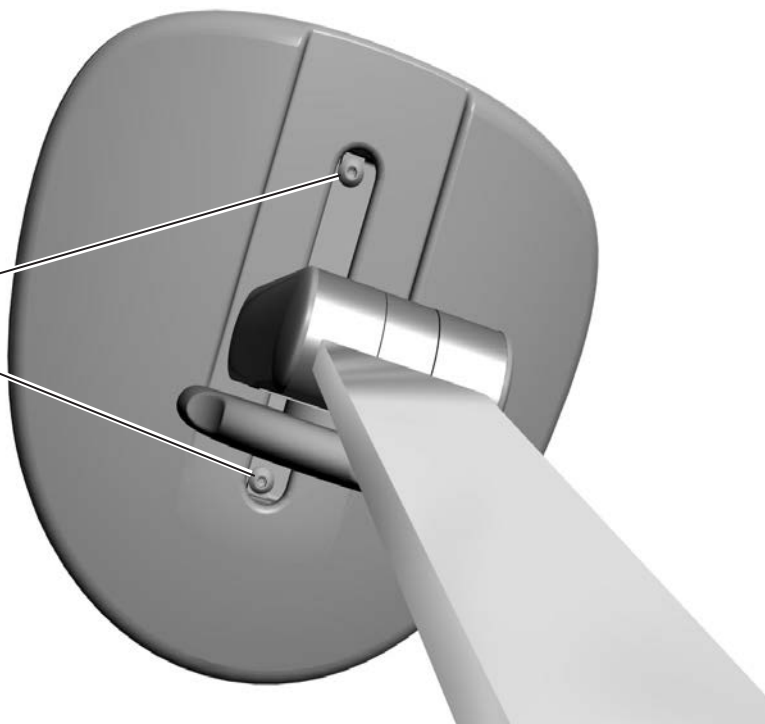
### 推奨する工具

- ロックノブ：1/8インチ六角レンチ
- レバーリリース：7/64インチ六角レンチ

### 手順 1.

ロックノブヘッドレストの図

- 1** ヘッドレスト張地の孔をヘッドレストカバーの孔に合わせます。
- 2** 取付ネジを挿入し締め込みます。



### 手順 2.



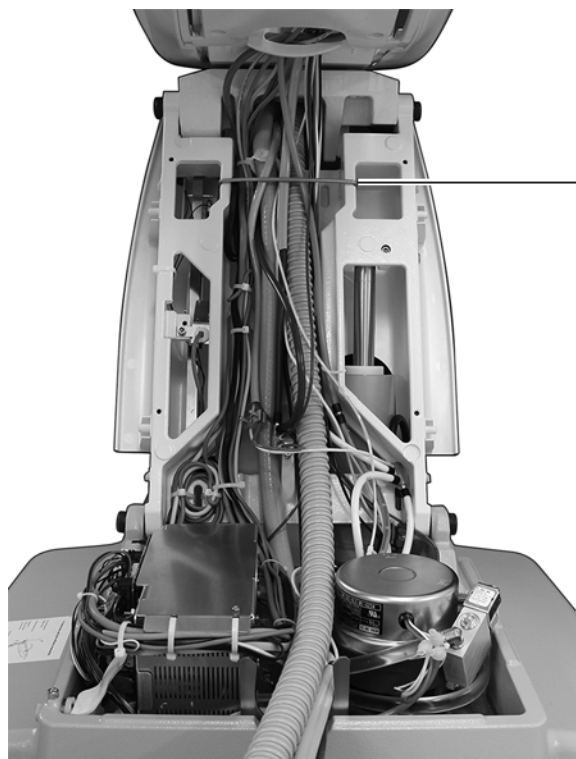
- 1** グライドバーを背板張地の最上部にあるスロットに差し込み、所定の位置へ押し込みます。

## システムの準備と調整

### ワイヤと配管の固定

#### 推奨する工具

- 斜ニッパー



- 1 ベイルを取り付けます。ベイルはフロアボックスキットと一緒に梱包されています。



ベイル



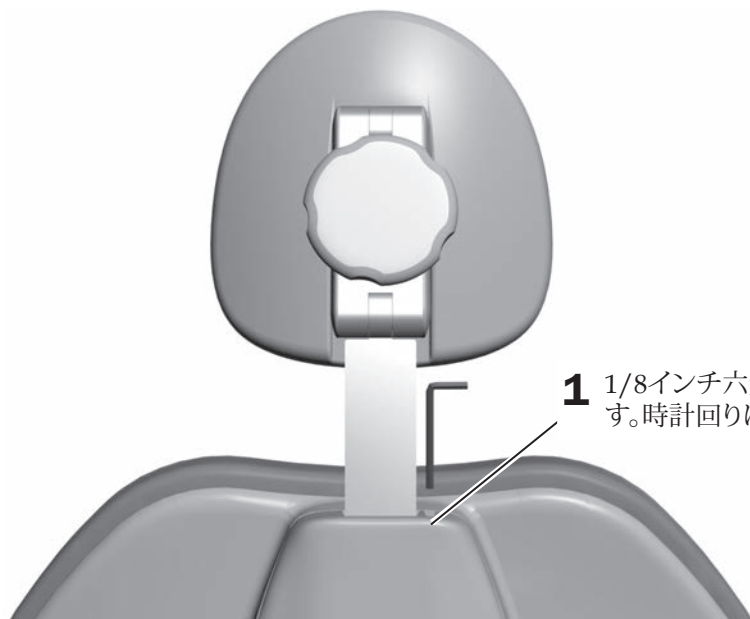
**注意** 配管をリフトアームに固定しないでください。配管はチェアが動いても支障なく動く必要があります。

- 2 ケーブル留めを使用して配管および配線をまとめ、外観を整えます。

## グライダーの調整

### 推奨する工具

- 1/8インチ六角レンチ

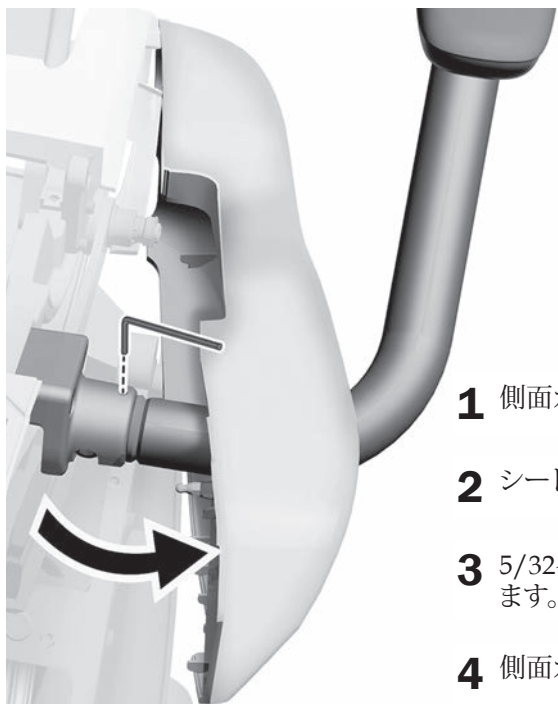


- 1** 1/8インチ六角レンチを使用して、張力を調整します。時計回りに回すと、張力が強まります。

## アームレスト張力の調整

### 推奨する工具

- 5/32インチ六角レンチ

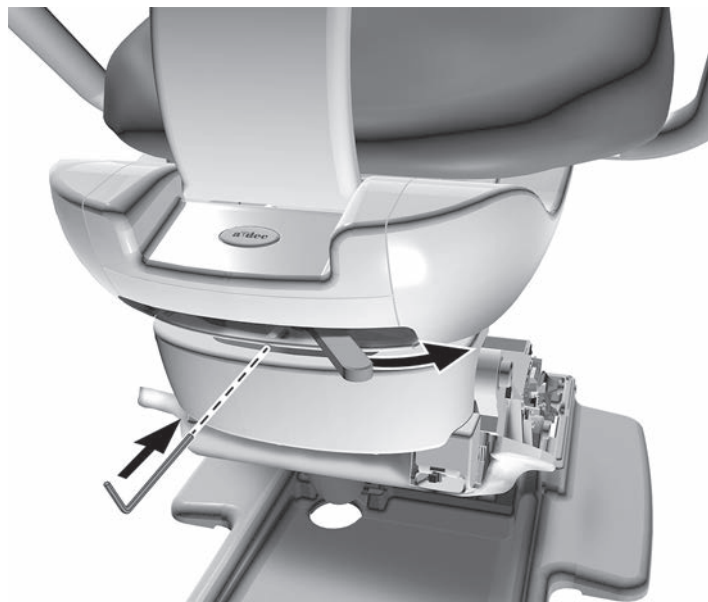


- 1** 側面カバーを引き出します。
- 2** シート張地を持ち上げます。
- 3** 5/32インチ六角レンチを使用して、張力を調整します。時計回りに回すと、張力が強まります。
- 4** 側面カバーを取り付け直します。

## チェアのブレーキの張力の調整

### 推奨する工具

- 7/64インチ六角レンチ



- 1 ブレーキハンドルを右方向に動かします。



**注** チェアに背板取り付け部がある場合は、チェアを旋回させて調整ネジにアクセスします。

- 2 7/64インチ六角レンチを使用して、張力を調整します。時計回りに回すと、張力が強まります。僅かに調整するだけで、張力が大幅に増減します。

## ウォーターボトルの取り付け



**警告** A-dec ICX®ウォーターライン処理タブレットが皮膚に直接触れないようにしてください。詳細については、ICXタブレットに付属する取扱説明書(部品番号(P/N)86.0613.00)を参照してください。

- 1 ウォーターライン処理手順にしたがって、ウォーターボトルにICX錠剤(部品番号(P/N)90.1065.00)を投入します。



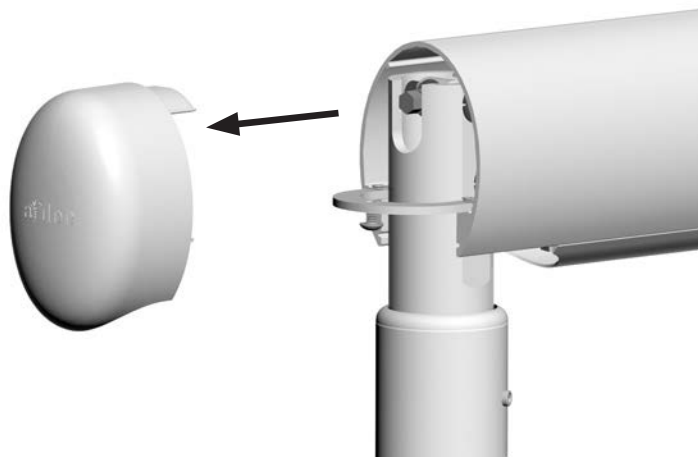
- 2 ボトルに水を満たします。
- 3 レセプタクルのOリングにA-decシリコン潤滑油を塗ります。
- 4 ウォーターボトルをウォーターボトル容器受けに押し上げ、右に回転します。

## デリバリーシステムのバネ式フレックスアームの調整

### 推奨する工具

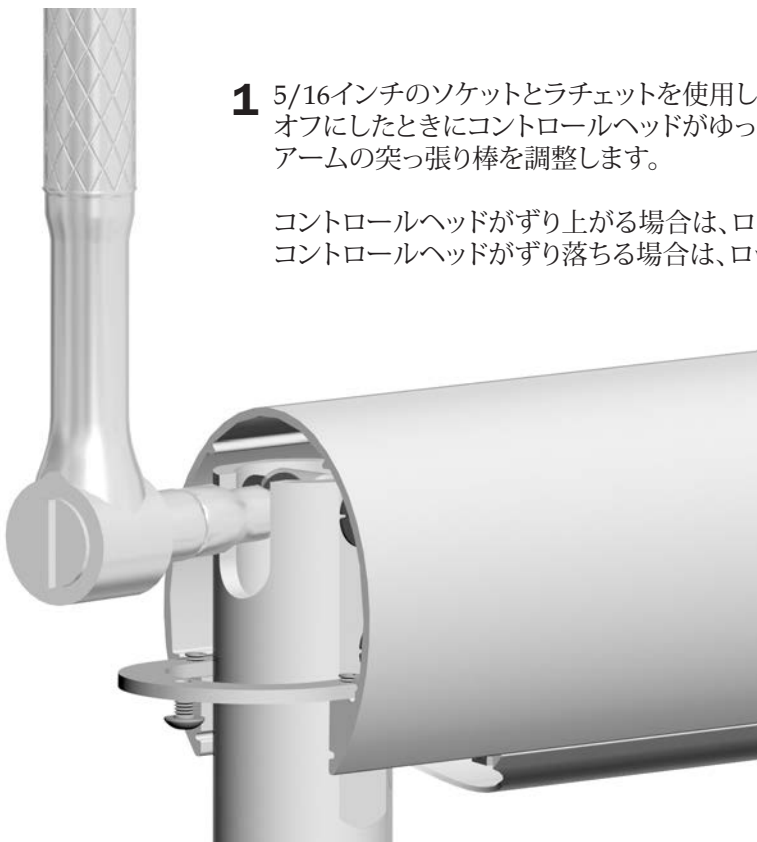
- 1/8インチ六角レンチ
- 5/16インチソケットとラチェット

### 手順 1.



- 1** マスタートグルスイッチをオンにします。
- 2** 通常の操作に合わせてコントロールヘッドにハンドピースを取り付けたトレイを、トレイホルダーに配置します。
- 3** フレックスアームが水平になるようにコントロールヘッドの位置を調整します。
- 4** 1/8インチ六角レンチを使用して、コントロールヘッドから最も遠いエンドキャップを取り外します。
- 5** マスタートグルスイッチをオフにします。

### 手順 2.



- 1** 5/16インチのソケットとラチェットを使用して、マスタートグルスイッチをオフにしたときにコントロールヘッドがゆっくりと上昇するまでフレックスアームの突っ張り棒を調整します。

コントロールヘッドがずり上がる場合は、ロッドを反時計回りに回します。  
コントロールヘッドがずり落ちる場合は、ロッドを時計回りに回します。

## デリバリー・システム・フレックスアーム回転張力の調整

デリバリーシステムのフレックスアームがずれる場合は、フレックスアーム回転の張力を調整するため以下のステップを完了してください。

### 推奨する工具

- 1/8インチ六角レンチ

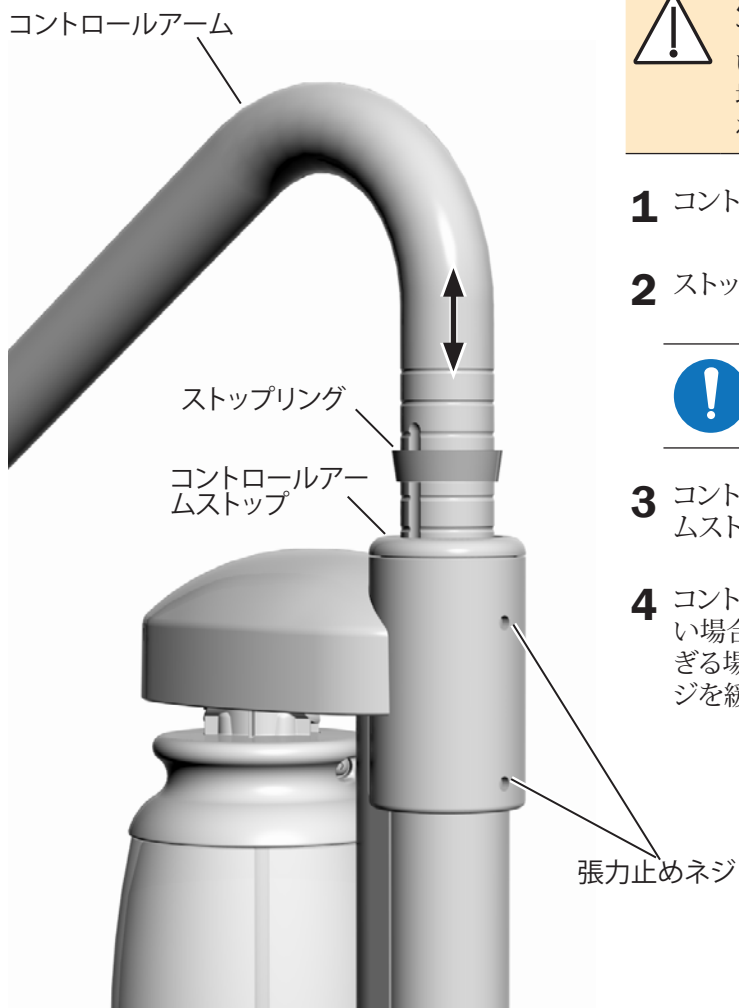


## コントロールヘッドの高さの調整

手動高さ調節機能付きデリバリーシステムの高さを確認します。調節する必要がある場合は次の手順に従います。

### 推奨する工具

- 3/32インチ六角レンチ



**注意** 制御アームを5インチを超えて上げないでください。上げた場合、回転停止ピンが低い方の支柱に落ちる恐れがあります。落ちた場合は固定アームを取り外して回転停止ピンを回収する必要があります。

- 1** コントロールアームを持ち上げます。
- 2** ストップリングを目的の高さの溝までスライドさせます。



**注** コントロールアームの高さ調整範囲は127 mm (5インチ)です。

- 3** コントロールアームとストップリングをコントロールアームストップまで下げます。
- 4** コントロールアームを持ち上げたり回転したりしづらい場合、またはコントロールアームが自由に回転しすぎる場合は、六角レンチを使用して2個の張力止めネジを緩めるか締め付けてください。



## デリバリーシステムのフレックスアーム回転停止ネジの取り付け

### 推奨する工具

- 1/8インチ六角レンチ

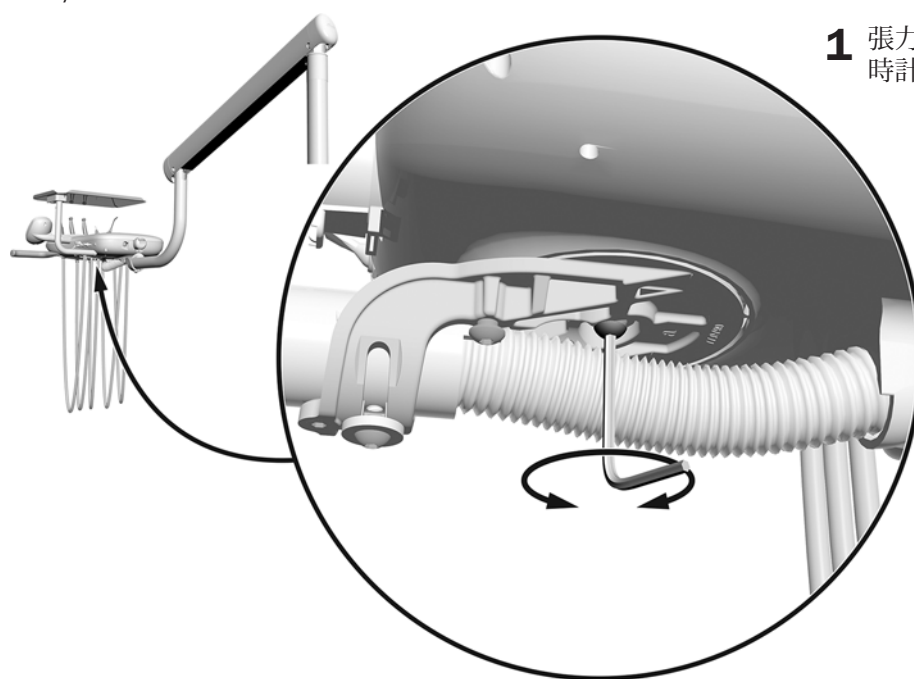
- 1 下部の穴に10~32 x 1//2インチ・ボタンボルトを差し込みます。  
ボルトを下までしっかりと締めます。



## コントロールヘッド回転張力の調整

### 推奨する工具

- 5/32インチ六角レンチ



- 1 張力を調整するには、このネジを回します。  
時計回りに回すと、張力が強まります。

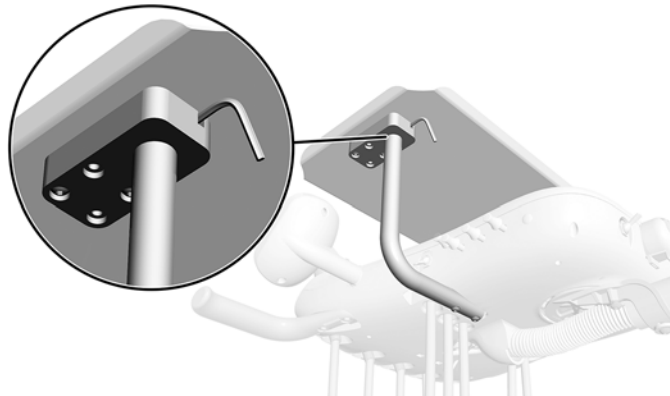
## トレイ回転張力の調整

### 推奨する工具

- 1/8インチ六角レンチ

### Traditionalコントロールヘッド

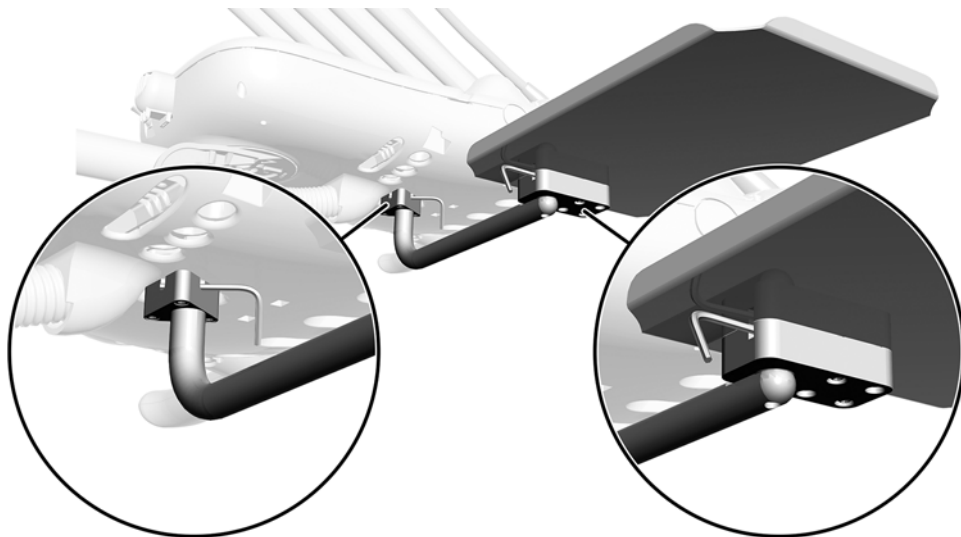
- 1** マウンティングブラケットに六角レンチを差し込みます。  
必要に応じて、レンチがマウンティングブラケットの奥まで入るようにホルダーまたはアームを回転させます。
- 2** 張力を調整するには、トレイを回転させます。  
時計回りに回すと、張力が強まります。



### Continentalコントロールヘッド

Continentalコントロールヘッドは2か所で調整できます。

- 1** マウンティングブラケットに六角レンチを差し込みます。  
必要に応じて、レンチがマウンティングブラケットの奥まで入るようにホルダーまたはアームを回転させます。
- 2** 張力を調整するには、トレイを回転させます。時計回りに回すと、張力が強まります。



## 口腔内光源電圧の調整

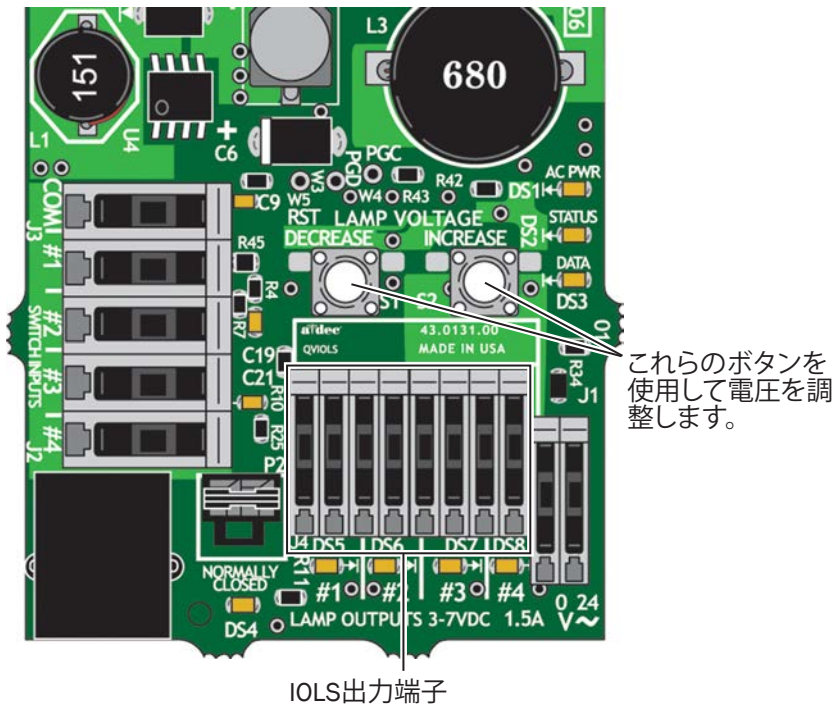
### 推奨する工具

- 7/64インチ六角レンチ
- 電圧計



**注意** 回路基盤は静電気による損傷を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電(ESD)対策が必要です。回路基盤の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

1. 7/64インチの六角レンチを使用して、コントロールヘッドの背面カバーを外します。
2. DC電圧に電圧計をセットし、計測するハンドピースのIOLS出力端子に探針を取り付けます。



3. ハンドピースをホルダーから持ち上げ、ライトをオンにします。
4. 端子の背後にあるボタンを使用して、60ページの表1に従って電圧を調整します。



**注意** 以下の表に示す値は、26 AWG電線、750mA負荷、および推奨電圧バルブDC 3.2Vの光ファイバーの場合のみ有効です。26 AWG電線とその他の定格で電力が供給される光ファイバーについては、方程式  $T = (Z \times 0.006 \times Y) + X$  で計算してください。各項は以下を示します。

- T** = 端子板電圧 (VDC)
- X** = 所望電圧バルブ (VDC)
- Y** = 定格ランプ/負荷電流 (アンペア)
- Z** = 端子板からバルブまでの 26AWG電線長 (インチ)

26 AWG以外のワイヤゲージを使用する機器については、A-decカスタマーサービスまでお問い合わせください。

**表1. A-dec | W&H、Bien Air、その他のバルブ (定格3.2V) の長さおよび電圧の表**

A-dec配管での電線長		推奨電圧バルブ3.2Vになる端子板での電圧	A-dec配管での電線長		推奨電圧バルブ3.2Vになる端子板での電圧
(cm)	(インチ)	VDC +/- 0.2	(cm)	(インチ)	VDC +/- 0.2
122	48	3.40	274	108	3.69
137	54	3.43	290	114	3.72
152	60	3.46	305	120	3.75
168	66	3.49	320	126	3.78
183	72	3.52	335	132	3.81
198	78	3.55	351	138	3.84
213	84	3.58	366	144	3.87
229	90	3.61	381	150	3.90
244	96	3.64	396	156	3.93
259	102	3.67			

## ハンドピース空気送出圧の調整

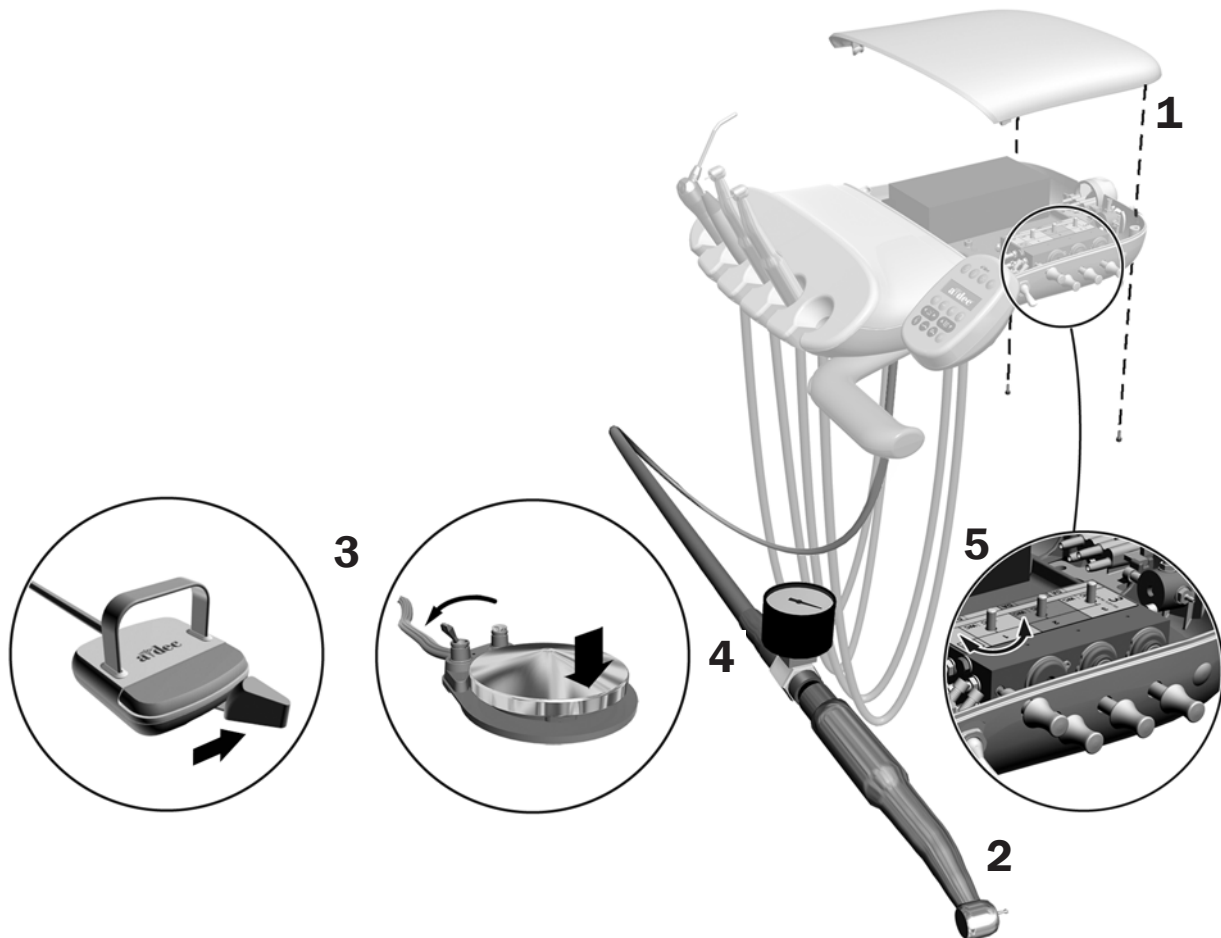
### 推奨する工具

- 7/64インチ六角レンチ



注 空気送出を正確に測定するには、ハンドピース管に接続した空気圧ゲージを使用してください。バーひとつが14.5 psiに相当します。

1. 六角レンチを使用して、コントロールヘッドカバーのネジを取り外します。カバーを取り外し、駆動空気の圧力コントロールを見つけます。
2. ホルダーからハンドピースを取り出します。または、ホイップを前方に引き出します。
3. 次のうちいずれかを行います。
  - ディスクのフットコントロールの場合：トグルスイッチをドライ(青いドットから離れた側)に倒し、ディスクを踏みます。
  - レバーフットコントロールの場合：レバーを右端まで動かします。
4. ハンドピースが動作している状態で、ハンドピースの圧力計を確認します。
5. ハンドピースのメーカーの仕様に従って、駆動空気の圧力を調節します。圧力を下げるには、軸を時計回りに回転します。

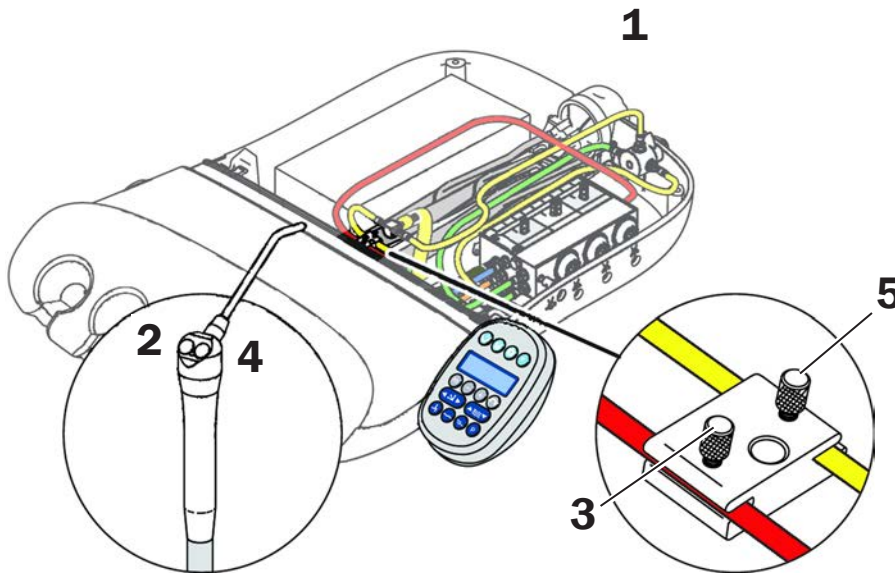


## 医師用シリンジの調整

### 推奨する工具

- 7/64インチ六角レンチ

1. コントロールヘッドの背面カバーを取り外します。
2. 水ボタンを押します。
3. ネジを締めるか緩めて、水の流量を調整します。
4. 両方のボタンを押します。
5. ネジを締めるか緩めて、細かい霧状になるように空気の流量を調整します。
6. デリバリーシステムがTraditionalシステムの場合は、コントロールヘッドの背面カバーを再度取り付けます。

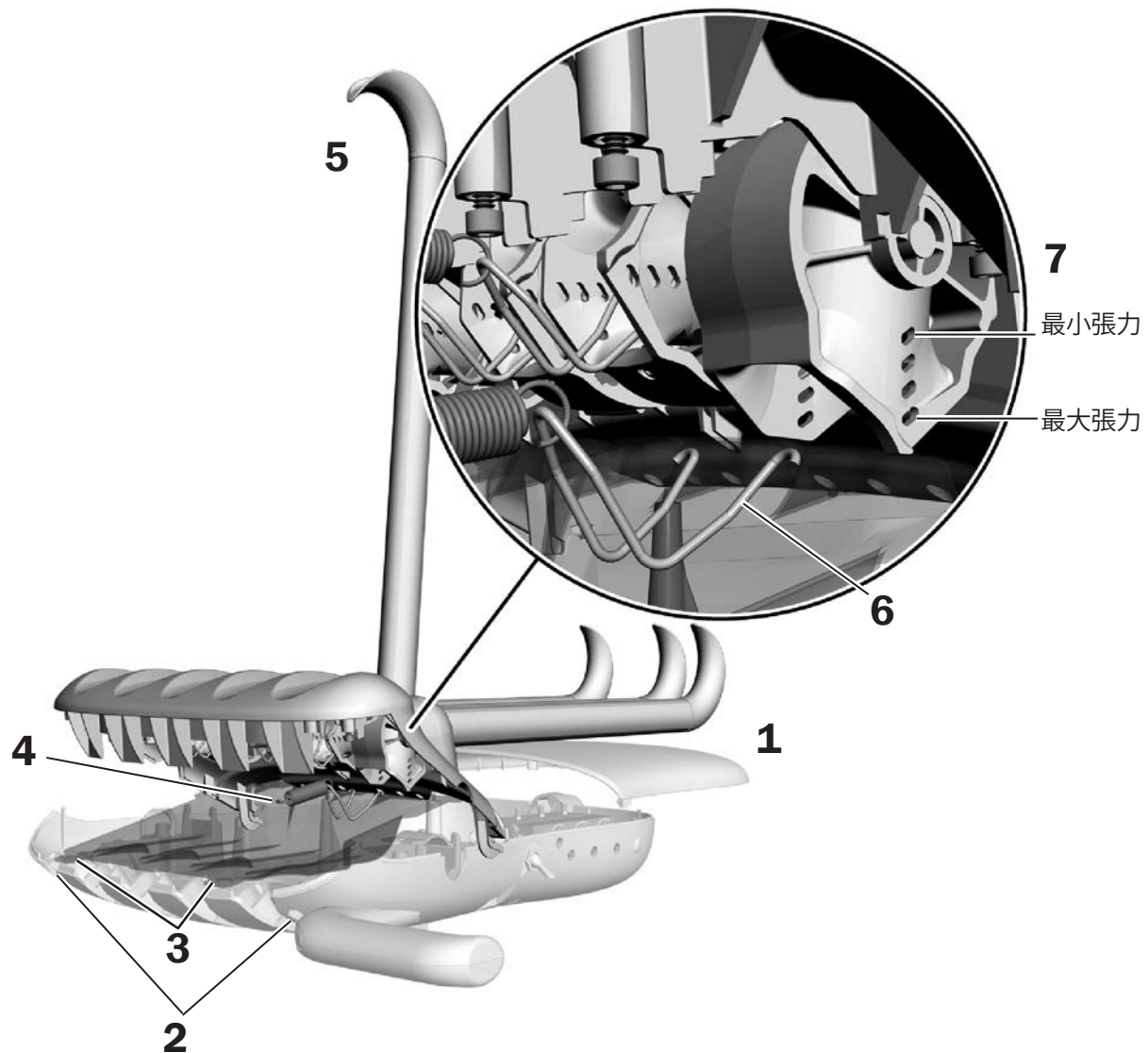


## Continentalホイップ張力の調整

### 推奨する工具

- 7/64インチ六角レンチ

1. コントロールヘッドの背面カバーを取り外します。
2. コントロールヘッドの前面カバーを留めているネジを緩めて、カバーを持ち上げます。
3. ドリップシールドの上部にある2つのタブを引き出して、シールドを引き下ろします。
4. 前面カバーのバネを取り外します。
5. ホイップを前方に引きます。
6. コントロールヘッドからベイルを取り外すには、ベイルを両側から強めにつかんで先端をフレームの穴から抜きます。
7. 必要なホイップ張力を得られる穴にベイルの先端を挿入してから、バネを戻します。
8. 調整する各ホイップについて、手順4~7を繰り返します。
9. コントロールヘッドの背面カバーを再度取り付けます。

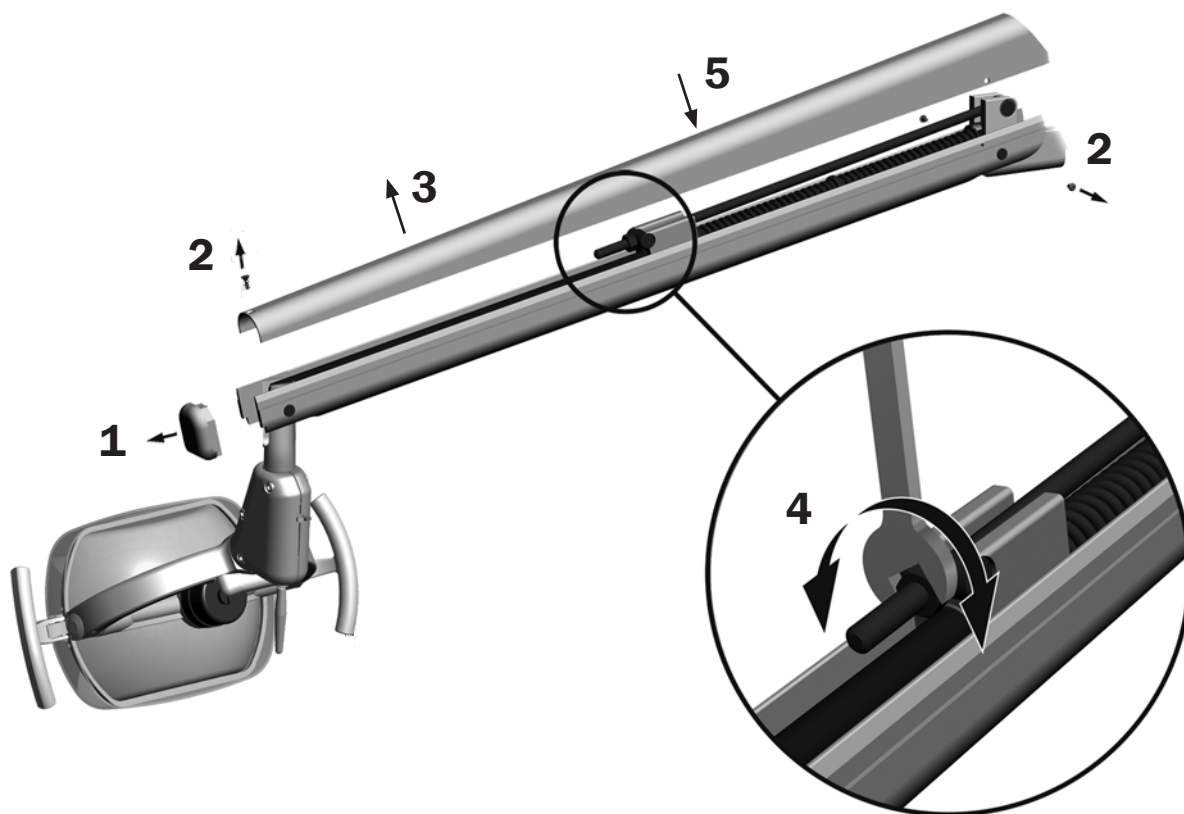


## 歯科ライトフレックスアームの釣合いの調整

### 推奨する工具

- プラスドライバー
- 5/16インチ六角レンチ
- 1/2インチ・コンビネーション・レンチ

1. エンドキャップを取り外します。
2. カバーを固定している3本のネジを取り外します。
3. カバーを取り外します。
4. バネの端のナットを調整します。
  - 歯科ライトがずり上がる場合は、ナットを反時計回りに回します。
  - 歯科ライトがずり落ちる場合は、ナットを時計回りに回します。
5. フレックスアームの上に背面カバーを戻します (まだ取り付けません)。この状態でずれがないかどうかを確認します。
6. ずれがなくなるまで手順4~5を繰り返します。



**注** フレックスアームが上下方向に移動するのを制限するには、オプションの動作停止制限キット(部品番号 90.1044.00)を取り付けます。



## 固定アームの張力を調整

### 推奨する工具

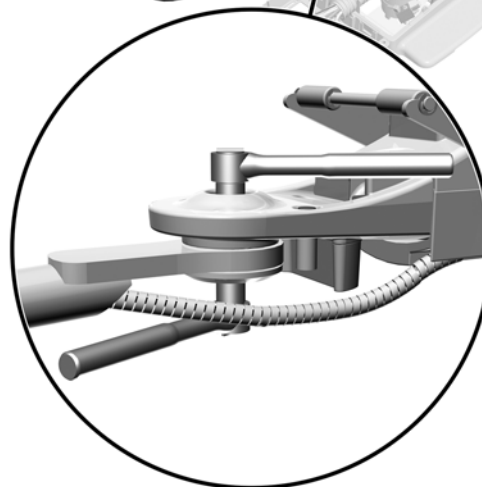
- 15/16インチ・ソケットとラチェット (各2)

歯科ライトを動かすときは、歯科ライトを数か所に動かして、固定アームが簡単に動かないことを確認します。固定アームが簡単に動く場合は、次の手順に従って固定アームが不意に動かないようにします。

- 1** 歯科ライトを通常使用時の位置にセットします。



- 2** 下側のナットを締めます。



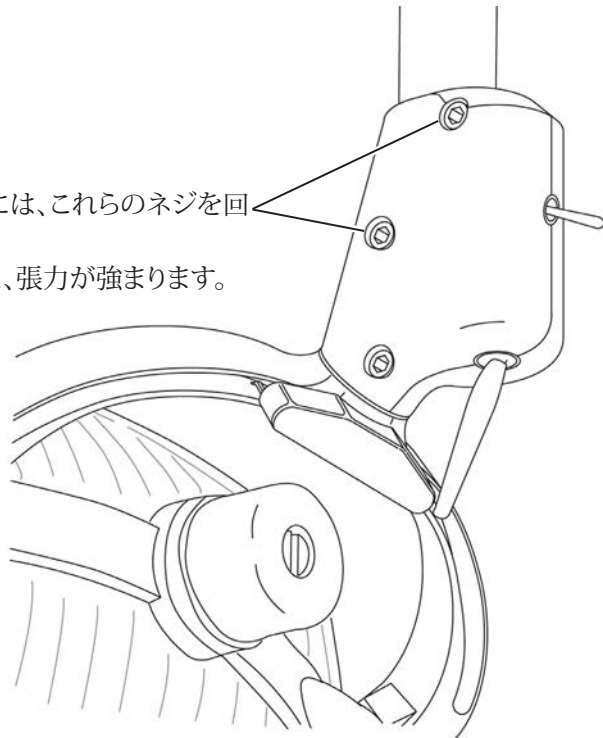
## A-dec 572歯科ライトの調整

### 水平方向の回転の調整

#### 推奨する工具

- 5/32インチ六角レンチ

- 1** 張力を調整するには、これらのネジを回します。  
時計回りに回すと、張力が強まります。

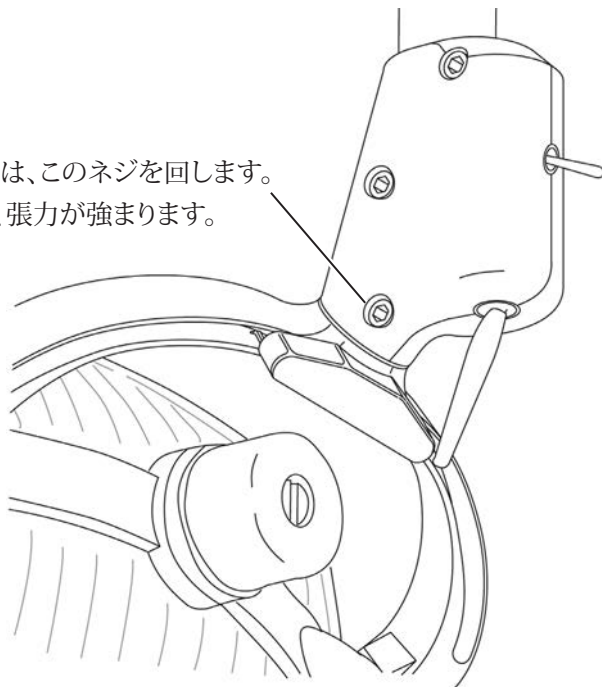


## 斜軸の回転の調整

### 推奨する工具

- 5/32インチ六角レンチ

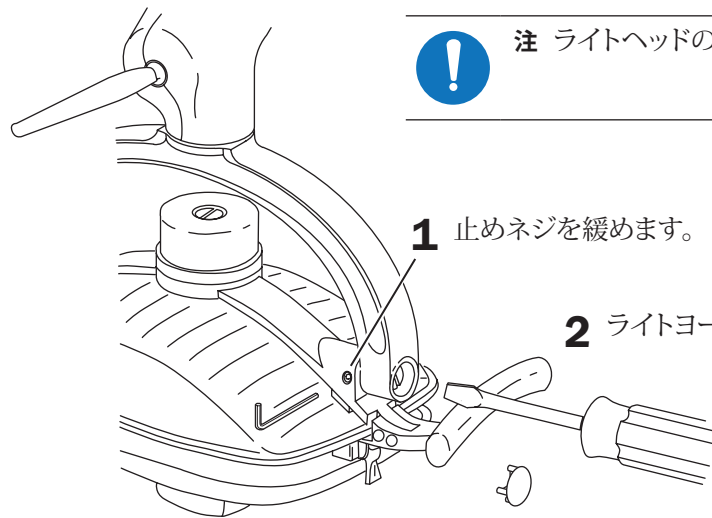
- 1 張力を調整するには、このネジを回します。  
時計回りに回すと、張力が強まります。



## 垂直方向の回転の調整

### 推奨する工具

- 5/64インチ六角レンチ
- 標準ドライバー



注 ライトヘッドの片側のみ調整してください。

- 1 止めネジを緩めます。

- 2 ライトヨークプラグを取り外します。

- 3 張力を調整するには、このネジを回します。  
時計回りに回すと、張力が強まります。

## デリバリーシステムの水平の調整

### 推奨する工具

- 5/32 インチ 六角レンチ
- 水準器

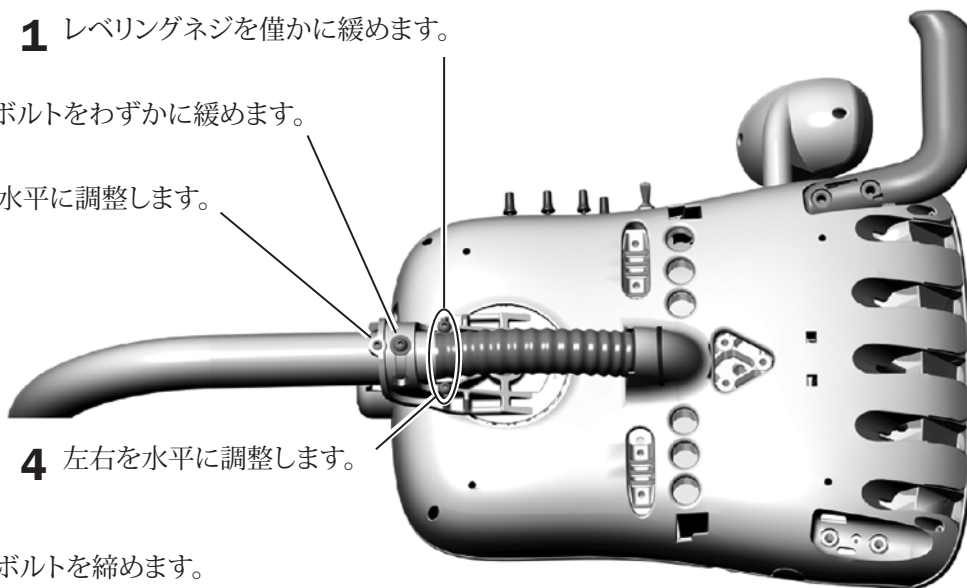
### 手順 1.



- 1 コントロールヘッドを通常使用時のポジションにセットした状態で、フレックスアームと直線上に並ぶように動かします。
- 2 水準器をトレイホルダーまたはコントロールヘッドの上に置きます。

### 手順 2.

- 1 レベリングネジを僅かに緩めます。
- 2 ボタンボルトをわずかに緩めます。
- 3 前後を水平に調整します。
- 4 左右を水平に調整します。
- 5 ボタンボルトを締めます。

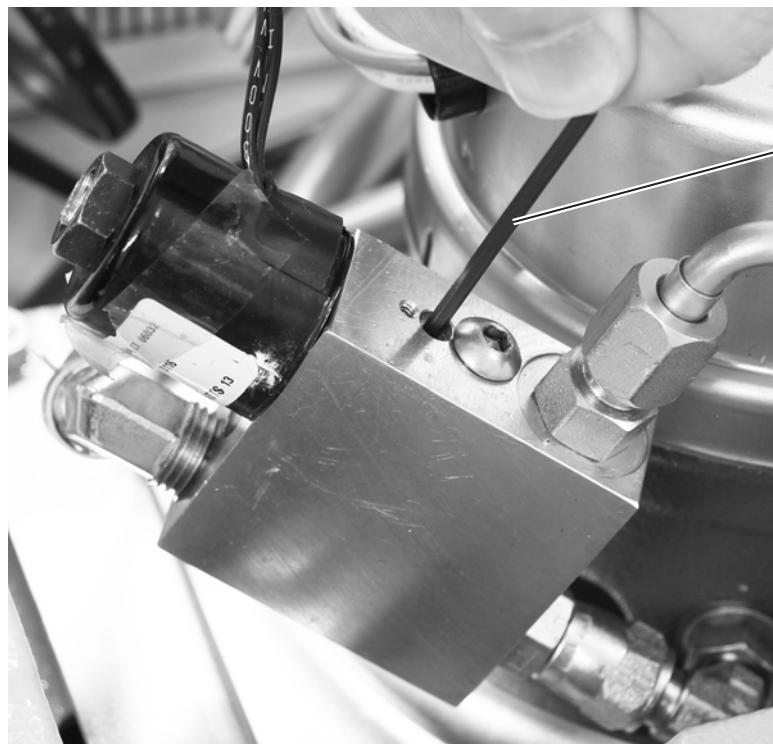


## チェアのベース降下速度の調整

### 推奨する工具

- 3/32インチ六角レンチ

水圧マニホールドのフロー制御軸を調節して、チェアの下降速度を変更します。



- 1** 六角レンチを使用してフロー制御軸を回します。
- 2** 止めネジを回してチェアを下げる速度を調整します。時計回りに回すと速度は減少します。



**注** ベース降下速度が遅すぎる場合(チェアが完全にベース降下位置に達するまでに45秒以上かかる場合)、プログラムされた位置はタイムアウトし、チェアが正しく動作しないことがあります。

## タッチパッドの設定

### 歯科用椅子とライトの設定

タッチパッドを使用して、システムで一般的に使用される設定をプログラムします。表2に、チェアのプリセット位置を示します。


### チェアポジションのプログラム

座る/降りる、治療1、および治療2ボタンをプログラムするには：

1. チェアを目的のポジションにします。
2. **p** ボタンを押して離すと、プログラムモードを示す警告音が聞こえます。
3. プログラムしたいボタンを押します。ボタンがセットされたことを示すピープ音が3回鳴ります。

### X線/洗浄ボタンのカスタマイズ

X線/洗浄ボタンは、X線/洗浄用または他の完全にプログラム可能なプリセットポジション（治療3）用のいずれかとして機能します。機能を変更するには：

1. **p** ボタンと  ボタンを同時に3秒間押したままにします。
  - ピープ音が1回鳴ったときは、ボタンが治療3に設定されたことを示します。
  - ピープ音が3回鳴ったときは、X線/洗浄ボタンがX線/洗浄機能として設定されたことを示します。X線/洗浄と前のポジションとが交互に切り替わります。
2. 「チェアポジションのプログラム」の手順に従って、プリセットポジションをプログラムします。







**ヒント** レントゲン/リンスが完全にプログラム可能な初期設定位置に変更されると、位置ボタン1および2と同様に作動します。

図1. 標準タッチパッドとデラックスタッチパッド



**注** タッチパッド上の記号はA-dec Inc.が所有権を保有しています。

表2. チェアのプリセットポジション

ボタン	ポジションの説明
	<b>座る/降りる:</b> チェアを自動的に座る/降りるポジションにし、歯科ライトを消灯します。
	<b>治療1:</b> チェアのベースと背板のポジションを自動的に下げ、歯科ライトを点灯します。
	<b>治療2:</b> (標準タッチパッドのみ):チェアのベースと背板のポジションを自動的に設定して、歯科ライトを点灯します。
	<b>X線/洗浄:</b> X線/洗浄ポジションと現在のポジションを自動的に切り替えます。チェアをX線/洗浄ポジションにすると歯科ライトが消灯し、前のポジションに戻すと点灯します。



**注** フットスイッチまたはタッチパッドのいずれかのチェアのポジションボタンを押すと、チェアの動きをいつでも止めることができます。

## カップ給水およびボウル洗浄

コップ給水ボタンは、ウォーターボトルからカップへの水量をコントロールします。ボウル洗浄ボタンはスピットンボウル用洗浄水を供給します。プリセットの実行時間については、表3を参照してください。

カップ給水またはボウル洗浄のタイミングを変更するには：

1. **P** を押して離します。1回の警告音は、プログラミングモードが準備できたことを知らせます。



**注** また、吐水口に隣接したカップ給水、およびボウル洗浄ボタンの両方を押したままにすることでカスピードル・プログラミングモードに入ることができます。1回の警告音は、プログラミングモードが準備できたことを知らせます。





2. 希望する時間量を設定するためカップ給水 、またはボウル洗浄  ボタンを押したままにしてください。
3. ボタンを放します。セットアップが完了すると、ピープ音が3回鳴ります。

表3. カップ給水およびボウル洗浄のプリセット

ボタン	説明
	<p><b>コップ給水 ボタン:</b>ウォーターボトルからカップへの水量をコントロールします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• タイミング操作にする場合はコップ給水ボタンを押します。初期設定は2.5 秒です。</li> <li>• 手動にするにはコップ給水ボタンを押したままにします。</li> </ul>
	<p><b>ボウル洗浄ボタン:</b>スピットンのボウルを洗う水が流れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• タイミング操作にする場合はボウル洗浄ボタンを押します。洗浄の工場出荷時初期設定は30秒です。</li> <li>• 手動にするにはボウル洗浄ボタンを押したままにします。</li> <li>• 2秒以内にボウル洗浄ボタンを2回押すと、動作は継続洗浄モードに切り替わります。洗浄ボタンを1回押すと継続ボウル洗浄を停止します。</li> </ul>

## 歯科ライト

歯科ライトを点灯または、消灯するには、タッチパッド上の歯科ライトボタンを使用してください。

ハロゲン歯科ライト：☀️を押して、高強度と複合、あるいは中度と複合を切り替えます。歯科ライトが複合モードのとき、インジケータライトは点滅します。

発光ダイオード (LED) 歯科ライト：☀️を押して放し、目的の輝度モードを選択します。ライトが光重合防止モードのとき、インジケータライトは点滅します。

歯科ライトを消灯するには、🔧を1秒間押したままにします。

## 歯科用ライト自動オン/オフ

プログラムによるチェアへの位置出し機能を使用した場合、無影灯はチェアが稼働位置に達すると点灯します。👤または👤を押すと歯科ライトが自動的に消灯します。


自動ライト機能をオフにするには、pと☀️を同時に3秒間押したままにします。ビーブ音が1回鳴って、自動ライト機能がオフになったことが示されます。

自動ライト機能を再度オンにするには、pと☀️を同時に3秒間押したままにします。ビーブ音が3回鳴って、自動ライト機能がオンになったことが示されます。



**ヒント** X線/洗浄ボタンをプリセットポジションに機能変更すると、歯科ライトの自動ライト機能は治療1および2ボタンと同様に動作します。

表4. 歯科ライトボタン

ボタン	説明
	<b>歯科ライトボタン:</b> 輝度設定を切り替えるときに押します。このボタンを押すと歯科ライトが点灯し、押したままにすると消灯します。



## 整備技師用タッチパッド設定

デラックスタッチパッドでは、整備技師がユーザー設定にアクセスして、ハンドピースやタッチパッドの設定を調整できます。

### タッチパッドボタンでのナビゲーション

設定モードでは、チェアボタンがナビゲーションボタンとして機能します。セットアップスクリーンをナビゲートするには、背もたれ上昇 (▶) および背もたれ下降(◀)、および **−** または **+** ボタンを使用します。

図2. A-dec 300デラックスタッチパッドの設定画面の例



### ホルダーの設定

各ハンドピース・ホルダー用にハンドピースを設定できます。ハンドピースのタイプには、Electric (電動)、Ultrasonic (超音波)、Vacuum (バキューム)、Other (その他)、およびTurbine (タービン) があります。ハンドピース・ホルダーを調整するには：

1. デラックスタッチパッドのメインスクリーンで、**m** と **e** を同時に3秒間押したままにしてから、▶を押して開始します。
2. **System Setup**スクリーンで **−** または **+** を押して**Handpieces**をハイライト表示し、▶を押します。
3. **Handpiece Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して**Holder Setup**をハイライト表示し、▶を押します。
4. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
5. **Holder Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押してハンドピースタイプを選択します。
6. ▶を押します。ビーブ音が3回鳴って、ハンドピースのセットアップが完了したことが示されます。
7. ハンドピースをホルダーに戻します。
8. 各ハンドピースについて、手順4~7を繰り返して設定を行います。
9. すべてのハンドピースの設定が完了したら、A-decロゴが表示されるまで◀を押します。

## 光源の設定



**注** クアッド電圧口腔内光源(QVIOLS)またはIOLSコントロールが内蔵された電動モーターコントローラが取り付けられている場合、A-dec 300デラックスタッチパッドでは、さまざまな口腔内光源オプションを設定できます。

以下の設定が可能です。

- **On When Selected (選択時に点灯)** : ホルダーからハンドピースを取り上げたときに口腔内光源を点灯するか消灯したままにするかを指定します。
- **Auto Off Delay (自動消灯の待ち時間)** : フットコントロールを放してから口腔内光源を消灯するまでの時間を指定します。この時間は、空気送出を再度使用するとリセットされます。
- **On in Endo (歯内治療時に点灯)** : 歯内治療モードのときに口腔内光源を点灯するか消灯するかを指定します。歯内治療用ハンドピースのほとんどが光ファイバーを装備していないので、光源熱を軽減しバルブの寿命を延ばすためオフを選択することを推奨します。

光源を設定するには、次の手順を実行します。

1. デラックスタッチパッドのメインスクリーンで、**m** と **e** を同時に3秒間押したままにしてから、**▶**を押して開始します。
2. **System Setup**スクリーンで **−** または **+** を押して**Handpieces**をハイライト表示し、**▶**を押します。
3. **Handpiece Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して**Intraoral Lt Source**をハイライト表示し、**▶**を押します。
4. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
5. **Light Source Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して目的の設定を表示し、**▶**を押します。
6. **−** または **+** および **▶** を押して画面内を移動し、ハンドピースの設定を指定します。セットアップが完了すると、ビーブ音が3回鳴ります。
7. 設定ごとに手順5と6を繰り返します。
8. ハンドピースをホルダーに戻します。
9. それぞれのハンドピースの設定を行うためには3~8の手順を繰り返します。
10. すべてのハンドピースの設定が完了したら、A-decロゴが表示されるまで **◀**を押します。

## 超音波のセットアップ

超音波のカラーをオンまたはオフにするかどうかを指定します。

超音波を設定するには：

1. デラックスタッチパッドのメインスクリーンで、**m** と **e** を同時に3秒間押したままにしてから、**▶**を押して開始します。
2. **System Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して**Handpieces**をハイライト表示し、**▶**を押します。
3. **Handpiece Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して**Ultrasonic Setup** を選択し、**▶**を押します。
4. **−** または **+** を押して**On** (オン) または**Off** (オフ) を表示し、**▶**を押します。セットアップが完了すると、ビーブ音が3回鳴ります。
5. A-decロゴが表示されるまで **◀**を押します。

## 電気系統の設定

表示情報と電動機能を変更できます。Torque Units (トルク単位)、Torque Warning Beep (トルク警告音)、Auto Reverse Beep (オートリバースビーブ)、Auto Mode (自動モード) の設定が可能です。各設定の情報は、78ページの表6を参照してください。

電動オプションを設定するには：

1. デラックスタッチパッドのメインスクリーンで、**m** と **e** を同時に3秒間押したままにしてから、**▶**を押して開始します。
2. **System Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して**Handpieces**をハイライト表示し、**▶**を押します。
3. **Handpiece Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して**Electric Setup**をハイライト表示し、**▶**を押します。
4. **Electric Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して目的の設定を表示させ、**▶**を押してその設定を選択します。
5. **−** または **+** および **▶** を押して画面内を移動し、設定オプションを指定します。セットアップが完了すると、ビーブ音が3回鳴ります。
6. 設定ごとに手順4と5を繰り返します。
7. すべての設定が完了したら、A-decロゴが表示されるまで **◀**を押します。

## タッチパッドの設定

タッチパッドのセットアップでは、タッチパッドディスプレイのコントラストを変更したり、ヘルプメッセージを表示するかどうかを指定したりできます。

タッチパッドの設定を行うには、次の手順を実行します。

1. デラックスタッチパッドのメインスクリーンで、**m** と **e** を同時に3秒間押したままにしてから、**▶**を押して開始します。
2. **System Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して**Touchpad**を選択し、**▶**を押して開始します。
3. **Touchpad Setup**スクリーンで、**−** または **+** を押して**Contrast Adjust** または **Help Messages**をハイライト表示します：
  - **Contrast Adjust** (コントラストの調節)： **−** または **+** を押してコントラストを調節します。**▶**を押すと、設定を保存できます。ビーブ音が3回鳴って設定を確認します。
  - **Help Messages**： **−** または **+** を押すと、ヘルプメッセージを**On** または **Off**できます。**▶**を押すと、設定を保存できます。ビーブ音が3回鳴って設定を確認します。
4. すべての設定が完了したら、A-decロゴが表示されるまで **◀**を押します。



**注** ヘルプメッセージの一覧については、[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com)のドキュメントライブラリにある『規制情報、仕様、および保証使用方法』(部品番号(P/N)86.0221.05)を参照してください。

## 電動ハンドピースの動作

ハンドピースは標準モードまたは歯内治療モードでプログラムできます。

- **標準モード**：電動ハンドピースのトルクは常に100%になります。
- **歯内治療モード**：歯内治療をサポートするモーター制御器が装備されている場合は、このモードでハンドピースをプログラムできます。歯内治療モードでは、トルクと比率の設定を調整できます。

### 標準モードでの電動ハンドピースのプログラム

デラックスタッチパッドでは特定の回転数でメモリー設定をプログラムすることができます。ハンドピース設定をプログラムするには：

1. ハンドピースをホルダーから取り上げます。
2. タッチパッドスクリーンに標準モードが表示されていない場合は、**e** を押します。
3. RPMを設定するには、**-** または **+** を押します。RPM値はスクリーンに表示されます (図3を参照)。
4. 設定をメモリーに記憶するには、**p** を押します。ビーブ音が1回鳴ります。
5. 目的のメモリー設定 (m1~m4) を選択します。メモリー設定を切り替えるには、**m** を押します。
6. 目的のメモリー位置を選択したら、**p** を押します。セットアップが完了すると、ビーブ音が3回鳴ります。

### フォワード/リバースボタン

正転/逆転ボタンを使って、電気モーターの方向を変更します。初期設定では、ハンドピースをホルダーに戻したとき、または電源を切ったときには、ハンドピースがフォワードポジションになるように設定されています (図3を参照)。逆回転モードでは、正回転/逆回転インジケーターのアイコンが点滅し続けます。

表5. 電気モーターのプリセット (標準モード)

メモリー設定	プリセット速度
m1	2,000 rpm
m2	10,000 rpm
m3	20,000 rpm
m4	36,000 rpm

図3. 標準モードのタッチパッドスクリーン



項目	説明
A	正回転/逆回転インジケーター (図は正回転)
B	正回転/逆回転ボタン
C	マイナスボタンとプラスボタン
D	メモリーボタン
E	RPM値

## 歯内治療モードでの電動ハンドピースのプログラム

ハンドピースの回転速度調節に加え、歯内治療モードでは、特定のファイルや目的とするハンドピースの動きに合わせて設定を変更できます。タッチパッドスクリーンのアイコンは、該当する設定をそれぞれ示します。

**!** 注 特定のファイルに関する回転速度制限やトルク制限については、ファイルのメーカーにお問い合わせください。

ハンドピース設定をプログラムするには：

1. ハンドピースをホルダーから取り上げます。
2. タッチパッドスクリーンに歯内治療モードが表示されていない場合は、**e** を押します。
3. 歯内治療モードの設定を変更するには、**-** または **+** を押します。白いリバーシビデオボックスがタッチパッドスクリーンに表示されます。
4. チェアーポジションボタンを使って、タッチパッドスクリーンの設定間を移動します。
5. **-** または **+** を押して、希望の設定に変更します。
6. **p** を押して、回転速度制限、トルク制限、比率の設定をメモリーに保存します。ビーブ音が1回鳴ります。
7. 目的のメモリー設定 (m1~m4) を選択します。メモリー設定を切り替えるには、**m** を押します。
8. 目的のメモリー位置を選択したら、**p** を押します。セットアップが完了すると、ビーブ音が3回鳴ります。








図4. 歯内治療モードのタッチパッドスクリーン



項目	説明	項目	説明
A	歯内治療モードボタン	G	マイナスボタン
B	正回転/逆回転インジケータ	H	メモリーボタン
C	自動モードインジケータ	J	トルク値インジケータ
D	正回転/逆回転ボタン	K	ハンドピースの比率設定
E	プラスボタン	L	ファイル速度インジケータ
F	プログラムボタン	M	メモリー設定インジケータ

表6に、歯内治療モードでタッチパッドスクリーンに表示されるアイコンの説明を示します。

表6. 歯内治療モードのタッチパッドスクリーンのアイコン

アイコン	設定	説明
	速度	ファイルの速度制限の設定値。詳細については、ファイルメーカーにお問い合わせください。
	トルク	ファイルのトルク制限の設定値。詳細については、ファイルメーカーにお問い合わせください。
	トルクユニット	Ncm (ニュートンセンチメートル) と gcm (グラムセンチメートル) の切り替え。1つのハンドピースでこの設定を変更すると、すべてのハンドピースの設定が変更されます。 <b>注:</b> 1Ncm = 102 gcm。
	比率	ハンドピースの比率を設定します。詳細については、ハンドピースメーカーにお問い合わせください。
	自動モード	1つのハンドピースでこの設定を変更すると、すべてのハンドピースの設定が変更されます。自動モードインジケータは、正回転/逆回転インジケータ内に表示されます。
	自動停止	ファイルがトルク制限に達すると、モーターは停止します。
	自動リバース	ファイルがトルク制限に達すると、モーターは停止してから方向が反転します。
	自動フォワード	ファイルがトルク制限に達すると、自動的にモーターが停止し、3回逆方向に回転した後で、元の方向に回転します。 <b>注:</b> ファイルがひっかかってしまった場合、モーターが停止するまでにこのサイクルが3回繰り返されます。

## システムのテスト

---

A-dec 411デンタルチェアーの設置を完了したら、以下のチェックリストを使用してシステムをテストし、次に顧客とともに確認作業を行います。

### デンタルチェアー

- デンタルチェアーが床にしっかりと固定されているか。
- チェアーが正しく機能するか（チェアーの上昇とチルト、タッチパッドやフットスイッチによるプログラム機能など）。
- ヘッドレストが正常に機能するか。
- アームレストが正しく機能するか。

### デリバリーシステム

- ハンドピースが正しく機能し、医師の意向に沿って設定されているか。
  - 水冷却、空気冷却、およびスプレー
  - ハンドピース管のフラッシュ
  - ハンドピース・ホルダーのバルブとスイッチ
  - ハンドピース空気送出圧
- バネ式フレックスアームは、適切に釣り合うか。
- 回転停止ピンが取り付けられていて、適切に機能するか。
- フレックスアームのエアーブレーキが適切に機能するか。
- 手動の調整アームの高さと回転張力が設定されているか。
- コントロールヘッドがトレイに対して水平になっているか。
- 可動アームがずれないか。
- フットコントロールが正しく動作するか。

### 歯科ライト

- 全てのライトの輝度設定が正常に作動するか。
- 交換用電球が含まれているか（A-dec部品番号（P/N）041.709.00）。
- 歯科ライトのフレックスアームとヘッド張力が正しく調整されているか。

### ユーティリティ

- 空気圧が552 kPa に調整されているか。
- フロアボックスに空気および水の漏れがないか。
- 配管および接続にねじれがないか、また空気および水の漏れがないか。
- 余分な配管や配線がコイル状に巻かれて可動部品から離れた場所に収められているか。

## ユーティリティカバーおよびサポートセンターカバーの取り付け



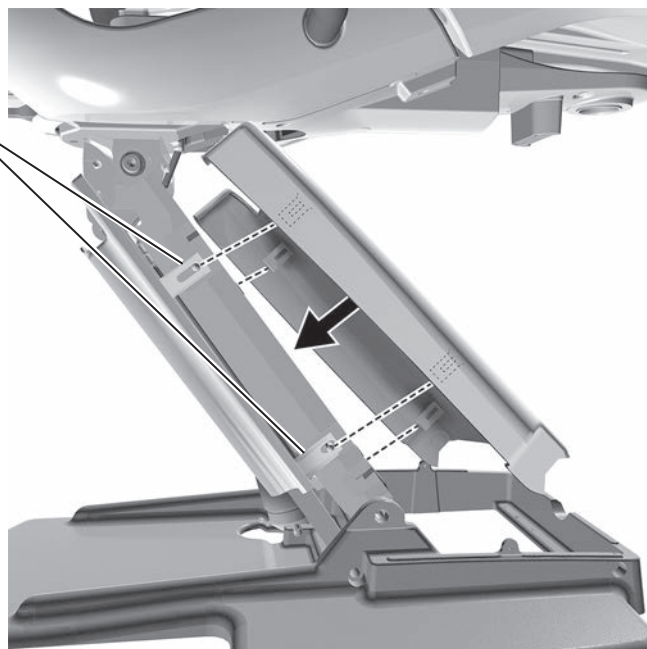
**注** カバーを取り付ける前に、必ずシステムを調整しテストしてください。



**注意** カバーを取り外したり元の位置に戻したりする際に、配線や管を傷つけないように注意してください。交換したカバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

### リフトアームのカバーの取り付け

- 1** チェアを途中まで上昇させます。
- 2** リフトアームの支柱をカバーの一方の側にあるスロットに差し込みます。
- 3** 支柱をカバーのもう一方の側にあるスロットに差し込みます。





## ポンプおよびフロアボックスのカバーの取り付け

### 推奨する工具

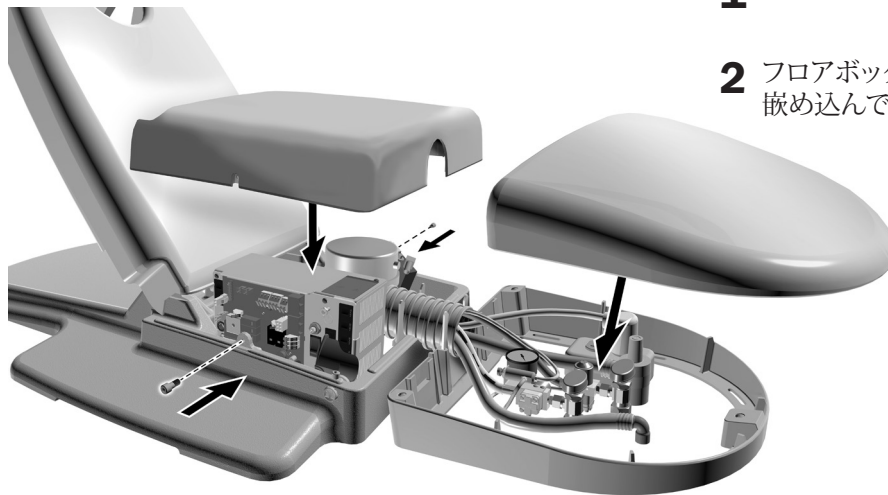
- 3/16インチ六角レンチ

#### 手順 1.



- 1 システムにフロアボックスが含まれる場合は、ポンプカバーの前側からスロットを取り外します。

#### 手順 2.

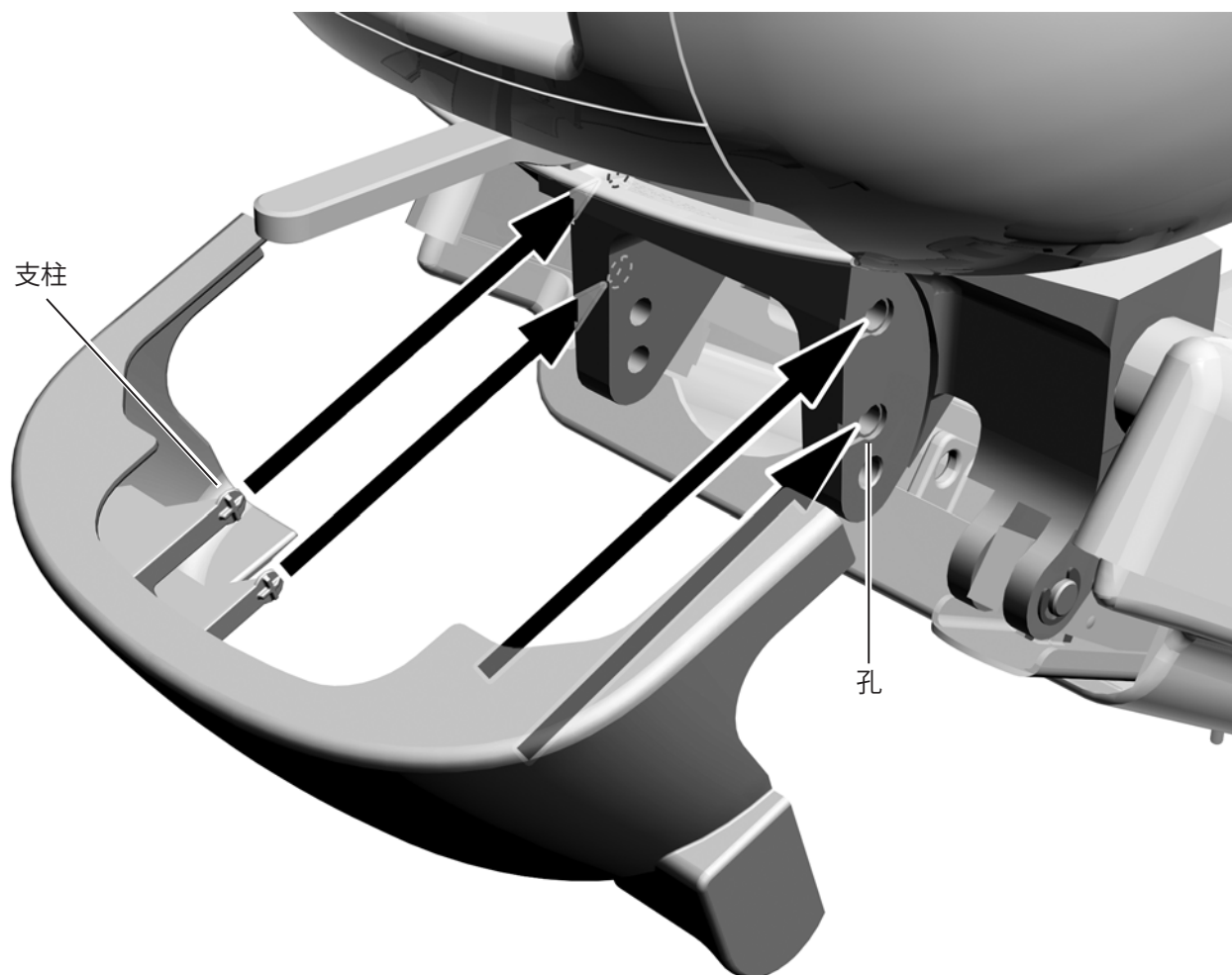


- 1 ポンプカバーを固定します。
- 2 フロアボックスカバーを取り付け位置に嵌め込んでください。

## マウントカバーの取り付け



**注** すべてのモジュールが取り付けられるまで、このカバーを取り付けしないでください。システムにサポートリンクが含まれる場合は、リンクにぴったり合う穴のある背板取付部カバーを使用します。



- 1** マウントカバーを取付位置に嵌め込みます。4つの支柱をマウントの穴に合わせます。



## 規制に関する情報

当局から指定された規制に関する情報は、『規制情報、仕様、および保証使用方法』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com)のドキュメントライブラリから入手できます。

### 本書で取り扱う機種とバージョン

機種	バージョン	説明
332、333、336	A	デリバリーシステム
572	A	歯科ライト
411	A	歯科用椅子

Loctiteは、Henkel Corporationの登録商標です。  
WAGOは、WAGO Corporationの登録商標です。

#### A-dec本社

2601 Crestview Drive  
Newberg, OR 97132  
USA

電話: 1.800.547.1883 米国/カナダ国内  
電話: 1.503.538.7478 米国/カナダ国外  
ファックス: 1.503.538.0276  
[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com)

A-dec Inc.は、市販性の暗黙的な保証や特別な目的への適用を含む(ただしこれに限定されない)、この文書の内容に関する保証を一切行つものではありません。